

元総社蒼海遺跡群 (81)

元総社蒼海遺跡群 (82)

元総社蒼海遺跡群 (83)

元総社蒼海遺跡群 (84)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

2016.3

前橋市教育委員会

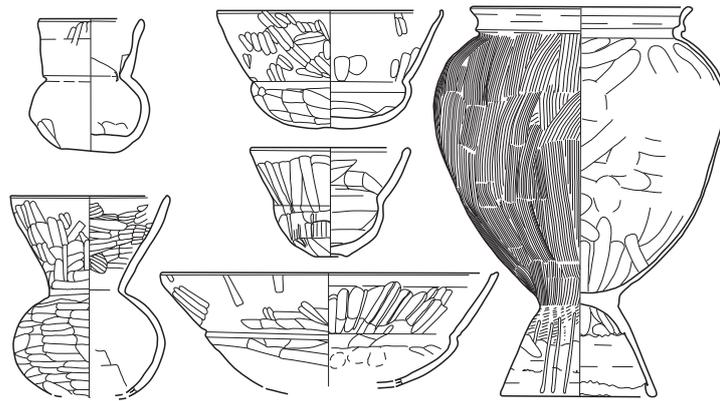
元総社蒼海遺跡群 (81)

元総社蒼海遺跡群 (82)

元総社蒼海遺跡群 (83)

元総社蒼海遺跡群 (84)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地地区画整理事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書



方形周溝墓 (C-1) 出土遺物

2016.3

前橋市教育委員会



元総社蒼海遺跡群 (81) 全景

口絵 2



元総社蒼海遺跡群 (82) 全景



元総社蒼海遺跡群 (84) 全景

はじめに

上越国境にそびえる谷川連峰をその源とし、赤城山系・榛名山系のはざまを抜けて南流する利根川が、関東平野へ向かって開けるところに、ふるさと前橋市は存在します。市域は豊かな自然環境にも恵まれ、2万年前から人々が生活を始めました。そのため市内いたる所に、人々の息吹が感ぜられる歴史遺産が存在します。

稲作文化は利根川水系の多くの河川を遡上するようにここ前橋にも伝播し、その生産基盤の安定が、東国の中心としての「毛の国」を誕生させることとなり、前橋天神山古墳などの初期古墳をはじめ王山古墳・天川二子山古墳といった首長墓が連綿と築かれました。律令時代に入ってから上野国の中心地として、総社・元総社地区には山王廃寺、国分僧寺、国分尼寺、国府など中枢をなす施設が次々に造られました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎬をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東三名城の一つに数えられ、「関東の華」とも呼ばれた厩橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の一大生産地であったことから、横浜に至る街道は「日本のシルクロード」とも呼ばれ、横浜港からは「前橋シルク」の名で海外に輸出され、近代日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告する元総社蒼海遺跡群（81）・（82）・（83）・（84）は古代上野国の中枢地域の調査であります。上野国府推定区域に隣接することから、調査成果は多くの注目を集めております。今回の調査では、国府そのものに関連するの検出・確認はかありませんでしたが、古墳時代から平安時代にいたる多くの竪穴住居跡を検出しました。今は一本の糸に過ぎない調査成果も織り上げて行けば、国府や国府のまちの姿を再現できるものと考えております。残念ながら、現状のままでの保存が困難なため、記録保存という形になりましたが、今後、地域の歴史・前橋の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができました。

最後になりましたが、関係機関や各方面の多大なるご配慮・ご尽力により調査事業を円滑に進められことができました。また、寒風吹きすさぶ中、発掘調査にあたった発掘調査担当者・作業員のみなさんに厚くお礼申し上げます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

平成28年3月

前橋市教育委員会
教育長 佐藤博之

例 言

- 1 本書は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地地区画整理事業に伴って実施した元総社蒼海遺跡群 (81)・(82)・(83)・(84) の発掘調査報告書である。
- 2 遺跡の所在地 (81): 群馬県前橋市総社町総社 3113-1・3,2993-1、(82): 総社町総社 3600-12、(83): 総社町総社 3600-3、(84): 元総社町 1445-22
- 3 調査は、前橋市教育委員会の指導のもとに前橋市長 山本 龍 (都市計画部区画整理第二課) の委託を受け、スナガ環境測設株式会社 (代表取締役 須永眞弘) が実施した。
調査担当者 藤坂和延 (前橋市教育委員会)、権田友寿 (スナガ環境測設株式会社)
- 4 発掘調査期間 平成 26 年 9 月 9 日～平成 27 年 2 月 7 日
整理期間 平成 27 年 2 月 9 日～平成 27 年 3 月 27 日
- 5 出土遺物は、前橋市教育委員会が保管する。
- 6 測量・調査計画…須永(眞)、調査助言…金子正人、調査担当…権田、測量調査…荻野博巳・瀧澤典雄・岡田弥生・細井美佐子・斉藤和代・新井益子、安全管理…金子、重機オペレーター…金子、作業事務…須永(豊)が担当した。
- 7 本書は、前橋市教育委員会の指導のもと、スナガ環境測設株式会社が作成に当たり、原稿執筆…Ⅰについては藤坂和延、Ⅱ～Ⅵは権田、遺物観察は瀧澤典雄が担当した。編集・校正…須永(眞)・金子、実測図整理ほか…権田、遺構・遺物トレース…夏原・瀧澤、遺物整理・実測…金子・星野陽子、遺物洗浄…品川浪江、写真整理・内業事務…須永(豊)・岡田が担当した。なお、入稿にあたって最終的編集・校正を藤坂和延が実施した。
- 8 発掘調査に参加した方々 (敬称略・順不同)
石原 功 菊川 毅 細井美佐子 斉藤和代 新井益子 清水宏通 古森東一 塚越 昇 長澤俊男
長岡 保 高橋祐巳子 須田友造 小林隆一 松井直人 武藤 光 加藤嘉昭 武井知司 大浜利幸
関根ちさと 清水萬年 笹尾倍治 高橋民雄 金子登喜夫

凡 例

- 1 遺構名の略称および遺構実測図中の記号は下記のとおりである。
古墳・奈良・平安時代の竪穴住居跡…H 竪穴状遺構…T 溝跡…W 土坑…D
ピット (柱穴) …P 方形周溝墓…C 風倒木跡…O
- 2 実測図の縮尺は、下記のとおりである。
遺構 住居跡・竪穴状遺構…1/60 竈…1/30 溝跡・方形周溝墓…1/60・1/80・1/100
土坑・ピット…1/60 全体図…1/80・1/100・1/150・1/200・1/300・1/1000
遺物 土器…1/3・1/5・1/10 瓦…1/6 石製品…1/1・1/3・1/6 鉄製品…1/3
- 3 挿図に国土地理院発行の 2 万 5 千分の 1 「前橋」を使用した。
- 4 本文中の数値で、() は推定値、[] は現存値を表した。
- 5 土層断面の土色名及び土器類の色調名は、『新版標準土色帖』(農林省農林水産技術会議事務局監修財団法人日本色彩研究所 色票監修) 2000 によった。
- 6 土層注記及び本文中の火山降下物は、天仁元年 (西暦 1108 年) 降下の浅間山給源テフラの略称を A s - B、6 世紀中葉降下の榛名山給源テフラの略称を H r - F P、6 世紀初頭降下の榛名山給源テフラの略称を H r - F A、3 世紀末葉降下の浅間山給源テフラの略称を A s - C として使用した。

目次

口絵写真

はじめに

例言・凡例

目次・挿図目次・表目次・写真図版目次

I	調査に至る経緯	1
II	遺跡の位置と歴史的環境	1
1	遺跡の位置	1
2	歴史的環境	1
III	調査の方針と経過	6
1	調査方針	6
2	調査経過	6
IV	層序	7
V	検出された遺構と遺物	8
1	元総社蒼海遺跡群 (81) の遺構	8
(1)	竪穴住居跡	8
(2)	竪穴状遺構	11
(3)	土坑	12
(4)	溝跡	12
(5)	方形周溝墓 (C-1)	13
2	元総社蒼海遺跡群 (82) の遺構	13
(1)	竪穴住居跡	13
(2)	土坑	13
3	元総社蒼海遺跡群 (83) の遺構	14
(1)	土坑	14
(2)	溝跡	14
4	元総社蒼海遺跡群 (84) の遺構	14
(1)	竪穴住居跡	14
(2)	土坑	15
(3)	溝跡	15
(4)	ピット	15
VI	まとめ	16

挿図目次

第1図	遺跡位置図	2
第2図	周辺遺跡図	4
第3図	元総社蒼海遺跡群位置図・グリッド設定図	5
第4図	基本土層断面図	7
第5図	元総社蒼海遺跡群(81)全体図	18・19
第6図	(81)H-1～3・7号住居跡	20
第7図	(81)H-4～6・8・9号住居跡	21
第8図	(81)H-10号住居跡	22
第9図	(81)H-11号住居跡	23
第10図	(81)H-11号住居跡、H-12号住居跡竈、H-13号住居跡	24
第11図	(81)H-13号住居跡、H-14号住居跡	25
第12図	(81)H-14号住居跡竈、H-15号住居跡	26
第13図	(81)H-16～18号住居跡	27
第14図	(81)H-18号住居跡竈、H-19号住居跡	28
第15図	(81)H-20号住居跡	29
第16図	(81)H-21・22号住居跡	30
第17図	(81)H-22号住居跡竈、H-23号住居跡	31
第18図	(81)H-24・25号住居跡	32
第19図	(81)H-26・27号住居跡	33
第20図	(81)H-28・29号住居跡	34
第21図	(81)H-30・31号住居跡	35
第22図	(81)H-30号住居跡、T-1～3号竪穴状遺構	36
第23図	(81)T-4～8号竪穴状遺構	37
第24図	(81)D-8号土坑、方形周溝墓(C-1)	38
第25図	元総社蒼海遺跡群(82)全体図	39
第26図	(82)H-1～3号住居跡	40
第27図	(82)H-2・4号住居跡、D-2号土坑	41
第28図	元総社蒼海遺跡群(83)全体図	42
第29図	(83)D-1・2号土坑、W-1号溝跡	43
第30図	元総社蒼海遺跡群(84)全体図	44
第31図	(84)H-1～4号住居跡、P-6・8号ピット、D-2号土坑	45
第32図	(84)P-1・2・5・7・9～11号ピット、W-1・2号溝跡	46
第33図	(84)W-1・2号溝跡、P-3・4号ピット、D-1号土坑	47
第34図	出土遺物実測図(1)	48
第35図	出土遺物実測図(2)	49
第36図	出土遺物実測図(3)	50
第37図	出土遺物実測図(4)	51
第38図	出土遺物実測図(5)	52
第39図	出土遺物実測図(6)	53
第40図	出土遺物実測図(7)	54
第41図	出土遺物実測図(8)	55
第42図	出土遺物実測図(9)	56

表目次

第1表	周辺遺跡概要一覧表	3	第10表	(84)住居跡一覧表	14
第2表	(81)住居跡一覧表	8	第11表	(84)土坑計測表	15
第3表	(81)竪穴状遺構一覧表	11	第12表	(84)溝跡計測表	15
第4表	(81)土坑計測表	12	第13表	(84)ピット計測表	15
第5表	(81)溝跡計測表	12	第14表	出土遺物観察表	57
第6表	(82)住居跡一覧表	13			
第7表	(82)土坑計測表	14			
第8表	(83)土坑一覧表	14			
第9表	(83)溝跡計測表	14			

写真図版目次

- 口絵1 元総社蒼海遺跡群(81)全景
口絵2 元総社蒼海遺跡群(82)全景
元総社蒼海遺跡群(84)全景
- PL 1 元総社蒼海遺跡群(81)全景
(81)H-1号住居跡(西から)
(81)H-2号住居跡(南から)
(81)H-3号住居跡(北から)
(81)H-4号住居跡(東から)
- PL 2 (81)H-5・6号住居跡(東から)
(81)H-7号住居跡(北から)
(81)H-8号住居跡 竈(東から)
(81)H-9号住居跡(南から)
(81)H-10号住居跡(西から)
(81)H-11号住居跡(西から)
(81)H-13号住居跡(西から)
(81)H-14号住居跡 遺物出土状況(西から)
- PL 3 (81)H-15号住居跡(東から)
(81)H-16号住居跡(西から)
(81)H-17号住居跡(西から)
(81)H-18号住居跡(西から)
(81)H-19号住居跡(西から)
(81)H-20号住居跡(南から)
(81)H-21号住居跡(西から)
(81)H-22号住居跡(西から)
- PL 4 (81)H-23号住居跡(西から)
(81)H-24号住居跡(南から)
(81)H-25号住居跡(西から)
(81)H-26号住居跡(西から)
(81)H-27号住居跡(南から)
(81)H-28号住居跡(西から)
(81)H-29号住居跡・D-14号土坑(西から)
(81)H-30号住居跡(西から)
- PL 5 (81)H-31号住居跡(北から)
(81)H-32号住居跡(西から)
(81)T-1号竪穴状遺構(西から)
(81)T-2号竪穴状遺構(北から)
(81)T-3号竪穴状遺構(西から)
(81)T-4号竪穴状遺構(西から)
(81)T-5号竪穴状遺構(北から)
(81)T-6号竪穴状遺構(西から)
- PL 6 (81)T-7号竪穴状遺構(東から)
(81)T-8号竪穴状遺構(西から)
(81)D-1・2号土坑(南から)
(81)D-3～7号土坑(南から)
(81)D-8号土坑(西から)
(81)D-13号土坑(西から)
(81)W-1号溝跡(北から)
(81)方形周溝墓[C-1号溝](南西から)
- PL 7 元総社蒼海遺跡群(82)全景(西から)
(82)H-1号住居跡(西から)
(82)H-2・3号住居跡(西から)
(82)H-4号住居跡(北から)
(82)D-1号土坑(南から)
(82)D-2号土坑(南から)
(82)D-3号土坑(北から)
(82)D-4号土坑(北から)
- PL 8 元総社蒼海遺跡群(83)全景(北から)
(83)D-1号土坑(東から)
(83)D-2号土坑(南から)
(83)W-1号溝跡(北から)
(83)D-2号土坑遺物出土状況(南から)
- PL 9 元総社蒼海遺跡群(84)全景(東から)
元総社蒼海遺跡群(84)全景(南から)
(84)H-1・2号住居跡(北から)
(84)H-3・4号住居跡(西から)
(84)D-1号土坑(西から)
(84)柱穴列・W-1号溝跡(東から)
(83)W-2号溝跡(南から)
(84)柱穴列(南東から)
- PL10 出土遺物写真(No.1～23)
PL11 出土遺物写真(No.24～47)
PL12 出土遺物写真(No.48～75)
PL13 出土遺物写真(No.76～99)
PL14 出土遺物写真(No.100～126)
PL15 出土遺物写真(No.127～153)
PL16 出土遺物写真(No.154～172)

I 調査に至る経緯

本発掘調査は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴い実施され、その15年目にあたる。本調査地は、周辺において埋蔵文化財発掘調査が長年に亘って実施されており、遺跡地であることが周知されている。

平成26年5月26日付けで前橋市長 山本 龍（区画整理第二課）より埋蔵文化財発掘調査業務依頼が前橋市教育委員会に提出された。教育委員会では既に直営による発掘調査を実施しており、直営による調査の実施が困難であるため、民間調査組織に業務を委託するよう前橋市に回答をした。民間調査組織の導入については、依頼者である前橋市の合意も得られ、市教委の作成する調査仕様書に基づく監理・指導の下、発掘調査を実施することとなり、同年9月1日付けで前橋市と民間調査組織であるスナガ環境測設株式会社との間で業務委託契約が締結され、同年9月8日に「元総社蒼海遺跡群（83）」の発掘調査が開始され、「元総社蒼海遺跡群（82）」・「元総社蒼海遺跡群（84）」・「元総社蒼海遺跡群（81）」の発掘調査が順次実施された。

なお、遺跡名称「元総社蒼海遺跡群（81）」（遺跡コード：26A178）・「元総社蒼海遺跡群（82）」（遺跡コード：26A179）「元総社蒼海遺跡群（83）」（遺跡コード：26A180）・「元総社蒼海遺跡群（84）」（遺跡コード：26A181）の「元総社蒼海」は区画整理事業名を採用し、「（81）・（82）・（83）・（84）」は過年度に実施した調査と区別するために付したものである。

II 遺跡の位置と歴史的環境

1 遺跡の位置

元総社蒼海遺跡群(81)・(82)・(83)・(84)は、前橋市総社町総社、前橋市元総社町に所在し、前橋市役所の西方約3kmで、JR新前橋駅の北西約1.5～2.0km、また関越自動車道前橋インターチェンジから北へ約1.6～2.5kmに位置する。北東に赤城山、北西に榛名山を近望し、さらには西に浅間山・妙義山という山々を遥かに望む集落の広がる地域である。

前橋市の地形は、1. 北東部の赤城山山頂から山麓、2. 東部の広瀬川低地帯、3. 南西部の前橋台地と4. その間に利根川の氾濫原という4地域に大別される。本遺跡群は前橋台地上に立地しており、榛名山の南東麓に広がる相馬ヶ原扇状地の扇端部にあたる。また、榛名山麓を源流として南東方向に流下する、染谷川と牛池川に挟まれた地域に(84)調査区があり、牛池川の左岸に(81)・(82)・(83)調査区がある。

2 歴史的環境

本遺跡群ではこれまでに土地区画整理事業に伴う発掘調査によって、多くの遺構、遺物が検出されている。また、周辺には多くの遺跡があり、中でも本遺跡群に近接する上野国分僧寺・尼寺中間地域は上野国分僧寺・尼寺跡、推定上野国府跡、山王廃寺等にも近接し、昭和55年から昭和59年にかけて大規模な発掘調査が行われ、縄文時代を始めとして近世までの遺構が数多く検出されている。

縄文時代前期の住居跡は、清里・長久保遺跡、熊野谷遺跡、上野国分僧寺・尼寺中間地域、元総社小見Ⅶ遺跡、中期後半の住居跡は上野国分僧寺・尼寺中間地域、下東西遺跡、熊野谷遺跡、元総社小見Ⅱ・Ⅲ・Ⅶ遺跡等で確認されている。

弥生時代の調査例は少ないものの、中期の環濠集落跡が発見された清里・庚申塚遺跡、後期集落跡では上野国分僧寺・尼寺中間地域の他、日高遺跡、下東西遺跡、元総社小見内Ⅲ遺跡等で報告されている。

古墳時代では本遺跡群周辺に5世紀末頃の遠見山古墳から6世紀代には王山古墳、総社二子山古墳、終末期には愛宕山古墳、宝塔山古墳、蛇穴山古墳という首長墓からなる総社古墳群が形成される。その近くには白鳳期の建立と考えられる山王廃寺があり古墳文化と仏教文化の併存がうかがえる。集落跡は4世紀代の住居跡を初現に、6世紀から7世紀代の遺構を多数検出しており、下東西遺跡、元総社明神Ⅰ～ⅩⅢ遺跡、鳥羽遺跡、草作遺跡、

弥勒Ⅰ・Ⅱ遺跡、大友屋敷Ⅱ・Ⅲ遺跡、屋敷Ⅰ・Ⅱ遺跡、閑泉樋南遺跡、上野国分寺参道遺跡、元総社宅地遺跡、元総社蒼海遺跡群(17)、上野国分僧寺・尼寺中間地域等がある。この時期の生産地としては、3世紀末葉以降に降下した浅間山給源の軽石(A s - C)により埋没した水田跡や畠跡、6世紀代以降に降下した榛名山給源の火山灰・軽石(Hr-FA・Hr-FP)により埋没した水田跡や畠跡等を検出した元総社明神Ⅷ遺跡、元総社植野北開土遺跡、北原遺跡、総社閑泉明神北遺跡、元総社牛池川遺跡、元総社北川遺跡等がある。

奈良・平安時代に入り調査区周辺に、上野国の国府が造営されたと推測されている。また、天平13年(西暦741年)に、聖武天皇により国分寺建立の詔が発せられ、本遺跡群西方に上野国分僧寺および尼寺が建立された。推定上野国府跡およびその周辺の遺跡は元総社明神Ⅰ～ⅩⅢ遺跡、元総社小学校校庭遺跡、閑泉樋遺跡、鳥羽遺跡、草作遺跡、元総社寺田遺跡、寺田遺跡、大友屋敷Ⅱ・Ⅲ遺跡、天神Ⅰ・Ⅱ遺跡、屋敷Ⅰ・Ⅱ遺跡、堰越Ⅰ・Ⅱ遺跡、閑泉樋南遺跡、総社閑泉明神北遺跡、弥勒Ⅰ・Ⅱ遺跡、元総社宅地遺跡、大友宅地添遺跡、元総社蒼海遺跡群(17)、上野国分寺参道遺跡、上野国分僧寺・尼寺中間地域等がある。また、今回調査した1区から南へ約3Kmには条里制水田が検出された日高遺跡があって、浅間山から噴出した軽石に埋もれた平安時代の水田跡とともに、幅約4.5mの道路状遺構も検出され、東山道駅路から推定上野国府正面へ続く道と考えられ、日高道と呼ばれている。

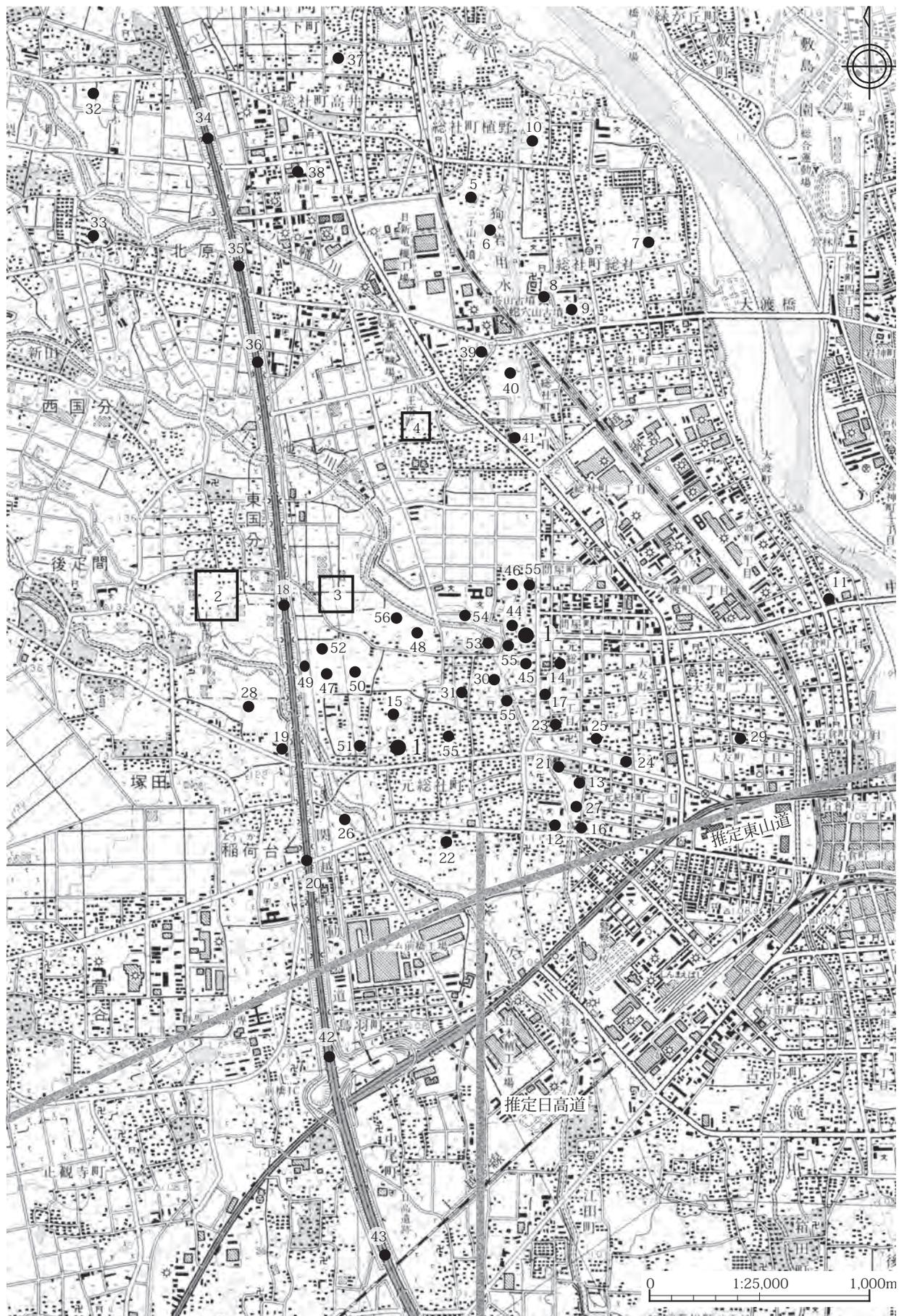
中世では国府跡の地割りを利用しているとされる蒼海城が、上杉氏の重臣総社長尾氏により築かれたが(西暦1429年他、諸説あり)、永禄9年(西暦1566年)ごろ、武田信玄によって攻撃され落城した。

その後、諏訪氏の領有を経て、近世初期には徳川による幕藩体制のもと秋元氏による勝山城築城や天狗岩用水、五千石堰などの開発がなされる地域である。

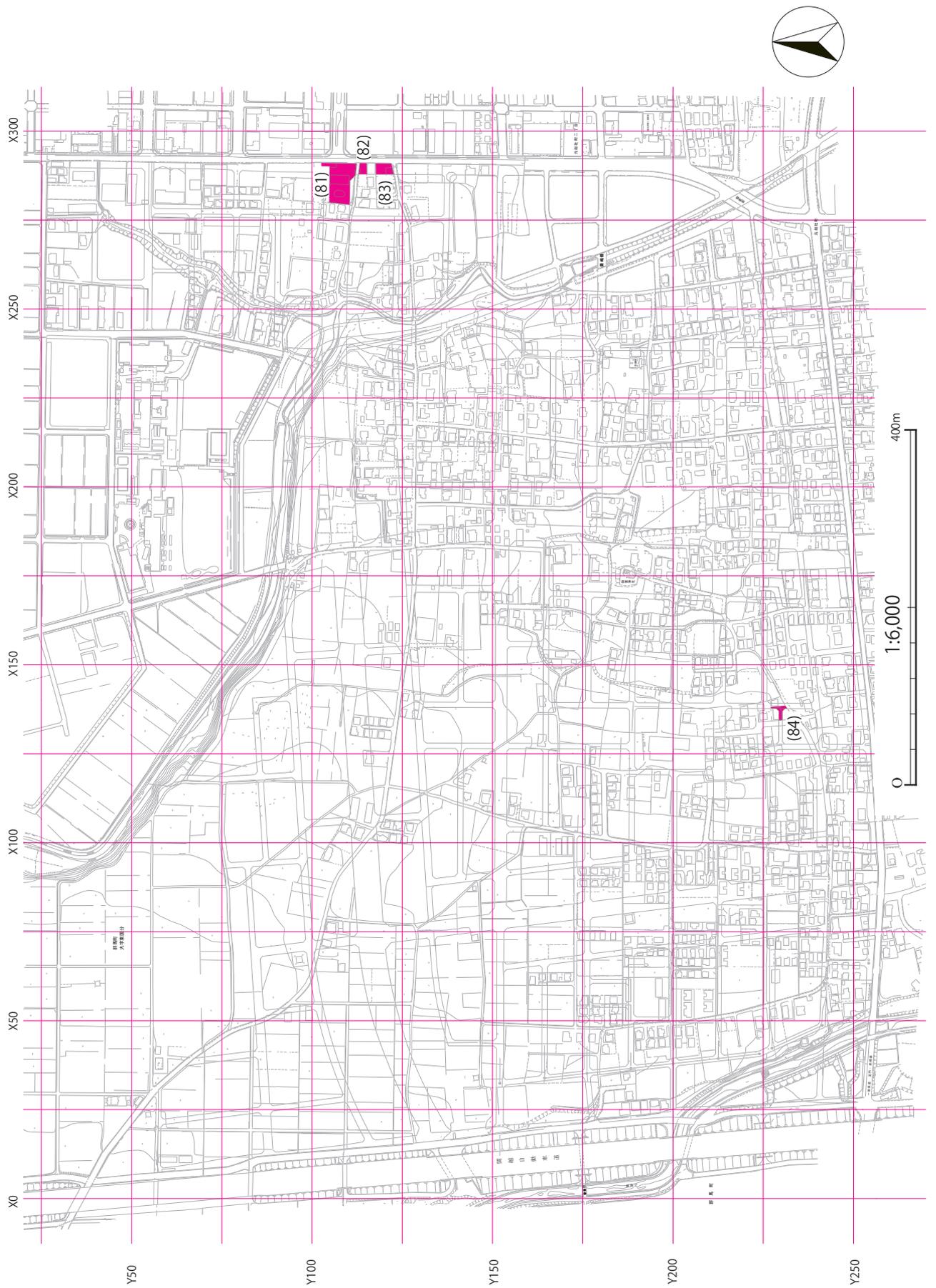
前橋市元総社町の町名由来は、平安時代に上野国総社神社がこの地に創祀され、総社と呼ばれていたが、秋元氏が新たに植野の地に城を築き、総社の人々を一部移転させ、その城下に佐渡奉行街道の総社宿を整備したため、総社宿のある地が総社と呼ばれ、上野国総社神社のある地は、総社の元地であることから元総社と呼ばれるようになったことによる。

第1表 周辺遺跡概要一覧表

No.	遺跡名	概要	No.	遺跡名	概要
1	元総社蒼海遺跡群(81～84)	本遺跡(調査区)	29	大友宅地添遺跡	古墳・畠跡、平安・水田跡
2	史跡 上野国分寺跡	奈良・寺院跡(国分僧寺跡)	30	総社閑泉明神北遺跡	古墳・水田跡・畠跡、中世・溝跡
3	上野国分尼寺跡	奈良・寺院跡	31	元総社宅地遺跡1～23トレ	古墳・平安・住居跡、近世・溝跡、他
4	史跡 山王院寺跡	白鳳期・寺院跡(放光寺跡)	32	薬師前遺跡	縄文・ビット、奈良・平安・住居跡
5	史跡 (総社) 二子山古墳	前方後円墳(6世紀後半)石室2室	33	熊野谷遺跡・Ⅱ・Ⅲ遺跡	縄文・平安・住居跡、平安・溝跡
6	総社愛宕山古墳	方墳(7世紀前半)家形石棺	34	下東西遺跡	縄文・埋甕、弥生～平安・住居跡、他
7	市史跡 遠見山古墳	前方後円墳(5世紀末)	35	北原遺跡	古墳・水田、奈良・平安・住居跡、他
8	史跡 宝塔山古墳	方墳(7世紀中葉)家形石棺、截石	36	国分境遺跡・Ⅱ・Ⅲ遺跡	古墳～平安・住居跡、他
9	史跡 蛇穴山古墳	方墳(7世紀後半)截石	37	総社植野北開土遺跡	古墳・水田跡、他
10	穂積稲荷山古墳	円墳(6世紀代)	38	柿木遺跡・Ⅱ遺跡	奈良・平安・住居跡・溝跡
11	市史跡 王山古墳	前方後円墳(6世紀前半)	39	村東遺跡	古墳～平安・住居跡、中世・堀跡
12	元総社小学校校庭遺跡	平安・掘立柱建物跡、他	40	大屋敷遺跡Ⅰ～Ⅴ	縄文～平安・住居跡、中世・溝跡
13	元総社明神遺跡Ⅰ～ⅩⅢ	古墳・水田跡・住居跡、他	41	昌楽寺廻向遺跡・Ⅱ遺跡	奈良・平安・住居跡
14	閑泉樋遺跡	奈良・平安・溝跡	42	中尾遺跡	奈良・平安・住居跡
15	草作遺跡	古墳～平安・住居跡、他	43	史跡 日高遺跡	弥生・住居跡・水田跡、平安・水田跡
16	寺田遺跡	平安・溝跡	44	総社甲稲荷塚大道西遺跡	平安・住居跡・溝跡、他
17	閑泉樋南遺跡	古墳・住居跡、奈良・平安・溝跡	45	総社閑泉明神北Ⅱ遺跡	古墳～平安・住居跡・溝跡
18	上野国分僧寺・尼寺中間地域	縄文～平安・住居跡・土坑、中世・寺院跡・井戸跡・溝跡	46	総社甲稲荷塚大道西Ⅱ遺跡	古墳～平安・住居跡・溝跡
19	塚田村東遺跡	平安・住居跡	47	元総社小見遺跡	古墳～平安・住居跡・溝跡
20	鳥羽遺跡	古墳～平安・住居跡、神社跡、他	48	元総社小見内Ⅲ遺跡	弥生・古墳・平安・住居跡・溝跡
21	大友屋敷Ⅱ・Ⅲ遺跡	古墳～平安・住居跡、他	49	元総社小見Ⅱ遺跡	縄文・古墳・平安・住居跡・溝跡
22	天神遺跡・Ⅱ遺跡	奈良・平安・住居跡	50	元総社小見Ⅲ遺跡	縄文・古墳・平安・住居跡・溝跡
23	屋敷遺跡・Ⅱ遺跡	古墳～平安・住居跡、中世・堀跡	51	元総社草作Ⅴ遺跡	古墳～平安・住居跡・溝跡
24	堰越遺跡	奈良・平安・住居跡・溝跡	52	元総社小見Ⅶ遺跡	縄文・古墳・平安・住居跡・溝跡
25	堰越Ⅱ遺跡	平安・住居跡	53	総社閑泉明神北遺跡	古墳・水田跡・畠跡
26	弥勒遺跡・Ⅱ遺跡	古墳・平安・住居跡	54	元総社牛池川遺跡	古墳・水田跡
27	元総社寺田遺跡	古墳・水田跡、奈良・平安・住居跡	55	元総社蒼海遺跡群(36)	古墳～中世・住居跡・溝跡
28	上野国分寺参道遺跡	古墳・平安・住居跡	56	元総社蒼海遺跡群(17)	古墳～平安・住居跡、他



第2図 周辺遺跡図



第3図 元総社蒼海遺跡群位置図・グリッド設定図

Ⅲ 調査の方針と経過

1 調査方針

調査委託箇所は道路用地内で、4箇所の調査区域に分かれており、遺構番号は調査区域ごとに付番した。

グリッドは公共座標に基づき4×4mで設定し、区画整理地内の遺跡調査当初からの設定により、南北方向をY軸とし北から南へY1、Y2、Y3・・・、東西方向をX軸とし西から東へX1、X2、X3・・・と付番した。各グリッドの呼称は北西杭の名称を使用した。各調査区の公共座標(日本測地系 第IX系)は、2011年3月11日の東日本大震災によりズレを生じたことから、座標値及び水準値は、地震パラメータをかけた数値に変換し使用した。

水準点は公共水準点に基づきNo.81は、B.M.1・・・H=118.30 m、B.M.2・・・H=117.90 m。No.82は、B.M.1・・・H=118.82 m。No.83は、B.M.1・・・H=117.50 m。No.84は、B.M.1・・・H=119.00 mを設置した。

調査方法は、表土掘削、遺構確認、杭打ち、遺構覆土除去、遺構精査、写真撮影、測量の手順で行った。

図面作成は、平板・遣り方測量を用い、原則として竪穴住居跡・竪穴状遺構・方形周溝墓は1/20、竈は1/10、土坑は1/20で一部1/40、溝跡等は1/40、全体図を1/100、各断面図は竈を除き1/20の縮尺で作図を行った。遺物については遺物分布平面図を遺構と同縮尺で作成し、遺物台帳に記載し、標高を計測の後、付番処理をして取り上げた。遺構・遺物等出土状況は写真(白黒・リバーサルフィルム・デジタル画像)を撮影した。

2 調査経過

調査は、前橋市教育委員会の指導、監督のもと、スナガ環境測設株式会社が実施した。調査の順序は前橋市區画整理第二課の指示により調査地の既存建物の解体の順序に合わせて行うこととした。

調査は、元総社蒼海遺跡群(82)・(83)から行うことになり平成26年9月3日、除草作業から始まった。(以後「元総社蒼海遺跡群」を省略して()で付された数字で表記する。)6日、発掘器材や掘削機械及び資材を搬入した。8日より重機による表土掘削を(83)から開始し、同時にバリケード等による安全対策を行った。また、遺構確認面は前橋市教育委員会の業務監督員の指導を得て行うとともに、ジョレン掛け精査により遺構確認と壁切りを行った。廃土は指定された置き場へ4tダンプで搬出し、後日廃土山を整地した。(83)の表土掘削は、(82)の表土掘削時のダンプ搬出路の確保のため南側半分まで終了させた。9日から(82)の表土掘削を開始し、11日から移植ゴテにより(82)の住居跡から覆土除去作業を開始した。18日から(83)の北側半分の表土掘削を再開した。各遺構の精査後、記録保存を実施し、10月2日に業務監督員の検査が行われ(82)・(83)の埋戻し及び資材片付けが4日に完了した。

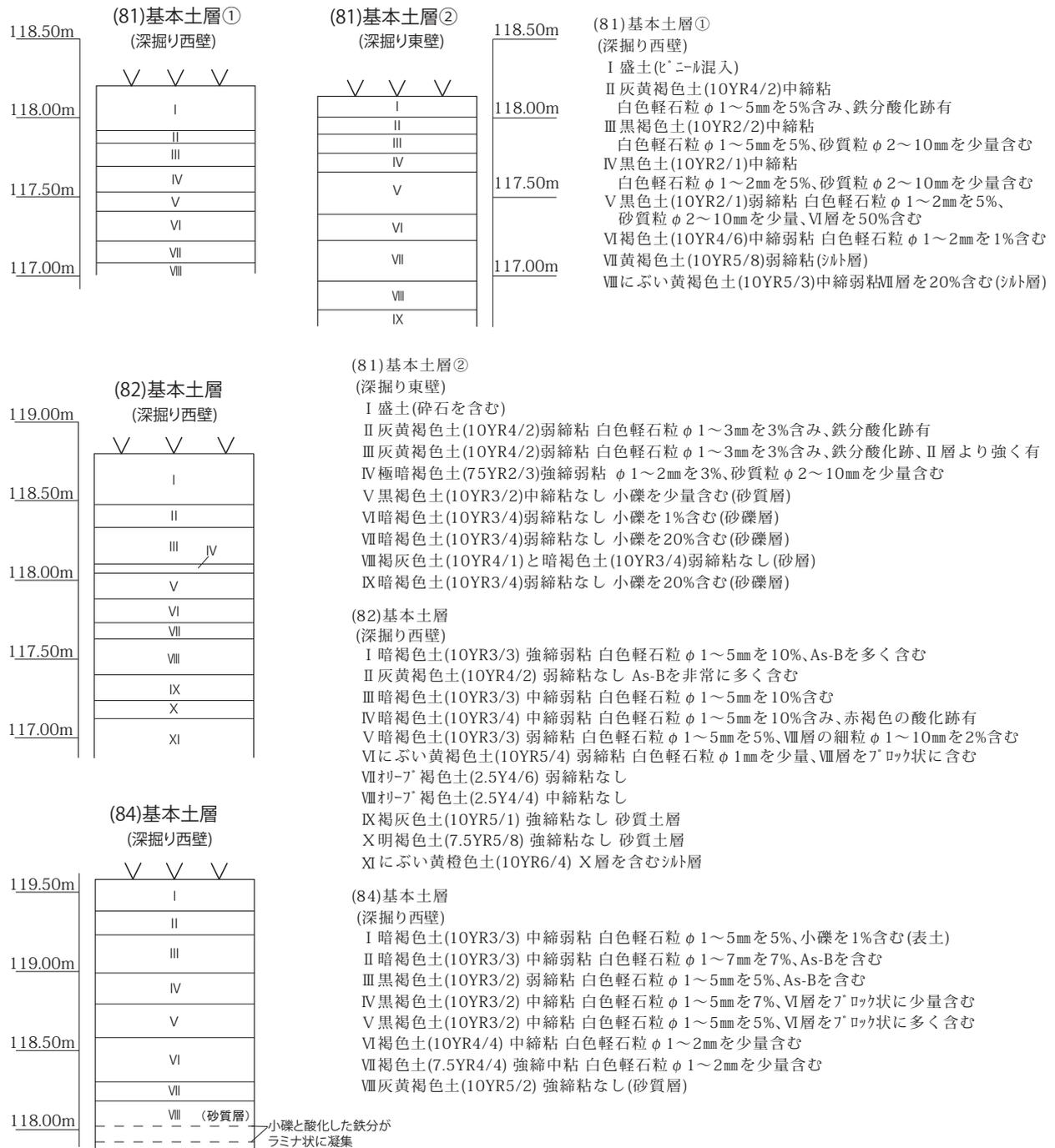
次に調査を開始したのは、既存建物の解体工事が遅延したため、10月20日から(84)を重機による表土掘削を開始した。バリケード等による安全対策を行い、遺構確認面は前橋市教育委員会の業務監督員の指導を得て行うとともに、ジョレン掛け精査により遺構確認と壁切りを行った。廃土は指定された置き場へ4tダンプで搬出し、後日廃土山を整地した。21日から移植ゴテにより住居跡から覆土除去作業を開始した。各遺構の精査後、記録保存を実施し、11月6日に業務監督員の検査が行われ(84)の埋戻し及び資材片付けが8日に完了した。

最後の(81)においても既存建物の解体工事が遅延したため、11月17日より調査に入った。20日から移植ゴテにより住居跡から覆土除去作業を開始した。12月2日に区画整理課から下水道管布設工事のため、南側5m幅の部分の部分を早く引き渡してほしいとの要望があり、南側を先行し調査を行った。各遺構の精査後、記録保存を実施し、19日業務監督員の検査が行われた。また、リモコンヘリによる南側の空撮を行った。平成27年1月6日に業務監督員の確認後、南側を引き渡した。引き続き残りの部分の調査を進めて行った。2月3日にリモコンヘリによる北側の空撮を行った。2月5日に業務監督員の検査が行われ(81)のプレハブ事務所の撤去及び資

材片付けが9日に完了した。

IV 層 序

層序は、各調査区内に入れた深掘りトレンチセクション図をもとに、模式図を作成し、土層説明を下記に掲載した。



第4図 基本土層断面図

V 検出された遺構と遺物

1 元総社蒼海遺跡群(81)の遺構

(81) 調査区では竪穴住居跡 32 軒、竪穴状遺構 8 軒、土坑 15 基、溝 1 条、方形周溝墓 1 基を検出した。各遺構の計測値及び概要は、以下の表にまとめた。

(1) 竪穴住居跡

第 2 表 (81) 住居跡一覧表

(81) H-1号住居跡

[]は現存値、()は推定値を表す。

位置	平面形状	規模(cm)	面積(m ²)	主軸方向	床面	竈(cm)
X280・281 Y104	(長方形)	[238×147×18]	[2.32]	N-66° -E	平坦、標高117.62m	—
柱穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
—				北側調査区外	6世紀前半	土師器 坏、甕の小破片少量

(81) H-2号住居跡

位置	平面形状	規模(cm)	面積(m ²)	主軸方向	床面	竈(cm)
X280 Y105・106	(長方形)	340×[119]×40	[2.45]	N-75° -E	平坦、標高117.35m	—
柱穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
P1:長方形 39×34×36				西側調査区外	5世紀後半	土師器 坏・甕の破片少量 掲載：土師器 甕 1点

(81) H-3号住居跡

位置	平面形状	規模(cm)	面積(m ²)	主軸方向	床面	竈(cm)
X280 Y108・109	(長方形)	[321×70×13]	[1.51]	N-89° -E	平坦、標高117.61m	東壁の南寄り N-89° -E 全長[65]、幅[76]、焚口幅[42]
柱穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
—				西側調査区外	5世紀末	土師器 坏・甕の破片少量 掲載：土師器 坏1、甕1

(81) H-4号住居跡

位置	平面形状	規模(cm)	面積(m ²)	主軸方向	床面	竈(cm)
X280 Y110	(長方形)	[276×105×7]	[2.81]	N-92° -E	平坦、堅緻、標高117.68m	—
柱穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
—				西・南側調査区外 H-6→H-5→H-4→D-1・2	10世紀以降	土師器 坏、甕の小破片数点出土

(81) H-5号住居跡

位置	平面形状	規模(cm)	面積(m ²)	主軸方向	床面	竈(cm)
X280 Y109・110	(長方形)	[324×267×13]	[7.93]	N-87° -E	平坦、堅緻、標高117.61m	—
柱穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
—				西・南側調査区外 H-6→H-5→H-4→D-1・2	10世紀代	須恵器 甕、土師器 坏、甕の破片数点 掲載：土師器 坏 1

(81) H-6号住居跡

位置	平面形状	規模(cm)	面積(m ²)	主軸方向	床面	竈(cm)
X280・281 Y109・110	(正方形)	[516×383×7]	[15.03]	N-71° -E	平坦、堅緻、周溝、 標高117.64m	—
柱穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
P1:楕円23×20×46、P1:円 44×43×65				西・南側調査区外 H-6→H-5→H-4→D-1・2	6世紀前半	土師器 坏、甕の小破片少量 掲載：土師器 坏 1

(81) H-7号住居跡

位置	平面形状	規模(cm)	面積(m ²)	主軸方向	床面	竈(cm)
X287 Y110・111	(長方形)	[248×229×13]	4.62	N-69° -E	平坦、堅緻、標高117.56m	—
柱穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
—				南側調査区外	6世紀中頃	須恵器 甕、土師器 坏、甕の小破片数点 掲載：菰編石 1

(81) H-8号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	竈(cm)
X290 Y103	不明	竈のみ検出	[0.05]	—	—	N-88° -E 全長19、幅32、焚口幅不明
柱 穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
—				西側調査区外 H-9→H-8	不明	出土なし

(81) H-9号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	竈(cm)
X290・291 Y102~104	(長方形)	[471×248×22]	[10.56]	N-77° -E	平坦・堅緻・標高117.50m	—
柱 穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
D1(床下土坑):円 [150×80×44]				西・東側調査区外 H-9→H-8	6世紀前半	土師器 環、甕、高環など出土 掲載:土師器 甕2

(81) H-10号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	竈(cm)
X282~284 Y108・109	長方形	540×496×28	25.93	N-85° -E	平坦・堅緻・間仕切り溝、周溝、 標高117.47m	東壁の南寄り N-84° -E 全長133、 幅110、焚口幅26、支脚石、袖石
柱 穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
P1:楕円40×31×56、P2:楕円50×37×40、P3:楕円46×32×69、 P4:円60×55×61、P5:楕円37×30×55、P6:楕円40×32×55、 貯蔵穴:長方形 87×80×76				H-11→H-10→T-3	6世紀前半	土師器 環、鉢、甕、高環多く出土 掲載:土師器 環11、鉢3、甕3

(81) H-11号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	竈(cm)
X281~283 Y107~109	長方形	595×583×23	30.3	N-57° -E	平坦・堅緻・周溝、 標高117.55m	東壁の南寄り N-(62)° -E 袖石 全長[107]、幅[45]、焚口幅[17]
柱 穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
P1:楕円60×46×83、P2:(円)32×(28)×62、P3:楕円47×38×58、 P4:円54×50×23、P5:正方形43×40×51、貯蔵穴:楕円(80)×(75)×59、 D1(床下土坑):楕円228×90×44				H-11→H-10→T-3・4	5世紀後半	土師器 環、甕が多く出土 掲載:土師器 環2、甕3

(81) H-12号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	竈(cm)
X284・285 Y108	不明	竈のみ	[0.23]	—	—	N-72° -E 全長[75]、幅[40]、焚口幅 不明
柱 穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
—				H-13→H-12→W-1	不明	出土遺物なし

(81) H-13号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	竈(cm)
X284・285 Y108・109	正方形	471×(460)×13	-21.28	N-75° -E	平坦・堅緻・間仕切り 溝、標高117.53m	—
柱 穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
P1:円32×30×43、P2:円46×45×39、P3:円31×30×67、 D1(床下土坑):長方形114×96×16				H-13→H-12→W-1	5世紀後半	土師器 環、鉢、甕、甌など出土 掲載:土師器 鉢1、甕3、甌1

(81) H-14号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	竈(cm)
X285~287 Y107~109	正方形	520×510×41	26.59	N-59° -E	平坦・堅緻・周溝、南側に高まり、 標高117.39m	東壁の南寄り N-57° -E 支脚石 全長121、幅73、焚口幅(30)
柱 穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
P1:楕円33×29×45、P2:楕円 40×35×48、P3:円40×38×54、 P4:楕円30×26×40、貯蔵穴:正方形 130×120×64				H-14→T-5	5世紀末~ 6世紀前半	掲載:土師器 環6、塊1、甕5、壺1、 台付甕1、甌1、鉢1、甌1、菰石1、砥石1

(81) H-15号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	竈(cm)
X286・287 Y110	正方形	310×295×13	9	N-107° -W	平坦・堅緻・標高117.57m	西壁の南寄り N-105° -W 支脚石 全長86、幅74、焚口幅30
柱 穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
貯蔵穴:上端 楕円53×46、下端 長方形28×24、深さ50、 D1(床下土坑):不整形75×44×27				攪乱が多い	6世紀前半	土師器 環、甕の小破片を数点出土 掲載なし

(81) H-16号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	竈(cm)
X283・284 Y109・110	(長方形)	500×[243]×5	[10.47]	N-80° -E	平坦・堅緻・間仕切り溝、周溝、 標高117.58m	—
柱 穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
P1:円43×40×55、P2:円25×24×48				南側調査区外 攪乱多い	5世紀末~ 6世紀前半	土師器 環、甕の小破片が数点出土 掲載なし

(81) H-17号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床面	竈(cm)
X282・283 Y110	(長方形)	470×[162]×12	[6.40]	N-80° -E	平坦、堅緻、周溝、 標高117.58m	—
柱穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
P1:円31×28×53、D1(床下土坑):不整形160×78×34				南側調査区外 H-17→T-2	5世紀末～ 6世紀前半	出土遺物なし

(81) H-18号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床面	竈(cm)
X282・283 Y106・107	長方形	423×395×25	16.26	N-90° -E	平坦、堅緻、標高117.55m	東壁の南寄り N-91° -E 全長93、幅86、焚口幅42
柱穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
P1:円33×33×32				H-19→H-18	10世紀後半～ 11世紀前半	掲載:土師器 壺1、高台壺1、 小皿1、台付甕1、紡錘車1

(81) H-19号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床面	竈(cm)
X283・284 Y106～108	正方形	486×480×38	22.74	N-85° -E	平坦、周溝、標高117.41m	東壁のやや南寄り N-86° -E 全長93、幅94、焚口幅53 袖石
柱穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
P1:円76×75×70、P2:長方形38×34×59、 貯蔵穴:長方形100×83×60、D1:楕円115×90×24				H-19→H-18	7世紀末～ 8世紀前半	掲載:須恵器 環1、蓋1、壺2、土師器 環6

(81) H-20号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床面	竈(cm)
X281・282 Y105～107	正方形	595×592×43	34.58	N-76° -E	平坦、堅緻、周溝、 標高117.37m	東壁の南寄り N-74° -E 全長102、幅106、焚口幅35
柱穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
P1:円54×52×48、P2:円40×40×54、P3:楕円69×54×62、 P4:楕円35×29×28、P5:円55×55×51、P6:円41×40×57、 貯蔵穴:長方形75×70×73				H-25→H-20→T-1	6世紀前半	掲載:土師器 環12、甕7、高环7、台付甕1、鉢1、甕2、小玉1

(81) H-21号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床面	竈(cm)
X283・284 Y105・106	正方形	287×284×17	7.79	N-98° -E	平坦、標高117.45m	東壁のやや南寄り N-93° -E 全長86、幅(82)、焚口幅54 袖石
柱穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
—				H-32→H-22→H-21→D-13	8世紀前半	須恵器 環、土師器 環、甕の小破片が少量出土。 掲載なし

(81) H-22号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床面	竈(cm)
X283・284 Y105・106	正方形	485×472×27	19.9	N-76° -E	平坦、周溝、標高117.38m	東壁の南寄り N-76° -E 全長100、幅90、焚口幅34 袖石
柱穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
P1:円38×37×56、P2:円31×30×58、 P3:上端 楕円57×52 下端 正方形24×24 深さ22、 P4:円32×29×49				H-32→H-25→H-23 →H-22→H-21→D-13	6世紀前半	土師器 環、甕が少量出土 掲載:土師器 環3

(81) H-25号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床面	竈(cm)
X282・283 Y104・105	(正方形)	617×[543]×39	27	N-75° -E	平坦、堅緻、周溝、 標高117.33m	—
柱穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
P1:円52×52×40				北側調査区外 H-32→H-25→H-24・H-22・H-20	5世紀末～ 6世紀初	土師器 環、甕の小破片を少量出土 掲載なし

(81) H-26号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床面	竈(cm)
X286・287 Y106・107	正方形	333×319×27	10	N-78° -E	平坦、周溝、標高117.59m	1号竈(cm) 南西隅 N-152° -W 全長83、幅71、焚口幅36 (新竈)
2号竈(cm)				重複	時期	遺物
北東隅 N-44° -E 全長81、幅83、焚口幅41 (旧竈)				—	8世紀前半	須恵器 環、甕、瓦、土師器 環、甕など出土 掲載:須恵器 壺1、土師器 環4、甕1

(81) H-27号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	竈(cm)
X285~287 Y104・105	(長方形)	634×[276]×30	9	N-108° -W	平坦、堅緻、周溝、標高117.51m 南側中央高まり(出入り口か)	西壁の南寄り N-100° -W 全長85、幅[67]、焚口幅(35)
柱 穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
P1:円36×34×33、P2:円50×47×26 貯蔵穴:長方形62×50×79				北側調査区外	6世紀中頃～ 6世紀後半	掲載:土師器 環2、甕3、高環1、甌1

(81) H-28号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	竈(cm)
X288 Y106	長方形	330×295×24	10	N-90° -E	平坦、周溝、標高117.59m	東壁の南寄り N-90° -E 全長80、幅82、焚口幅36
柱 穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
貯蔵穴:楕円 47×39×21				攪乱多い	6世紀前半～ 6世紀中頃	土師器 環、甕など少量出土 掲載:土師器 環2、石製製造品1

(81) H-29号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	竈(cm)
X288・289 Y104・105	(長方形)	378×[240]×40	[5.87]	N-69° -E	平坦、堅緻、周溝、 標高117.37m	—
柱 穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
P1:楕円38×31×30、P2:楕円49×32×60、 貯蔵穴:長方形60×45×30				北側調査区外 H-29→D-14	6世紀中頃	土師器 環、甕の小破片を少量出土 掲載:なし

(81) H-30号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	竈(cm)
X289・290 Y107・108	長方形	404×364×51	15	N-64° -E	平坦、周溝、標高117.36m	東壁の南寄り N-67° -E 全長96、幅84、焚口幅30
柱 穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
P1:円38×37×24、P2:円40×39×16、P3:楕円36×30×4 2、P4:楕円45×36×25、貯蔵穴:楕円58×41×13				—	7世紀後半～ 8世紀前半	掲載:須恵器 甕2、土師器 環4、甕2、壺1、高環1

(81) H-31号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	竈(cm)
X290 Y106・107	長方形	360×323×27	[9.94]	N-62° -E	平坦、堅緻、周溝、 標高117.52m	—
柱 穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
—				東側調査区外 D-15→H-31	7世紀後半～ 8世紀前半	土師器 環、甕、高環の小破片を少量出土 掲載:なし

(81) H-32号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	竈(cm)
X282・283 Y104~106	正方形	515×498×28	[25.38]	N-74° -E	平坦、堅緻、周溝、 標高117.33m	東壁の南寄り。上位層の住居跡に 壊され焼土範囲のみ確認
柱 穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
P1:楕円[58]×45×69、貯蔵穴:楕円(96)×73×30				H-32→H-25→H-24 H-25→H-22→H-21	5世紀後半	土師器 環、甕の破片が少量出土。 掲載:土師器 環1

(2) 竪穴状遺構

第3表 (81) 竪穴状遺構一覧表

(81) T-1号竪穴状遺構跡

[]は現存値、()は推定値を表す。

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	重複	時期	遺物
X281・282 Y107	長方形	226×197×20	4	N-39° -E	平坦、 標高117.54m	H-20→T-1	不明	土師器 環、甕などの小破片少量 掲載:なし

(81) T-2号竪穴状遺構跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	重複	時期	遺物
X282 Y110	(長方形)	[224×100×12]	[1.78]	N-76° -E	平坦、 標高117.59m	H-17→T-2 南側調査区外	10世紀代	土師器 環、甕、瓦などの小破片数 点 掲載:なし

(81) T-3号竪穴状遺構跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	重複	時期	遺物
X282・283 Y109	長方形	230×215×14	5	N-95° -E	平坦、 標高117.52m	H-11→H-10→ T-3	不明	土師器 環、甕などの小破片少量 掲載:なし

(81) T-4号竪穴状遺構跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	重複	時期	遺物
X282 Y108	正方形	236×226×18	5	N-50° -E	平坦、 標高117.60m	H-11→T-4	10世紀代	須恵器 甕、瓦、土師器 環、甕、 甌、羽釜などの小破片 掲載:瓦1

(81) T-5号竪穴状遺構跡

位置	平面形状	規模(cm)	面積(m ²)	主軸方向	床面	重複	時期	遺物
X286 Y107・108	長方形	250×175×6	4	N-51°-E	平坦、標高 117.77m	H-14→T-5	不明	土師器 環、甕などの小破片 掲載なし

(81) T-6号竪穴状遺構跡

位置	平面形状	規模(cm)	面積(m ²)	主軸方向	床面	重複	時期	遺物
X287・288 Y109・110	長方形	226×182×15	4	N-92°-E	平坦、 標高117.56m	北西側に攪乱	不明	遺物出土なし

(81) T-7号竪穴状遺構跡

位置	平面形状	規模(cm)	面積(m ²)	主軸方向	床面	重複	時期	遺物
X289・290 Y110・111	長方形	262×220×13	5	N-86°-E	平坦、 標高117.43m	T-7→D-9	8世紀代	土師器 環、甕などの小破片数点 掲載なし

(81) T-8号竪穴状遺構跡

位置	平面形状	規模(cm)	面積(m ²)	主軸方向	床面	重複	時期	遺物
X285・286 Y105・106	正方形	265×263×13	6	N-89°-E	平坦、 標高117.67m	—	8世紀代	須恵器 高台碗、土師器 環、甕など の破片少量 掲載なし

(3) 土坑

土坑は、15基検出した。遺物を出土した土坑もあったが小破片を数点のみで、重複している遺構との切りあいは確認できたが、時期の特定までには至らなかった。特徴ある土坑としては、D-13号土坑は、上端形状は楕円で、上端形状は楕円で、下端では上端より広がっている袋状を呈している。

第4表 (81) 土坑計測表

()は推定値、[]は検出値を表す。

土坑 番号	遺構位置	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	形状	備考
(81)D-1	X280,Y110	100	100	55	円形	土師器・須恵器片 H-4・56→D-1
(81)D-2	X280,Y110	70	70	14	円形	H-4・5・6→D-2
(81)D-3	X288,Y109・110	108	104	9	円形	土師器・須恵器片 W-2→D-3
(81)D-4	X288・289,Y109	136	118	9	楕円形	土師器・須恵器片 W-2→D-4
(81)D-5	X288,Y110	104	88	8	楕円形	土師器片 W-2→D-5
(81)D-6	X288・289,Y110	116	108	8	円形	土師器片 W-2→D-6
(81)D-7	X288,Y111	110	100	13	円形	土師器片 W-2→D-7
(81)D-8	X288・289,Y111	151	134	30	長方形	土師器片 W-2→D-8
(81)D-9	X289・290,Y110・111	116	112	18	円形	T-7→D-9
(81)D-10	X289・290,Y110・111	118	90	24	楕円形	
(81)D-11	X290,Y109	160	135	16	楕円形	
(81)D-12	X289・290,Y111	[72]	[32]	[28]	不明	南側調査区外
(81)D-13	X283・284,Y105・106	90	72	58	楕円形	袋状 土師片 H-21・22→D-13
(81)D-14	X288・289,Y104・105	[210]	[76]	[97]	(円形)	土師器片 H-29→D-14
(81)D-15	X290,Y106	[94]	[48]	[16]	(円形)	H-31→D-15

(4) 溝跡

W-1号溝跡は、(81)調査区のほぼ中央に位置し南北に走行する。建築物の基礎による攪乱を全長にわたって受けている。重複状況は、W-1号溝がH-13号住居跡とH-23号住居跡を切っている。覆土は、As-B軽石の混土で埋まっている。遺物は土師器で頸部が「コ」の字の甕や環の破片を少量出土した。

第5表 (81) 溝跡計測表

E・W・S・Nは東西南北を、[]は検出値を表す。

溝跡 番号	位置 (グリッド)	長さ (m)	深さ (cm)	底のレベル(m)	溝幅(cm)		流水方向 (勾配%)
					上端	下端	
(81)	X284・285, Y104~110	[46.0]	N 22~ S 34	N 117.52~S 117.37	201~265	140~200	N→S(0.3%)
W-1							

(5) 方形周溝墓 (C-1)

遺構は、X288～290,Y108～111 グリッド内で、(81) 調査区の南東隅に位置する。溝は全周型の方形周溝墓と思われ、東壁の調査区外から出て、西へやや湾曲し、上端幅 170～280cm、下端幅 100～120cm、深さ 42～103cmを測り長さ 8.0 mで走行し、コーナー部分は上端幅 80～120cm、下端幅 40～80cm、深さ 40～50cm、長さ 3.2 mで幅が狭く、浅くなった溝が南へクランクし、その後上端幅 120～300cm、下端幅 100～220cm、深さ 45～67cmで幅が広く深くなった溝が長さ 7.8 m走行し南壁の調査区外へ入る。主軸方向は、N-78°-E、主体部は、検出されなかった。遺物は南北に走行する周溝側の中央付近に石田川式土器が、ほぼ完形で出土した。掲載した遺物は、土師器の埴 4 点、高坏 1 点、台付甕 1 点の合計 6 点。

2 元総社蒼海遺跡群 (82) の遺構

(82) 調査区では竪穴住居跡 4 軒。土坑 4 基を検出した。調査区は擁壁に囲まれた非常に狭い面積の中であったため、遺構確認や重複状況を確認しづらかった。各遺構の計測値及び概要について以下の表にまとめた。

(1) 竪穴住居跡

第 6 表 (82) 住居跡一覧表

(82) H-1号住居跡

[]は現存値、()は推定値を表す。

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	竈(cm)
X289・290 Y113	(長方形)	310×[138]×16	[3.93]	N-102°-E	平坦、堅緻、標高117.58m	東壁の南寄り N-105°-E 全長119、幅56、焚口幅32
柱 穴・貯蔵穴(cm)				重 複	時 期	遺 物
P1:楕円 47×40×20				北側調査区外	10世紀中頃	土師器 甕、瓦など破片を数点出土 掲載: 瓦 1

(82) H-2号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	竈(cm)
X290 Y114	(長方形)	[239×232×40]	[4.52]	N-113°-E	平坦、標高117.20m	—
柱 穴・貯蔵穴(cm)				重 複	時 期	遺 物
—				東・南側調査区外 H-3→H-2、D-2→H-2	不明	土師器 坏、甕、などの小破片を数点出土。 掲載: なし

(82) H-3号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	竈(cm)
X289・290 Y114	(長方形)	[254×160×40]	[3.90]	N-110°-E	平坦、標高117.21m	—
柱 穴・貯蔵穴(cm)				重 複	時 期	遺 物
P1:(円) 33×[28]×27				南側調査区外 H-3→H-2、H-3→D-3	6世紀代	土師器 坏、甕、高坏などの小破片を少量出土。 掲載: なし

(82) H-4号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	竈(cm)
X289 Y114	(長方形)	[180×168×24]	[2.46]	N-61°-E	平坦、標高117.43m	—
柱 穴・貯蔵穴(cm)				重 複	時 期	遺 物
P1:楕円 52×40×35				南側調査区外 H-4→D-1	不明	土師器 坏、甕などの小破片を少量出土。 掲載: なし

(2) 土坑

(82) の調査区の土坑は、4 基検出した。遺物を出土した土坑もあったが小破片を数点のみで、重複している遺構との切りあいは確認できたが、時期の特定までには至らなかった。形状や規模としては、D- 1・2 号土坑は、まったく不明な土坑である。

第7表 (82) 土坑計測表

()は推定値、[]は検出値を表す。

土坑番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
(82)D-1	X288・289,Y114	[285]	[167]	48	不整形	土師器片 H-4→D-1
(82)D-2	X290,Y113・114	[324]	[213]	40	不整形	土師器片 D-2→H-2・3
(82)D-3	X289,Y114	194	168	67	楕円	H-3・D-4→D-3
(82)D-4	X289,Y113・114	145	83	43	楕円	D-4→D-3

3 元総社蒼海遺跡群(83)の遺構

(83)の調査区では、土坑2基、溝跡1条を検出した。本調査区は上層が削平され、また建築物による攪乱が多く、全体に砂・礫が現れ遺構があまり検出されなかった。各遺構の計測値及び概要について以下の表にまとめた。

(1) 土坑

D-1号土坑は、風倒木痕の中に土坑を検出し、遺物は出土しなかった。D-2号土坑は、攪乱層の下から検出され、遺物も多く出土しており10世紀中頃と思われる。掲載した遺物は、須恵器の羽釜1点、土師器の坏1点、高台埴1点、甕1点、羽釜1点の合計5点。

第8表 (83) 土坑一覧表

()は推定値、[]は検出値を表す。

土坑番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形状	備考
(83)D-1	X289,Y118	150	138	60	長方形	風倒木痕→D-1
(83)D-2	X290,Y120	163	52	23	長方形	須恵器・土師器攪乱層の下から検出

(2) 溝跡

W-1号溝跡は、調査区の南端に位置し東西に走行すし、東から西へ流下する。上層を削平された中でかろうじて残存している。遺物は出土しなかった。中世以降の溝跡と思われる。

第9表 (83) 溝跡計測表

E・W・S・Nは東西南北を、[] 検出値を表す。

溝跡番号	位置(グリッド)	長さ(m)	深さ(cm)	底のレベル(m)	溝幅(cm)		流水方向(勾配%)
					上端	下端	
(83)	X288~290	[11.4]	E 6~ W 33	E 117.52~W 117.23	93~141	29~71	E→W(2.5%)
W-1	Y121・122						

4 元総社蒼海遺跡群(84)の遺構

(84)では竪穴住居跡4軒、土坑2基、ピット11基、溝跡2条を検出した。各遺構の計測値及び概要は、以下の表にまとめた。

(1) 竪穴住居跡

第10表 (84) 住居跡一覧表

(84) H-1号住居跡

[]は現存値、()は推定値を表す。

位置	平面形状	規模(cm)	面積(m ²)	主軸方向	床面	竈(cm)
X137・138 Y228・229	(長方形)	332×[237]×39	[6.44]	N-69° -E	平坦、堅緻、周溝、 標高118.28m	—
柱穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
—				東側調査区外 H-2→H-1→W-1	7世紀末~ 8世紀初	須恵器 甕、瓦、土師器 坏、甕、などの小破片を出土 掲載:須恵器 高盤1、菰編石5

(84) H-2号住居跡

位置	平面形状	規模(cm)	面積(m ²)	主軸方向	床面	竈(cm)
X137・138 Y228	(長方形)	[170×62×30]	[1.01]	N-75° -E	平坦、標高118.33m	—
柱穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
—				東側調査区外 H-2→H-1	7世紀中頃 ~後半	土師器 坏、甕、などの小破片を少量出土 掲載:磨り石1

(84) H-3号住居跡

位置	平面形状	規模(cm)	面積(m ²)	主軸方向	床面	竈(cm)
X135・136 Y230	(長方形)	[215×18×38]	[0.20]	N-97° -E	平坦、堅緻、標高118.32m	—
柱穴・貯蔵穴(cm)				重複	時期	遺物
—				南側大部分調査区外 H-4→H-3	不明	土師器 坏、甕、などの小破片を数点出土 掲載:なし

(84) H-4号住居跡

位置	平面形状	規模 (cm)	面積(m ²)	主軸方向	床 面	竈(cm)
X136・137 Y230	(長方形)	[415×33×52]	[1.11]	N-92° -E	平坦、堅緻、標高118.18m	—
柱 穴・貯蔵穴(cm)				重 複	時 期	遺 物
—				南側大部分調査区外 H-4→H-3、H-4→P-8	不明	遺物出土なし

(2) 土坑

D-1号土坑は、人骨が出土し、土坑墓と考えられる。W-1に切られており、北側にあった人骨の頭部が切られている。遺物は出土しなかった。中世以降の土坑墓と思われる。D-2号土坑から瓦が出土している。

第11表 (84) 土坑計測表

[]は現存値、()は推定値を表す。

土坑 番号	遺構位置	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	形状	備考
(84)D-1	X137,Y229	(175)	50~ 60	7~16	長方形	土坑墓 掲載:須恵器環1 D-1→W-1
(84)D-2	X135・136,Y230	80	59	34	楕円形	H-3→D-2

(3) 溝跡

W-1号溝跡は、北壁際を東西に走行し、W-2号溝跡に切られ、柱穴列に切られ、D-1号土坑(土坑墓)を切り、H-1号住居跡を切っている。(H-1→D-1→W-1→P-5・7・9・10→W-2)中世以降の溝跡と思われる。W-2号溝跡は、新しい溝と思われる。

第12表 (84) 溝跡計測表

E・W・S・Nは東西南北を、[]は検出値を表す。

溝跡 番号	位置 (グリッド)	長さ (m)	深さ (cm)	底のレベル(m)	溝幅(cm)		流水方向 (勾配%)
					上端	下端	
(84)W-1	X134~138,Y229	[2.80]	18~ 26	W118.46~E118.38	100~116	60~96	W→E(0.3%)
(84)W-2	X134・135,Y229・230	[5.18]	5~15	N118.61~S118.60	45~62	28~42	N→S(0.03%)

(4) ピット

P-1・2・5・9・10号ピットは、ほぼ直線上に並び建物の柱穴の様相を呈している。遺物はP-1・6で小破片を数点出土した。中世以降の柱穴列と思われる。

第13表 (84) ピット計測表

()は推定値、[]は検出値を表す。

ピット 番号	遺構位置	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	形状	備考
(84)P-1	X137,Y229	63	60	59	円形	土師器の坏片
(84)P-2	X136・137,Y229	60	57	23	円形	
(84)P-3	X137,Y230	36	(34)	28	(円形)	P-3→P-4重複
(84)P-4	X137・138,Y230	45	44	28	円形	P-3→P-4重複
(84)P-5	X136,Y229	68	50	73	楕円形	W-1→P-5重複
(84)P-6	X138,Y228	[25]	[15]	25	(楕円形)	土師器の破片 東側調査区外
(84)P-7	X137・138,Y229	79	(78)	64	(円形)	H-1→W-1→P-7重複
(84)P-8	X136,Y230	31	29	46	円形	H-3→P-8重複
(84)P-9	X135,Y229	36	28	24	楕円形	W-1→P-9重複
(84)P-10	X134,Y229	57	[42]	17	(円形)	W-1→P-10重複
(84)P-11	X135,Y229	[45]	[30]	32	(楕円形)	W-1→P-11重複

Ⅵ まとめ

今回の調査では、古墳時代～奈良・平安時代、及び中世の貴重な資料を得ることができた。検出遺構の一部について若干考察を記載しまとめに変えたい。

元総社蒼海遺跡群(81)[以下(81)調査区という。]より竪穴住居跡32軒(時期不明2軒)が検出された。古墳時代のものが22軒で5世紀後半から6世紀後半で、調理施設としての地床炉が竈へと変化する時期から、その普及により、盛んに竈が構築された時期にあたる。奈良・平安時代の住居は8軒検出され、概ね8世紀前半から11世紀前半で、律令制の開始されてからその衰退により、中世に向かおうとする時期にあたる。

古墳時代の住居跡は多く確認され、重複しているものが多く時期差があまりないことから、建て替えが頻繁に行われた様子がうかがえる。形状は一部推定を含めて正方形や長方形で、規模は全体を検出しているもので最小3.30×2.95m(H-28号住居跡)、最大で5.95×5.92m(H-20号住居跡)であった。一辺が4.0m以上と思われる住居跡は、調査区外に入り推定できないものを除くと22軒中16軒で、一辺4.0m以下の住居跡は5軒を数える。その後の奈良・平安時代に比べ、やや大型の傾向が見て取れる。また、主軸方向はN-60°-E～N-80°-Eの範囲に集中する傾向が見られる。竈は、住居の東壁側に構築されているものがほとんどであるが、西壁側のものを2軒(H-15・27号住居跡)検出した。構築材には白色粘土を使用し凝灰岩質の袖石や支脚石を検出した住居跡が多かった。床面においてH-14・27号住居跡の2軒で東壁中央に、幅25～30cm、高さ3～8cmほどで長方形の高まりが確認できた。出入口施設と想定できる。また、掘り方調査により、H-10・13・16号住居跡の3軒で柱穴の近くに10～25cm幅の間仕切り溝を検出した。この溝の機能としては仕切りのための壁を埋め込む溝、あるいは張り床の基礎の丸太材を埋め込むための溝、寝床の範囲を区画する丸太材を埋め込むための溝などの説があるが定かではない。

奈良・平安時代の住居跡は、形状が一部の推定を含めて正方形や長方形であった。規模は全容を把握できるもので最小3.33×3.19m(H-26号住居跡)、最大4.86×4.80m(H-19号住居跡)であった。一辺が4.0mを超えるものは、調査区外に入り推定できないものを除くと8軒中2軒を数える。やはり小型化の傾向が見られる。また、主軸方向はN-78°-E～N-90°-Eの範囲に集中し画一化が進んでいる。竈は、住居の東壁側に構築されているものがほとんどであるが、H-28号住居跡では南西隅(1号竈)と北東隅(2号竈)に竈を検出した。残存の様子から2号竈を廃棄し、1号竈を新しく構築・使用していたものと思われる。構築材には、他の遺跡で見られるような瓦や切石を使用していなかった。

竪穴状遺構については(81)調査区で8基検出した。形状は正方形や長方形で、規模は一辺が2.65mから1.75mを測り、非常に小型で柱穴や竈など検出していない。また、遺物を出土していない竪穴状遺構が多く、出土しても小破片が数点であったため、時期の特定が困難であった。周辺の遺構状況からは奈良・平安時代のものと思われる。利用目的や使用状況などを特定する資料の検出もなかった。本遺構の特徴としては、調査区の中央北側にあるT-8号竪穴状遺構と、その南側に検出しているT-5・6・7号竪穴状遺構の4基については、規模や主軸方向はまちまちであるが、X292・Y106グリッド付近(調査区外)を中心とした半径22mの同心円上に並んで配置されているかのように見える。

(81)調査区では方形周溝墓が調査区南東隅に検出された。一部分のみであるが、溝が方形に巡る形状で、コーナー部分の溝幅は細く、深さは浅くなっている。主体部は、検出されなかった。周溝底面からはS字口縁の台付甕や埴がほぼ完形で出土し、高坏も脚部欠損であるが出土している。周辺遺跡からも周溝墓は多く検出されているが、古墳時代前期の方形周溝墓としては、本遺跡から5kmほど南方にある日高遺跡から数多くの周溝墓が検出されている。本遺構と同様に周溝墓全体の調査には至っていないが、方形周溝墓の形状としてはコーナー部分が細く浅くなっているものや、細くはないが浅くなっている「全周型」のものが多く報告されている。本遺構も

全周型の方形周溝墓と思われる。

基本土層断面において西壁と東壁の相違がみられる点については、その後の道路工事により東側の半分が表土から深さ 1.40 m 掘られた際、5.5 ～ 9.0 m 幅の河道が確認された。住居跡の掘方調査中も床面全体が砂質であったり、H-32 号住居跡などでは東側が砂礫であったり地盤の様相が異なっていた。河道の範囲としては、東壁から H-31・32 号住居跡を通り、やや北方へ緩やかに屈曲しながら H-26 号住居跡を抜け、T-8 号竪穴状遺構、H-23・21・22・24・25・32 号住居跡の方向に走行し北壁に至る。現在、牛池川は前橋市立元総社北小学校と前橋市立元総社中学校の南側を東流しているが、中学校の南東隅で南流に変わる。牛池川が南流せず小学校南側の走行方向のまま東流すると、ほぼ (81) 調査区の位置に合致する。方形周溝墓は北側部分で、河道を掘り込んで構築されることから、古墳時代以前にはすでに流路変遷があったものと思われる。縄文時代の牛池川の流路については確定できないが、少なくとも現在知られている谷底平野に沿う流れであったと思われる。牛池川の北には八幡川、南には染谷川が流下しているが、これらの河川もそれぞれの谷底平野に沿って流れている。(81) 調査区は牛池川に沿う谷底平野にあり、水が常時流れないものの、洪水時などには流路となったの可能性もあり、その後の流路の安定が、居住空間として発展して行ったと思われる。

南東側の調査区外部分も工事により掘られ、方形周溝墓南側の走行方向を東壁断面のみであったが、X291・Y112 グリッドにおいて確認できた。上端 3.5 m、下端 1.5 m、深さ 1.0 m ほどで、先に確認済みの方形周溝墓とほぼ同一であった。

参考文献

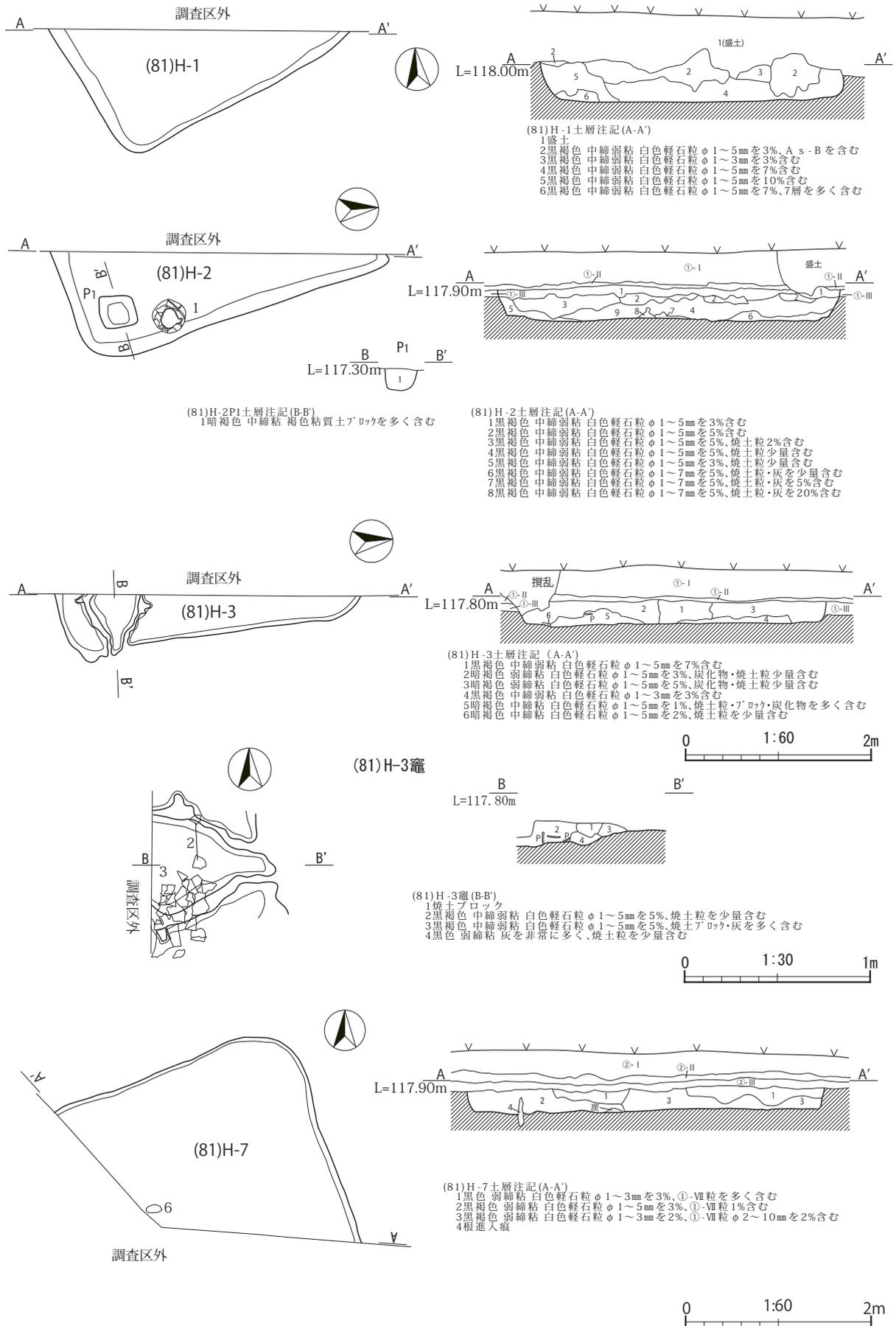
- 前橋市 『前橋市史』第 1 巻 1971
前橋市文化協会 『うずもれた前橋の歴史』比刀祢双書 6 1992
近藤義雄 『図説 前橋の歴史』あかぎ出版 1980
群馬県 『群馬県史』通史編 第 2 巻 原始古代 2 1991
群馬県埋蔵文化財調査事業団 『上野国分僧寺・尼寺中間地域 (1)』 1986
群馬県埋蔵文化財調査事業団 『上野国分僧寺・尼寺中間地域 (2)』 1987
群馬県埋蔵文化財調査事業団 『上野国分僧寺・尼寺中間地域 (3)』 1988
群馬県埋蔵文化財調査事業団 『上野国分僧寺・尼寺中間地域 (4)』 1990
群馬県埋蔵文化財調査事業団 『上野国分僧寺・尼寺中間地域 (5)』 1991
群馬県埋蔵文化財調査事業団 『鳥羽遺跡 - L・M・N・O 区 -』 1990
群馬県埋蔵文化財調査事業団 『国分境遺跡』 1990
群馬県埋蔵文化財調査事業団 『元総社寺田遺跡 I』 1993
群馬県埋蔵文化財調査事業団 『下芝天神遺跡・下芝上田屋遺跡』 1998
群馬県埋蔵文化財調査事業団 『下芝五反田遺跡 - 古墳時代編 -』 1998
群馬県埋蔵文化財調査事業団 『総社閑泉明神北遺跡・元総社牛池川遺跡・元総社北川遺跡・元総社小見内 V 遺跡』 2007
前橋市埋蔵文化財発掘調査団 『元総社明神遺跡 I ～ X III』 1986
前橋市埋蔵文化財発掘調査団 『大友屋敷遺跡 III』 1995
前橋市埋蔵文化財発掘調査団 『元総社宅地遺跡・上野国分尼寺寺域確認調査 II』 2000
前橋市埋蔵文化財発掘調査団 『元総社蒼海遺跡群・総社甲稲荷塚大道西遺跡・総社閑泉明神北 II 遺跡・総社甲稲荷塚大道西 II 遺跡』 2001
前橋市埋蔵文化財発掘調査団 『元総社小見 VII 遺跡』 2005
前橋市埋蔵文化財発掘調査団 『元総社蒼海遺跡群 (17)』 2008
高崎市教育委員会 『史跡 日高遺跡』 2010
前橋市教育委員会 『元総社蒼海遺跡群 (36)』 2011
前橋市教育委員会 『元総社蒼海遺跡群 (40)・(46)・(49)・(50)』 2013
前橋市教育委員会 『元総社蒼海遺跡群 (51)～(55)・(66)～(68)』 2014

元総社蒼海遺跡群(81)

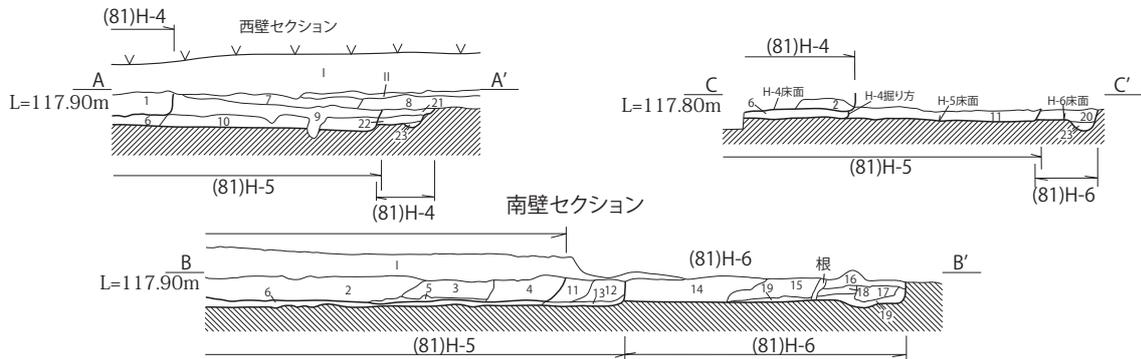
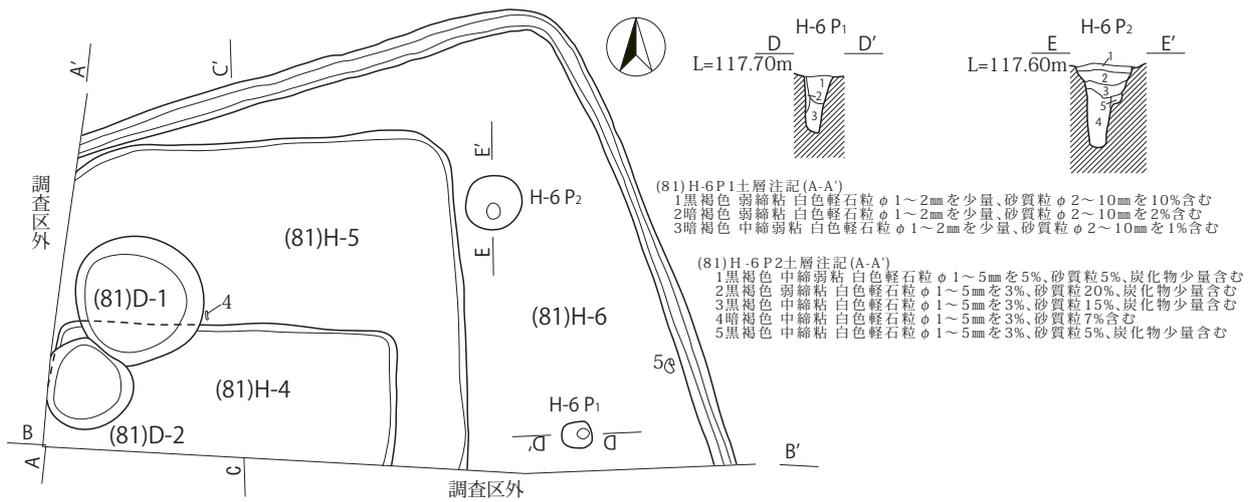




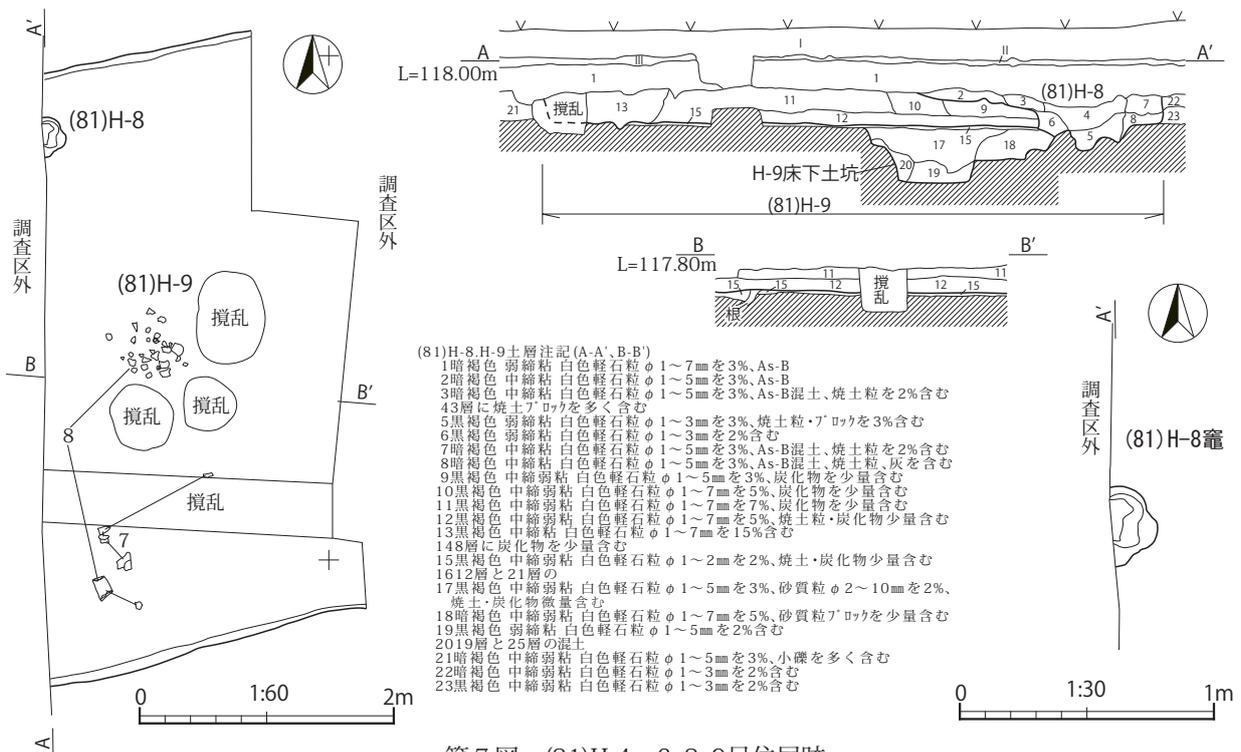
第5図 元総社蒼海遺跡群(81)全体図



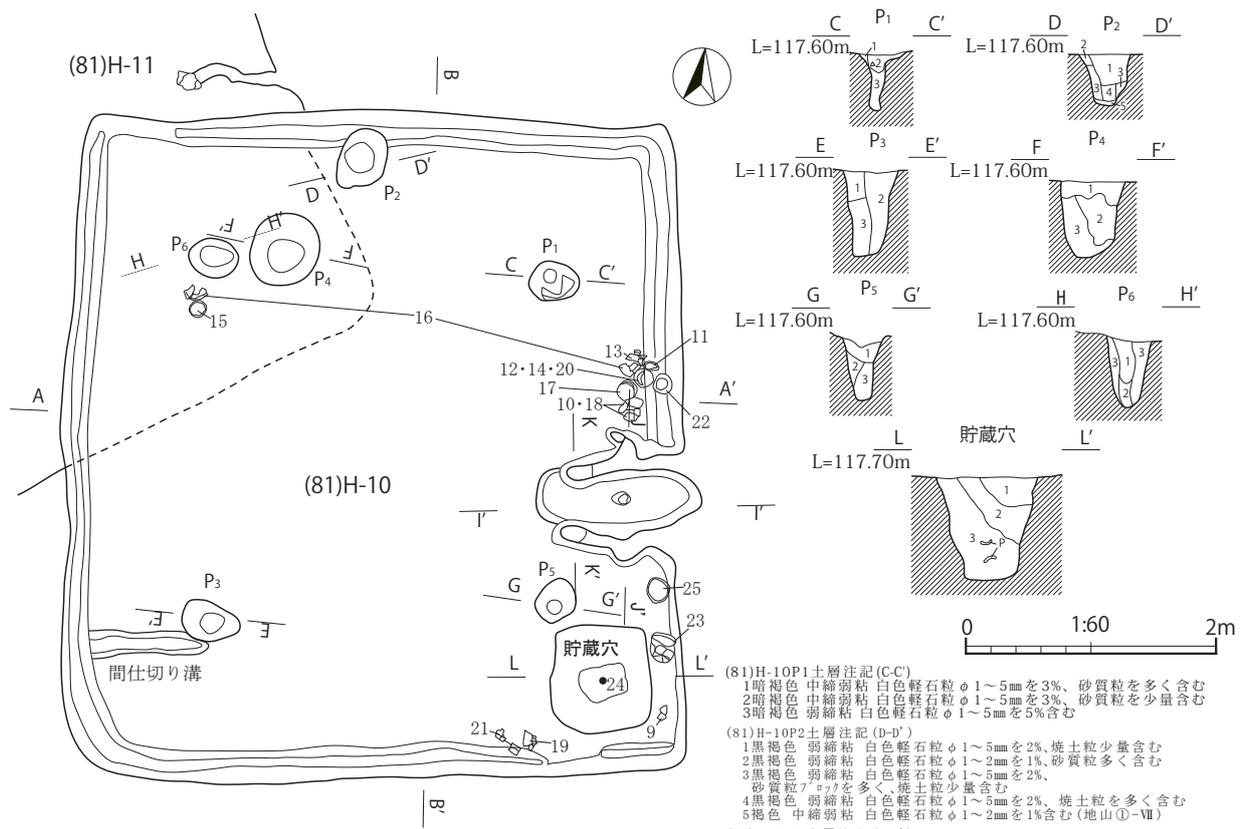
第6図 (81)H-1~3・7号住居跡



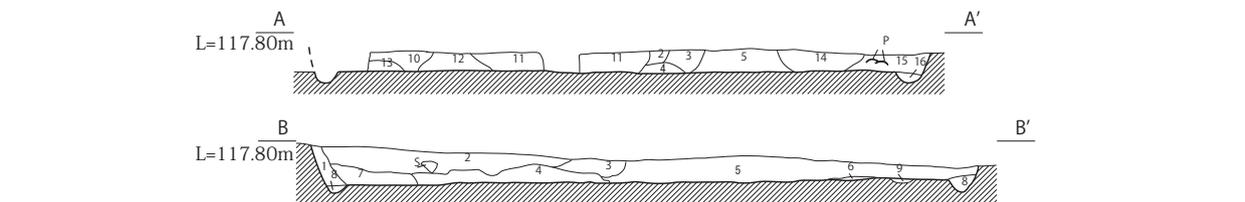
- (81)H-4, H-5, H-6西壁(A-A'),南壁土層注記(B-B')
- 1 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを2%、炭化物・焼土粒少量含む
 - 2 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを3%、炭化物多く、焼土7ロツク少量含む
 - 3 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを2%、炭化物を少量含む
 - 4 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを3%、炭化物・焼土粒少量含む
 - 5 黒褐色 強締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを3%、炭化物を非常に多く含む
 - 6 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを5%含む
 - 7 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~2mmを2%含む
 - 8 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを5%、砂質粒 ϕ 2~7mmを2%含む
 - 9 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを7%、砂質粒 ϕ 2~7mmを3%含む
 - 10 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを2%、砂質粒 ϕ 2~7mmを1%含む
 - 11 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを3%、焼土粒少量含む
 - 12 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを3%、砂質7ロツクを少量含む
 - 13 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを2%、焼土粒・炭化物を少量含む
 - 14 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mmを5%、砂質粒 ϕ 2~10mmを3%、焼土粒少量含む
 - 15 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを3%、砂質粒 ϕ 2~10mmを2%、シト7ロツクを多く含む
 - 16 にない黄褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを1%含む
 - 17 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを2%、焼土粒少量含む
 - 18 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを3%、砂質粒 ϕ 2~10mmを多く、焼土粒少量含む
 - 19 黒褐色 中締粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを3%、褐色砂質粒を多く含む
 - 20 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを少量、褐色砂質7ロツクを多く含む
 - 21 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを5%、褐色砂質粒を少量含む
 - 22 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを2%、褐色砂質粒を2%含む
 - 23 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを7%、褐色砂質粒を3%含む



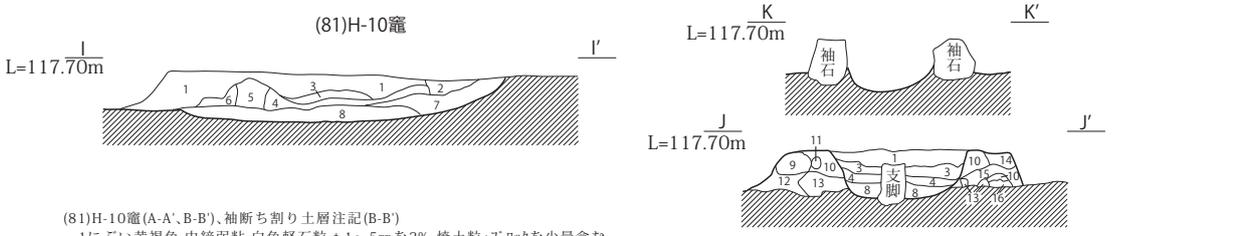
第7図 (81)H-4~6・8・9号住居跡



- (81)H-10P6土層注記(H-H')
- 1黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~2mmを2%、明黄褐色ﾌﾞｯｸを10%含む
 - 2黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~2mmを2%、明黄褐色ﾌﾞｯｸを3%含む
 - 3黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~3mmを2%、明黄褐色ﾌﾞｯｸを7%含む
- (81)H-10貯蔵穴土層注記(L-L')
- 1黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~3mmを2%、ｼｯﾄﾌﾞｯｸを多く、焼土粒・炭化物を少量含む
 - 2黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~3mmを2%、ｼｯﾄﾌﾞｯｸ・焼土粒少量含む
 - 3黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~2mmを1%、ｼｯﾄﾌﾞｯｸを多く、焼土粒・炭化物を少量含む
- (81)H-10P1土層注記(C-C')
- 1暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~5mmを3%、砂質粒を多く含む
 - 2暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~5mmを3%、砂質粒を少量含む
 - 3暗褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~5mmを5%含む
- (81)H-10P2土層注記(D-D')
- 1黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~5mmを2%、焼土粒少量含む
 - 2黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~2mmを1%、砂質粒多く含む
 - 3黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~5mmを2%、砂質粒ﾌﾞｯｸを多く、焼土粒少量含む
 - 4黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~5mmを2%、焼土粒を多く含む
 - 5褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~2mmを1%含む(地山①-VII)
- (81)H-10P3土層注記(E-E')
- 1暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~3mmを2%、砂質ﾌﾞｯｸを多く含む
 - 2暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~3mmを2%、砂質ﾌﾞｯｸを少量含む
 - 3暗褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~3mmを2%、砂質ﾌﾞｯｸを少量含む
- (81)H-10P4土層注記(F-F')
- 1黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~5mmを2%、砂質ﾌﾞｯｸを多く含む
 - 2黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1mmを少量含む
 - 3黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1mmを少量、砂質ﾌﾞｯｸを1%含む
- (81)H-10P5土層注記(G-G')
- 1暗褐色 中締粘 白色軽石粒φ1~2mm 砂質粒少量含む
 - 2暗褐色 中締粘 白色軽石粒φ1~2mmを少量、砂質粒10%含む
 - 3暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~2mmを少量、砂質粒5%含む

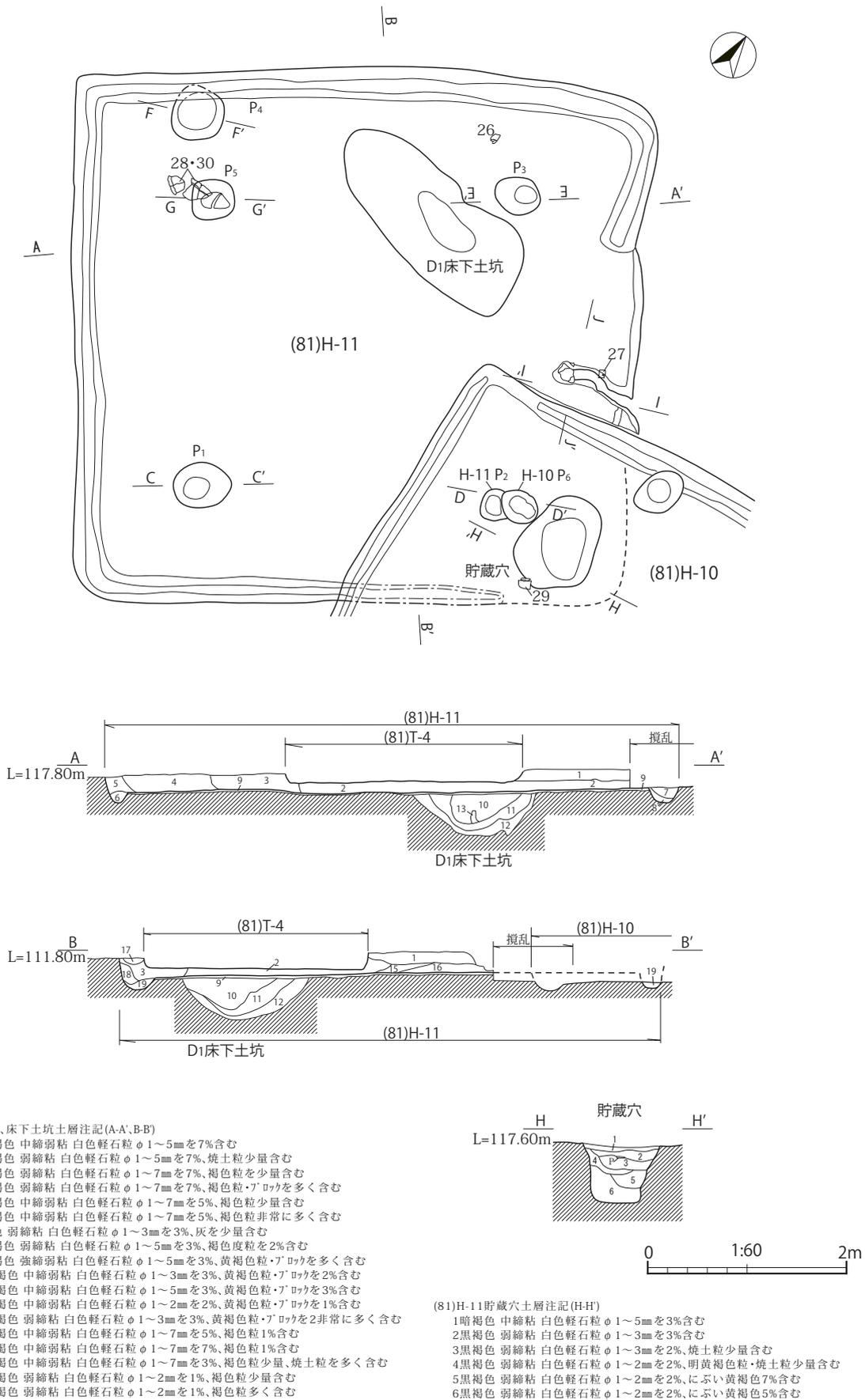


- (81)H-10土層注記(A-A', B-B')
- 1黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~5mmを3%、砂質粒・焼土粒少量含む
 - 2黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~5mmを5%、砂質粒φ2~10mmを2%含む
 - 3黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~3mmを3%、砂質ﾌﾞｯｸを多く、焼土粒少量含む
 - 4暗褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~5mmを1%、砂質ﾌﾞｯｸを多く含む
 - 5黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~5mmを5%、砂質ﾌﾞｯｸ10%含む
 - 6にぶい黄褐色 強締弱粘 白色軽石粒φ1~5mmを2%、焼土粒少量含む
 - 7暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~3mmを2%、砂質粒φ2~10mmを1%含む
 - 8黒褐色 中締弱粘 砂質ﾌﾞｯｸを少量含む
 - 9黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~5mmを5%、砂質ﾌﾞｯｸを10%含む
 - 10暗褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~7mmを3%、砂質ﾌﾞｯｸを非常に多く含む
 - 11暗褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~7mmを3%、砂質ﾌﾞｯｸを5%、炭化物少量含む
 - 12暗褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~7mmを3%、砂質ﾌﾞｯｸを10%、焼土粒少量含む
 - 13黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~7mmを5%含む
 - 14暗褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~5mmを3%、砂質ﾌﾞｯｸを15%含む
 - 15暗褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~3mmを3%、砂質粒5%、焼土粒少量含む
 - 16暗褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~3mmを3%、砂質粒5%、焼土粒多く含む

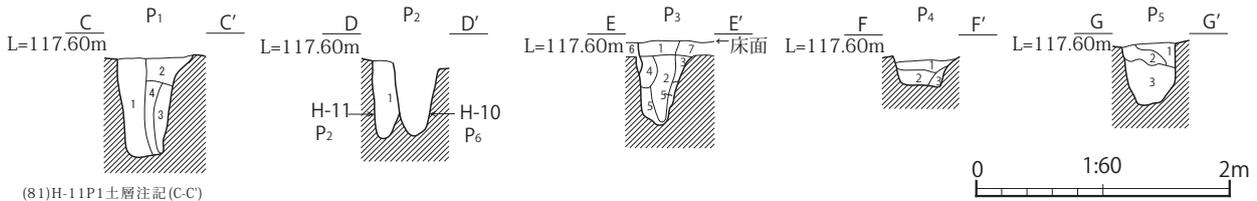


- (81)H-10土層注記(A-A', B-B'), 袖断ち割り土層注記(B-B')
- 1にぶい黄褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~5mmを2%、焼土粒・ﾌﾞｯｸを少量含む
 - 2黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~2mmを2%含む
 - 3にぶい黄褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~5mmを2%、焼土粒・灰を少量含む
 - 4黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~5mmを2%、灰を非常に多く含む
 - 5にぶい黄褐色 強締弱粘 白色軽石粒φ1~5mmを2%、焼土粒・ﾌﾞｯｸを少量含む
 - 6暗褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~3mmを2%、焼土粒を多く含む
 - 7にぶい黄褐色 弱締粘焼土ﾌﾞｯｸを非常に多く含む
 - 8暗褐色 弱締粘 焼土粒・灰を少量含む
 - 9にぶい黄褐色 強締 砂質石
 - 10にぶい黄褐色 強締弱粘 白色軽石粒φ1~3mmを1%含む
 - 11黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1mmを1%含む
 - 12褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~3mmを3%、焼土粒2%含む
 - 13黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~5mmを3%、褐色ﾌﾞｯｸを少量含む
 - 14黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~5mmを3%、10層を多く含む
 - 15黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~5mmを3%、10層を非常に多く含む
 - 1615層に焼土粒を多く含む

第8図 (81)H-10号住居跡

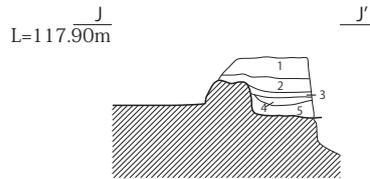
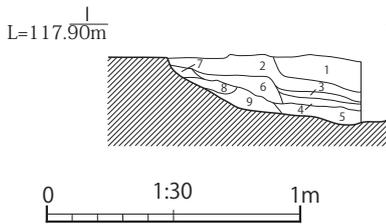


第9図 (81)H-11号住居跡

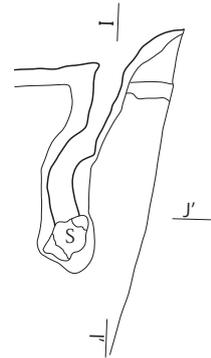


- (81)H-11P1土層注記(C-C')
- 1黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~2mmを2%、明黄褐色アロクを10%含む
 - 2黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを2%、明黄褐色アロクを15%含む
 - 3黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~2mmを2%、明黄褐色アロクを7%含む
 - 4黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~2mmを2%、明黄褐色アロクを50%含む
- (81)H-11P2土層注記(D-D')
- 1黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを2%、明黄褐色アロク10%含む
- (81)H-11P3土層注記(E-E')
- 1黒褐色 強締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを7%、明黄褐色粒少量含む
 - 2黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを3%含む
 - 3黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを1%、明黄褐色粒少量含む
 - 4黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを1%、明黄褐色粒20%含む
 - 5黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを1%、明黄褐色粒・アロク15%含む
 - 6にぶい黄褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~2mmを2%、明黄褐色粒・アロク1%含む
 - 7黒褐色 強締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~2mmを2%、明黄褐色粒・アロク20%含む

- (81)H-11P4土層注記(F-F')
- 1暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを3%、炭化物を少量含む
 - 2暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを3%、炭化物・黄褐色粒少量含む
 - 3黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~2mmを1%、黄褐色粒少量含む
- (81)H-11P5土層注記(G-G')
- 1黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを7%、砂質粒・アロクを10%含む
 - 2黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを7%、砂質粒・アロクを40%含む
 - 3暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~2mmを2%、砂質粒・アロクを10%含む

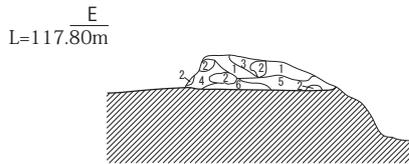


(81)H-11竈



- (81)H-11竈の土層注記(I-I', J-J')
- 1黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを7%、焼土粒 ϕ 1~5mmを10%含む
 - 2暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを5%、焼土アロクを少量含む
 - 3暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを2%含む
 - 4黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~2mmを1%、焼土アロクを非常に多く含む

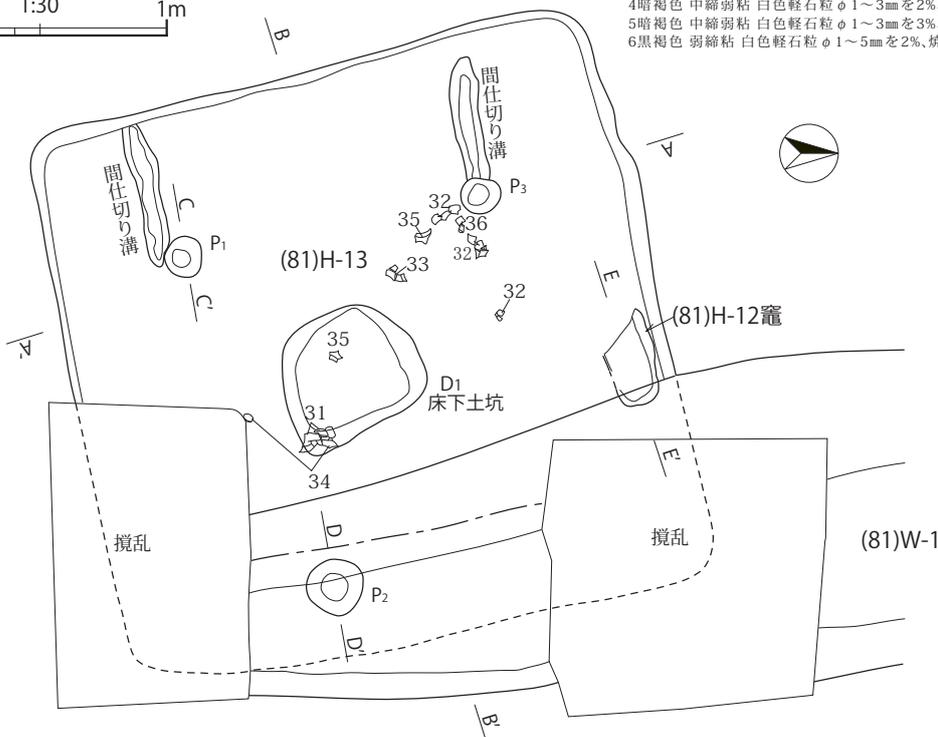
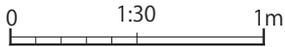
- 5黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを1%、灰を非常に多く含む
- 6暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを3%、焼土粒3%含む
- 7にぶい赤褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを1%含む
- 8黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを3%、焼土粒5%含む
- 9黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを2%、焼土粒・灰を少量含む



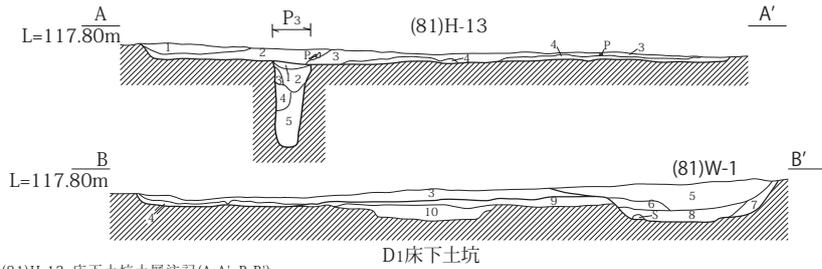
(81)H-12竈



- (81)H-12竈土層注記(E-E')
- 1暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを3%含む
 - 2焼土アロク
 - 3暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを3%、焼土粒を多く、灰を少量含む
 - 4暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを2%、焼土粒・灰を多く含む
 - 5暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを3%、焼土粒を少量含む
 - 6黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを2%、焼土粒を少量含む

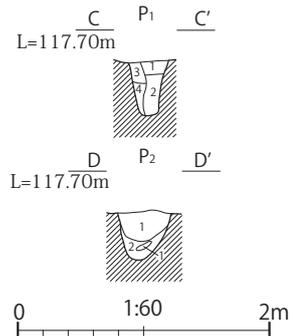


第10図 (81)H-11号住居跡、H-12号住居跡竈、H-13号住居跡



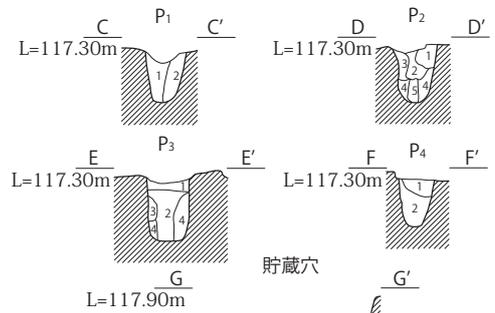
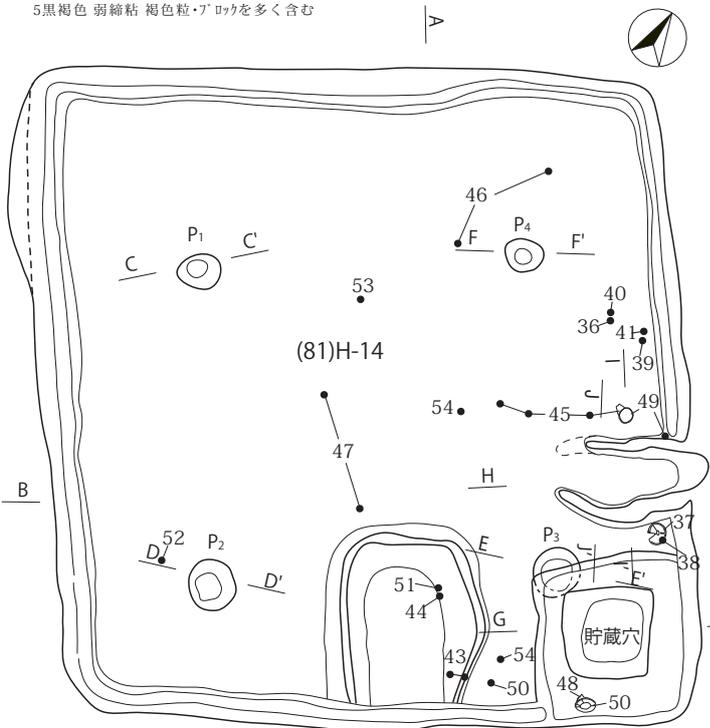
- (81)H-13、床下土層注記(A-A'、B-B')
- 1 暗褐色 弱締 白色軽石粒 φ 1~3mmを3%、焼土粒少量含む
 - 2 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを5%、焼土粒少量含む
 - 3 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを5%、焼土粒少量、褐色粒 φ 2~20mmを3%含む
 - 4 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~2mmを2%含む
 - 5 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを5%、炭化物少量含む
 - 6 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~3mmを5%、炭化物少量含む
 - 7 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを5%、にぶい黄褐色ﾌﾞﾛｯｸ・焼土粒少量含む
 - 8 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを5%、にぶい黄褐色ﾌﾞﾛｯｸ・焼土粒少量含む
 - 9 黒褐色 強締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを1%、黄褐色ﾌﾞﾛｯｸを多く含む
 - 10 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを7%、黄褐色ﾌﾞﾛｯｸを5%含む

- (81)H-13P3土層注記(A-A')
- 1 黒褐色 強締弱粘 白色軽石粒 φ 1mmを1%、にぶい黄褐色粒2%含む
 - 2 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~2mmを1%、にぶい黄褐色粒10%、焼土粒少量含む
 - 3 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~2mmを1%、にぶい黄褐色粒15%、焼土粒少量含む
 - 4 暗褐色 弱締粘 褐色粒・ﾌﾞﾛｯｸを多く含む
 - 5 黒褐色 弱締粘 褐色粒・ﾌﾞﾛｯｸを多く含む



- (81)H-13P1土層注記(C-C')
- 1 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~3mmを2%、黄褐色粒を7%含む
 - 2 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~3mmを2%、黄褐色粒を2%含む
 - 3 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~3mmを2%、黄褐色粒・ﾌﾞﾛｯｸ15%含む
 - 4 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~3mmを2%、黄褐色粒・ﾌﾞﾛｯｸ5%含む

- (81)H-13P2土層注記(D-D')
- 1 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~7mmを7%、黄褐色ﾌﾞﾛｯｸ・炭化物少量含む
 - 2 黄褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1mmを少量含む



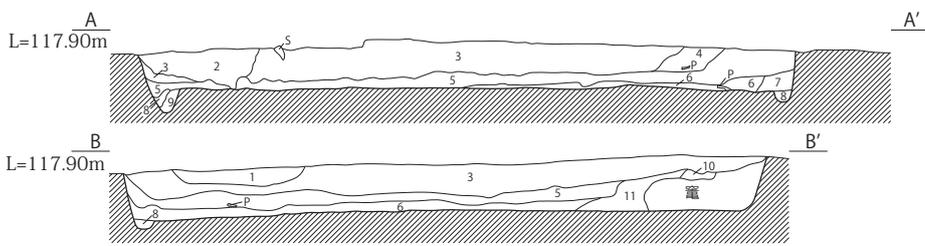
- (81)H-14P1土層注記(C-C')
- 1 暗褐色 中締弱粘 褐色粒・ﾌﾞﾛｯｸを7%含む
 - 2 暗褐色 中締弱粘 褐色粒・ﾌﾞﾛｯｸを15%含む

- (81)H-14P2土層注記(D-D')
- 1 黒褐色 中締弱粘 黄褐色ブロック20%含む
 - 2 黒褐色 弱締粘 黄褐色ブロック25%含む
 - 3 暗褐色 弱締粘 黄褐色ブロック25%含む
 - 4 暗褐色 弱締粘 黄褐色ブロック30%含む
 - 5 黒褐色 弱締粘 黄褐色ブロック30%含む

- (81)H-14P3土層注記(E-E')
- 1 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~2mmを3%含む
 - 2 暗褐色 弱締粘 黄褐色粒多く含む
 - 3 暗褐色 弱締粘 黄褐色粒・ﾌﾞﾛｯｸを10%含む
 - 4 暗褐色 弱締粘 黄褐色粒・ﾌﾞﾛｯｸを15%含む

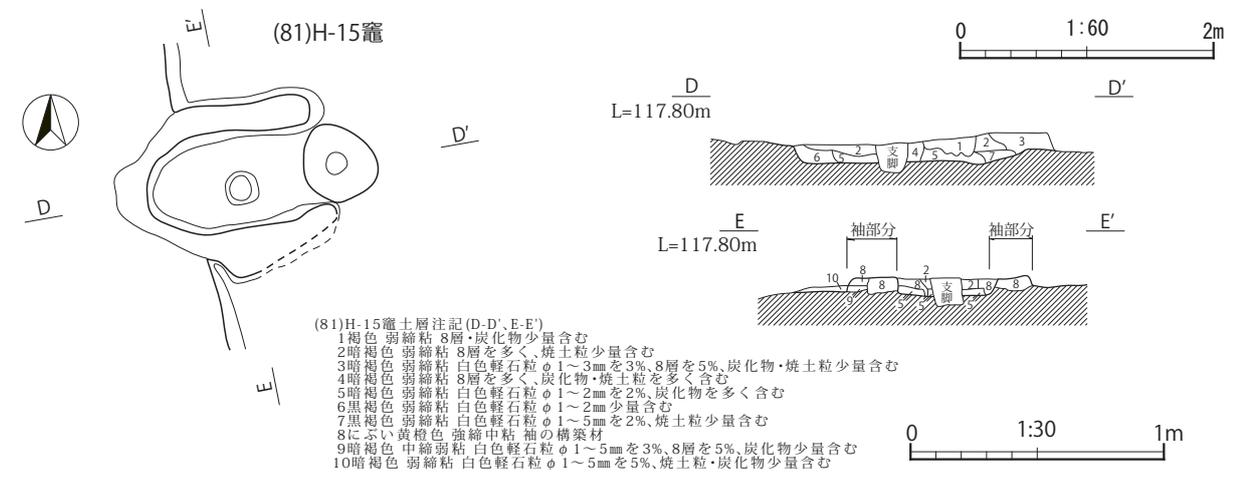
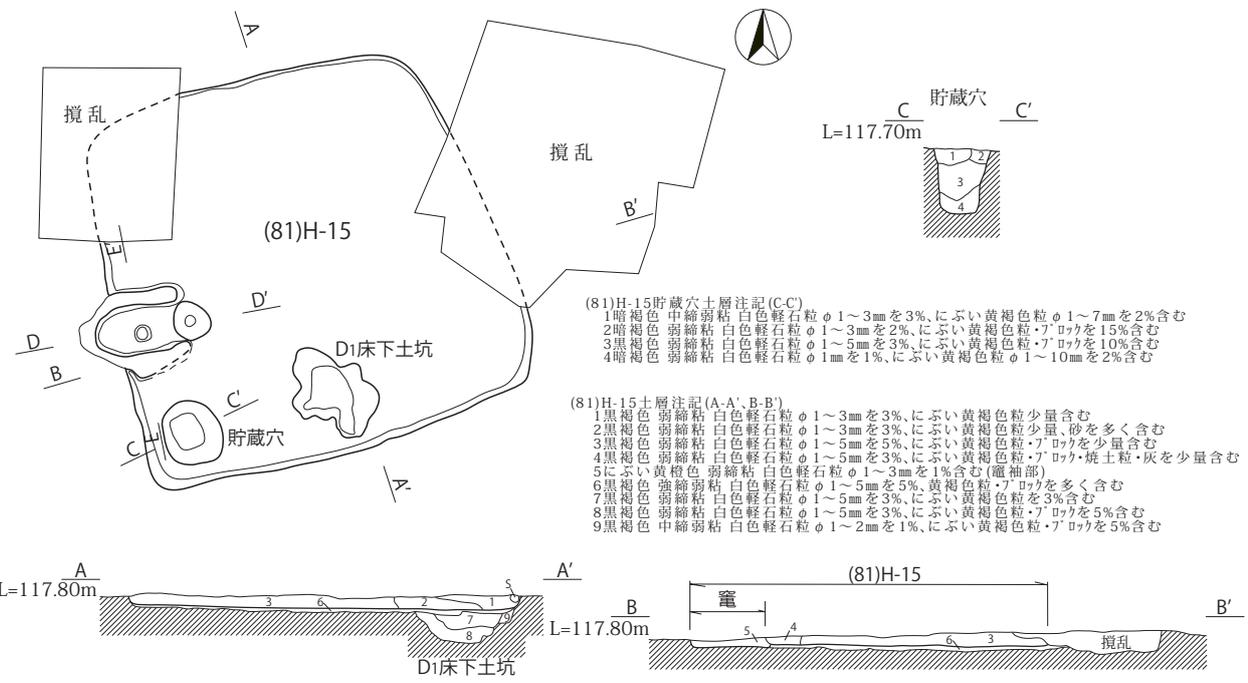
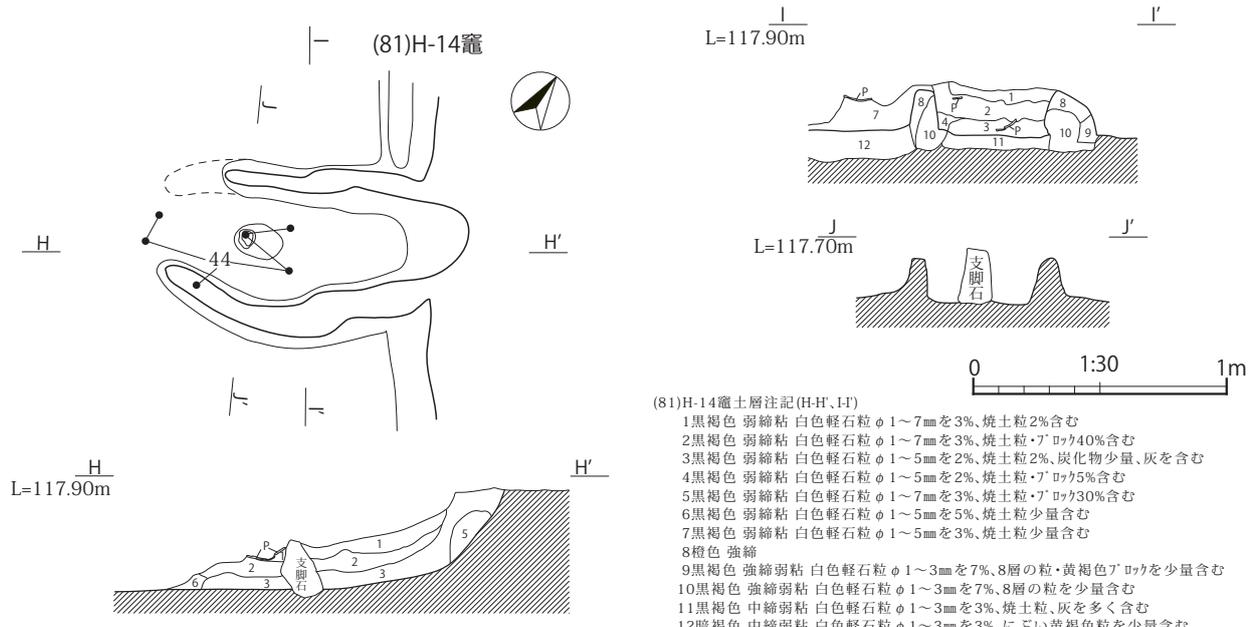
- (81)H-14P4土層注記(F-F')
- 1 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~2mmを3%、黄褐色粒3%含む
 - 2 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~2mmを3%、黄褐色粒2%含む

- (81)H-14貯蔵穴土層注記(G-G')
- 1 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを3%、にぶい黄褐色粒 φ 2~20mm・焼土粒少量含む
 - 2 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを2%、にぶい黄褐色粒 φ 2~20mm2%含む
 - 3 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを2%、にぶい黄褐色粒 φ 2~20mm少量含む
 - 4 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを2%、にぶい黄褐色粒・ﾌﾞﾛｯｸを非常に多く含む

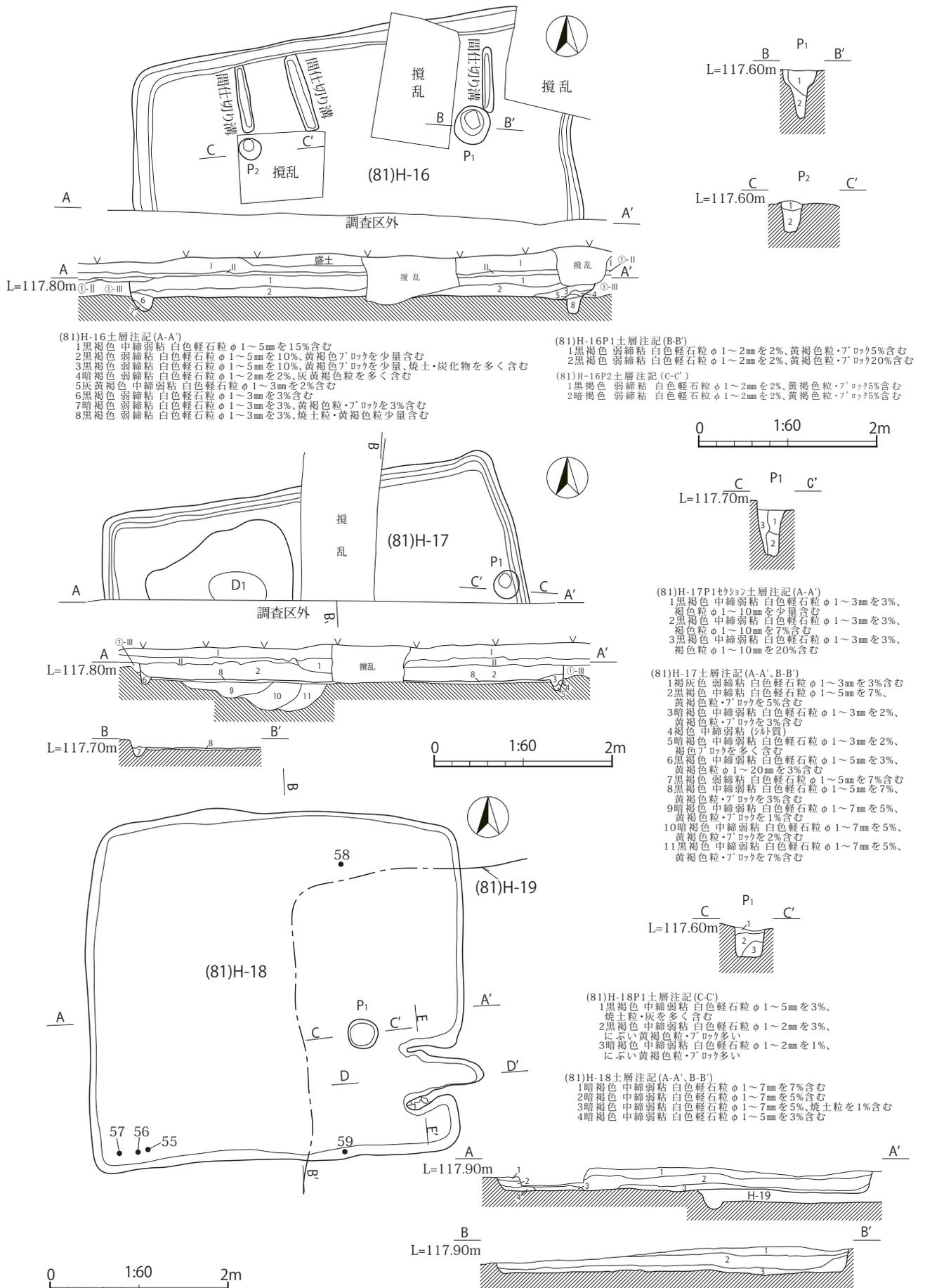


- (81)H-14土層注記(A-A'、B-B')
- 1 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを5%、焼土粒少量含む
 - 2 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~7mmを7%含む
 - 3 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを5%、砂質粒 φ 1~10mmを3%、焼土粒少量含む
 - 4 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを3%、褐色粒・ﾌﾞﾛｯｸ・炭化物少量含む
 - 5 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを5%、砂質粒 φ 1~10mmを2%含む
 - 6 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~3mmを2%、砂質粒 φ 1~20mmを3%含む
 - 7 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~3mmを3%、褐色ﾌﾞﾛｯｸを少量含む
 - 8 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~2mmを2%含む
 - 9 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1mmを1%、褐色ﾌﾞﾛｯｸを少量含む
 - 10 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを5%、砂質粒 φ 1~10mmを2%含む
 - 11 暗褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~3mmを5%、焼土粒を多く含む

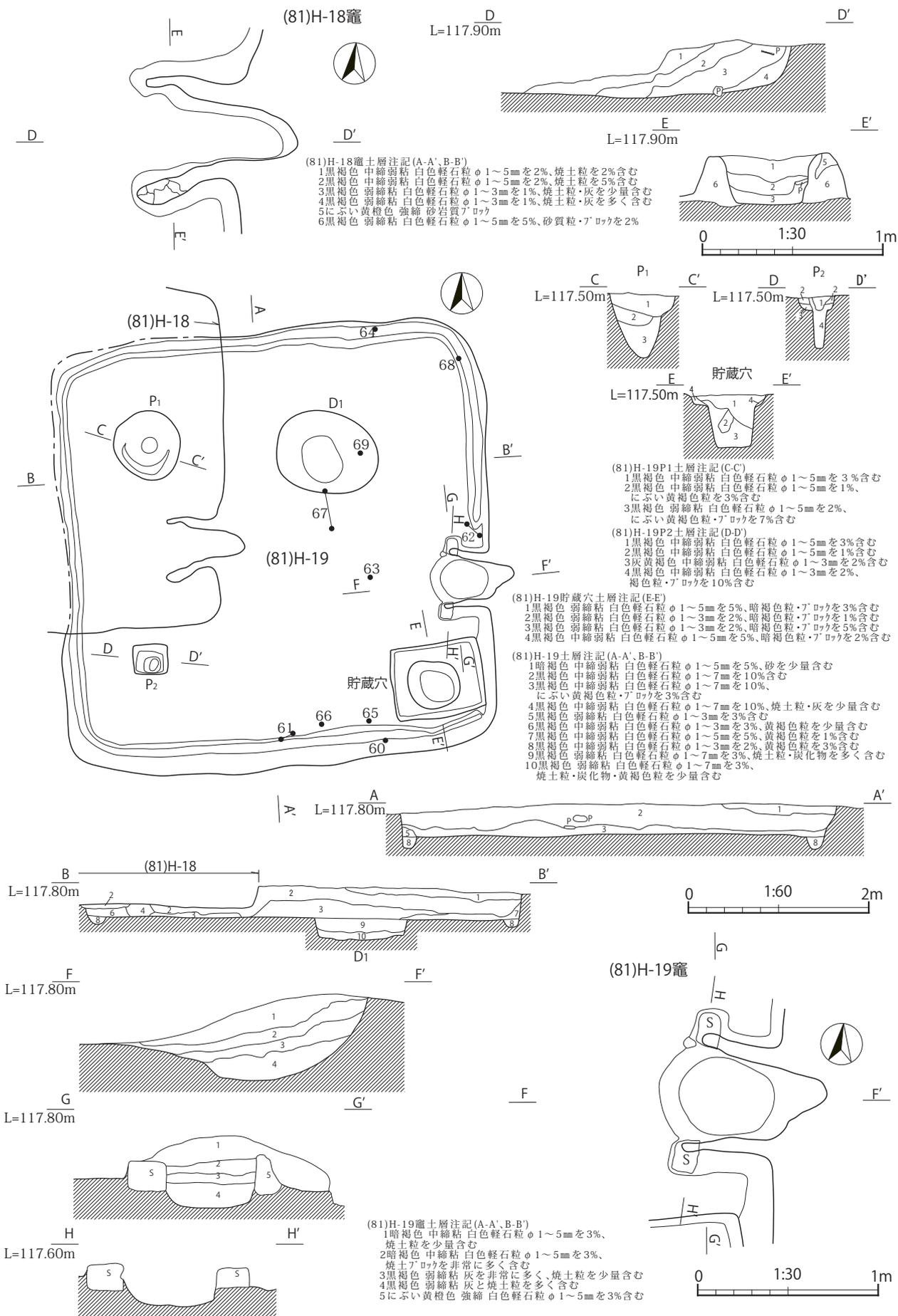
第11図 (81)H-13号住居跡、H-14号住居跡



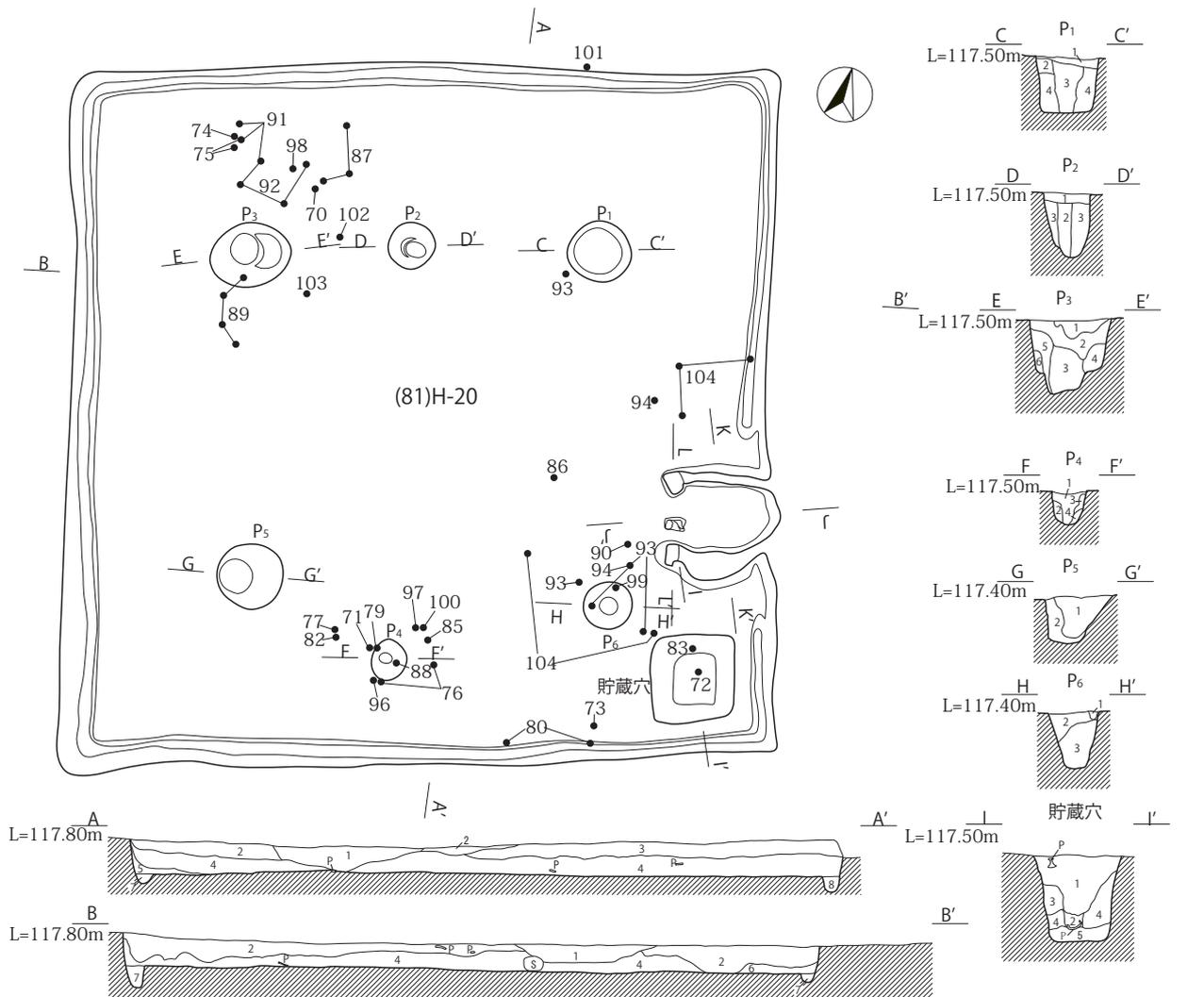
第12図 (81)H-14号住居跡竈、H-15号住居跡



第13図 (81)H-16~18号住居跡



第14図 (81)H-18号住居跡竈、H-19号住居跡



(81)H-20土層注記(A-A', B-B')

- 1暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を5%、砂を多く含む
- 2暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を5%、砂を少量含む
- 3黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を10%含む
- 4黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を7%含む
- 5黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を3%含む
- 6黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を3%、焼土粒・灰を少量含む
- 7黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を3%、にぶい黄褐色粒・ブワクを多く含む
- 8黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を3%、にぶい黄褐色粒・焼土粒少量含む

(81)H-20貯蔵穴土層注記(H)

- 1黒褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を5%、焼土粒少量含む
- 2黒褐色 弱締中粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を3%、にぶい黄褐色粒・ブワク1%含む
- 3黒褐色 弱締中粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を2%、にぶい黄褐色粒・ブワク2%含む
- 4黒褐色 弱締中粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を3%含む
- 5黒褐色 弱締中粘 白色軽石粒 φ 1~2mm を2%、にぶい黄褐色粒・ブワク少量含む

(81)H-20P1土層注記(C-C')

- 1黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を7%含む
- 2暗褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を2%含む
- 3黒褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を2%、炭化物を少量含む
- 4暗褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~2mm を1%含む

(81)H-20P2土層注記(D-D')

- 1黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を7%含む
- 2暗褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を2%、炭化物を少量含む
- 3暗褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~2mm を1%含む

(81)H-20P3土層注記(E-E')

- 1黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を7%含む
- 2黒褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を2%、黄褐色粒を1%含む
- 3暗褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を3%、黄褐色粒・ブワクを5%含む
- 4暗褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~2mm を1%含む
- 5暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を3%、黄褐色粒・ブワクを2%含む
- 6暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を3%、黄褐色粒・ブワクを10%含む

(81)H-20P4土層注記(F-F')

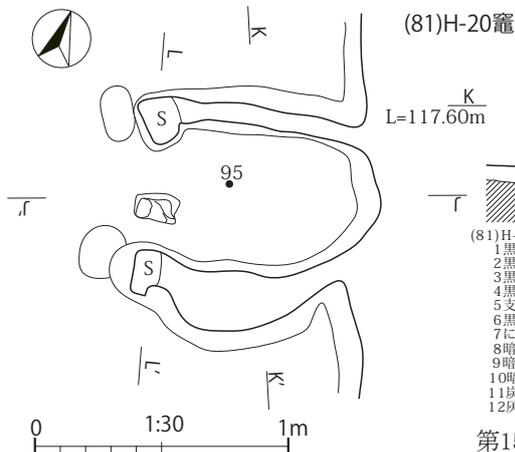
- 1暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を2%、炭化物少量含む
- 2暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を1%、褐色粒・ブワク少量含む
- 3黒褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を2%、褐色粒・ブワク少量含む
- 4褐色 中締 砂質

(81)H-20P5土層注記(G-G')

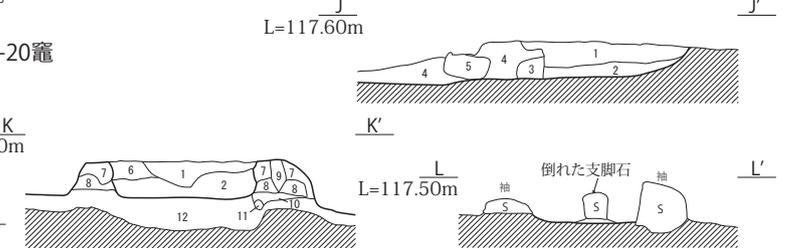
- 1黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を2%、にぶい黄褐色粒・ブワク3%含む
- 2黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を2%、にぶい黄褐色粒・ブワク40%含む

(81)H-20P6土層注記(H-H')

- 1にぶい黄褐色 中締粘 (外質)
- 2黒褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を3%、1層を少量含む
- 3黒褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を3%、焼土粒を少量含む



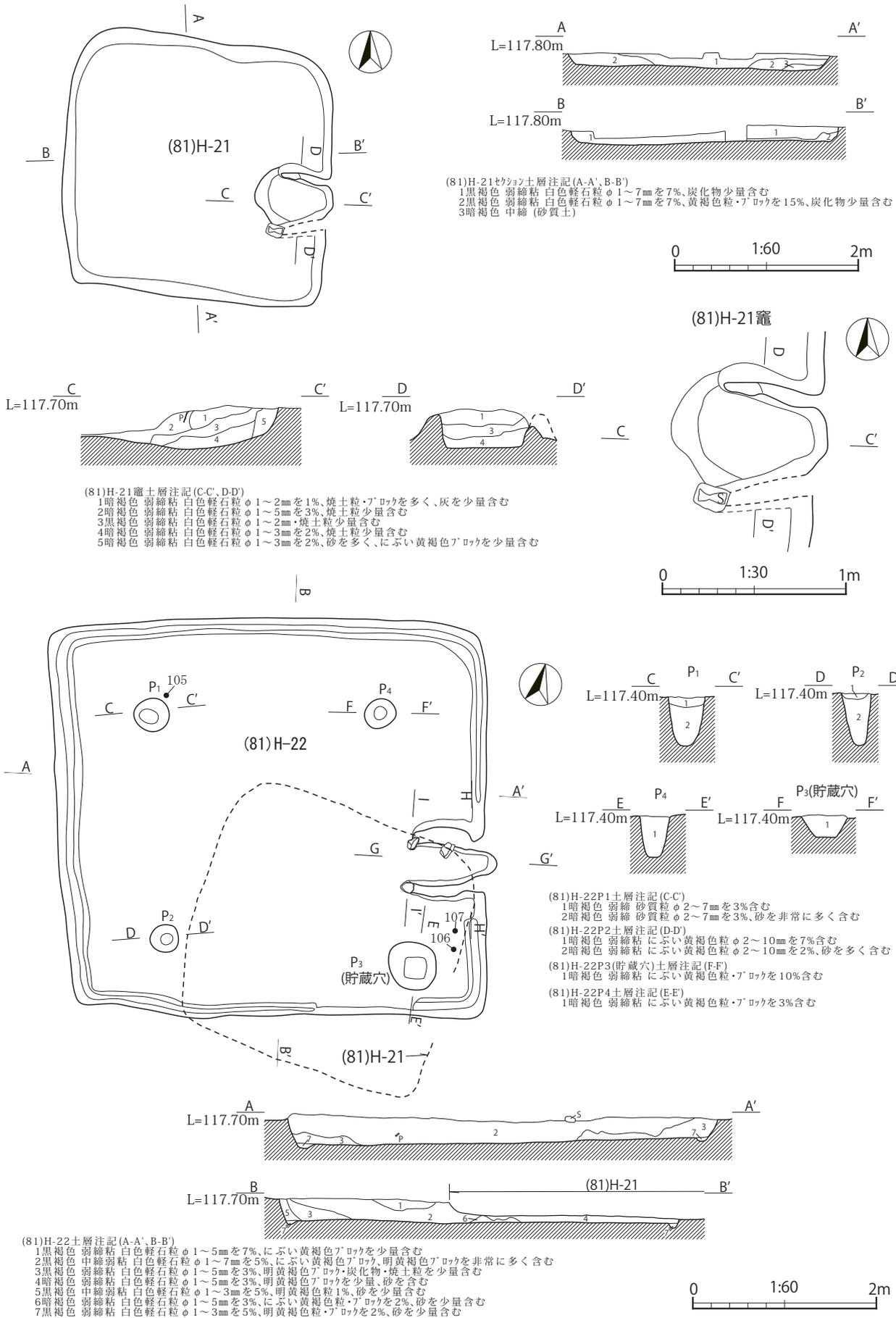
(81)H-20竈



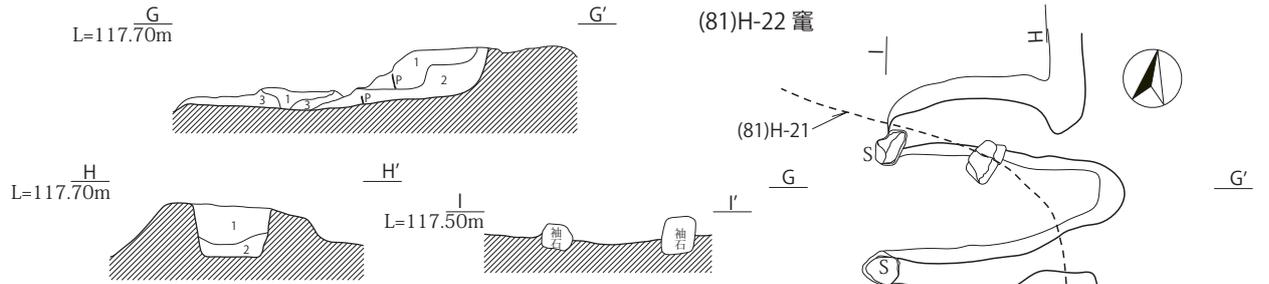
(81)H-20竈土層注記(J-J', K-K')

- 1黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を3%、黄褐色粒・ブワク7%、焼土粒・炭化物少量含む
- 2黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を3%、黄褐色粒・ブワク1%、焼土粒・炭化物多く含む
- 3黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を1%、焼土粒・炭化物を多く含む
- 4黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を1%、黄褐色粒・ブワク10%、焼土粒・炭化物多く含む
- 5支脚石土層(倒れている)
- 6黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を3%、黄褐色粒・ブワク7%、焼土粒を多く含む
- 7にぶい黄褐色 強締中粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を5%、焼土粒を3%含む
- 8暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を3%、焼土粒を1%、1層を2%含む
- 9暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を3%、焼土粒を1%、1層を15%含む
- 10暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を2%、焼土粒を少量含む
- 11炭化物
- 12灰黄褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~2mm を1%、黄褐色粒・ブワクを少量含む

第15図 (81)H-20家住居跡

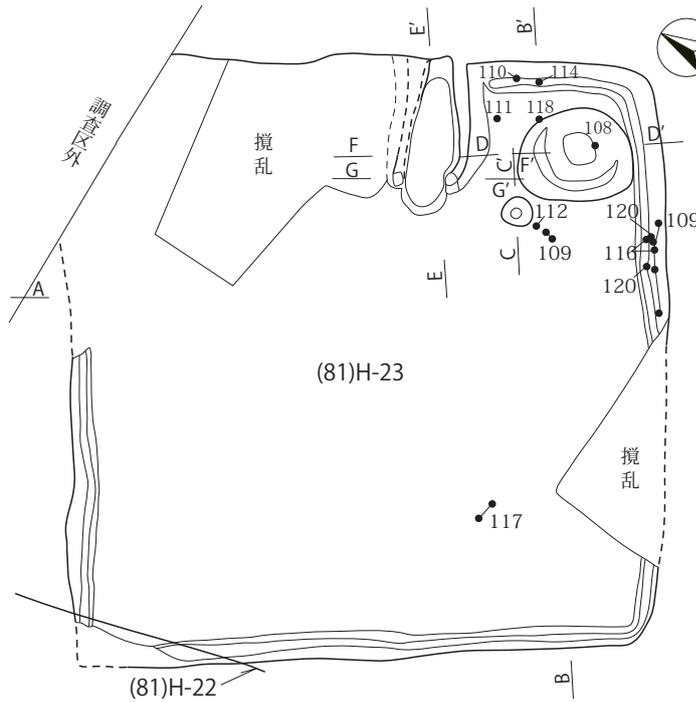
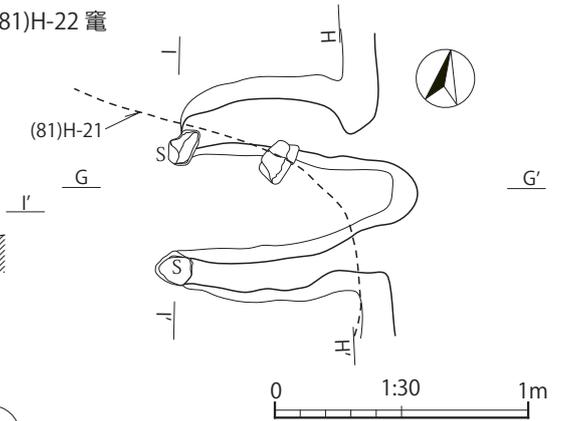


第16図 (81)H-21・22号住居跡



(81)H-22 土層注記 (G-G', H-H')

- 1 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mm を2%、にぶい黄褐色粒・アロクを15%含む
- 2 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mm を2%、焼土粒・炭化物・灰を多く含む
- 3 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~2mm を少量、灰を非常に多く、焼土粒少量含む



(81)H-23P1 土層注記 (C-C')

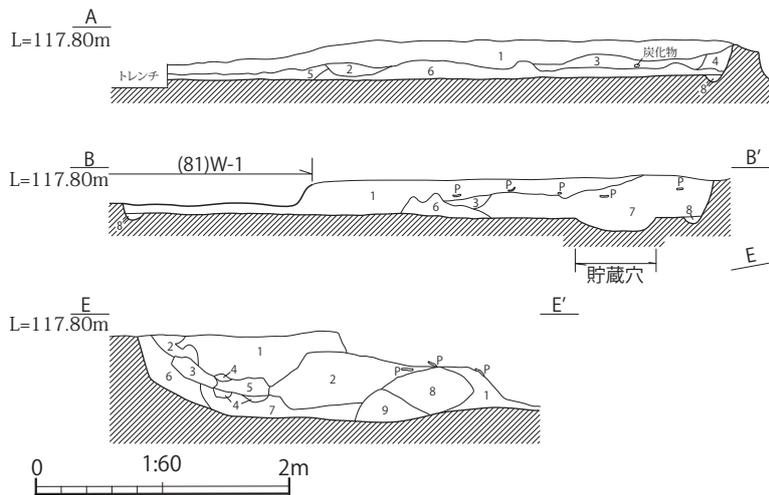
- 1 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mm を2%、砂を多く含む

(81)H-23 貯蔵穴土層注記 (D-D')

- 1 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mm を3%、焼土粒2%、炭化物1%含む
- 2 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mm を2%、焼土粒少量、炭化物5%含む
- 3 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mm を2%、炭化物少量含む
- 4 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mm を2%、焼土粒・炭化物少量含む

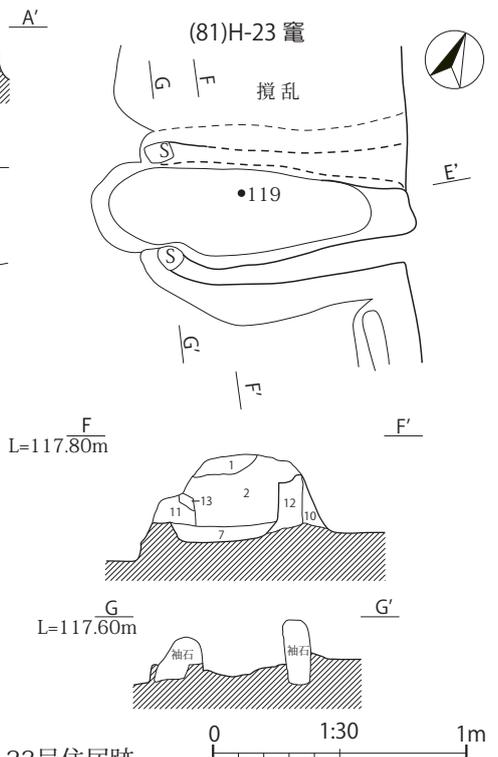
(81)H-23 土層注記 (A-A', B-B')

- 1 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mm を10%、黄褐色粒を3%、砂を多く含む
- 2 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mm を10%、黄褐色粒を5%、炭化物を少量含む
- 3 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mm を5%、黄褐色粒を2%、炭化物を少量含む
- 4 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mm を3%、黄褐色粒を少量、炭化物を10%含む
- 5 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mm を3%、黄褐色粒を3%、炭化物・焼土粒を少量含む
- 6 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mm を3%、黄褐色粒を3%、炭化物・焼土粒を多く含む
- 7 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mm を5%、黄褐色粒を2%、炭化物・焼土粒を3%含む
- 8 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mm を3%、黄褐色粒を5%含む

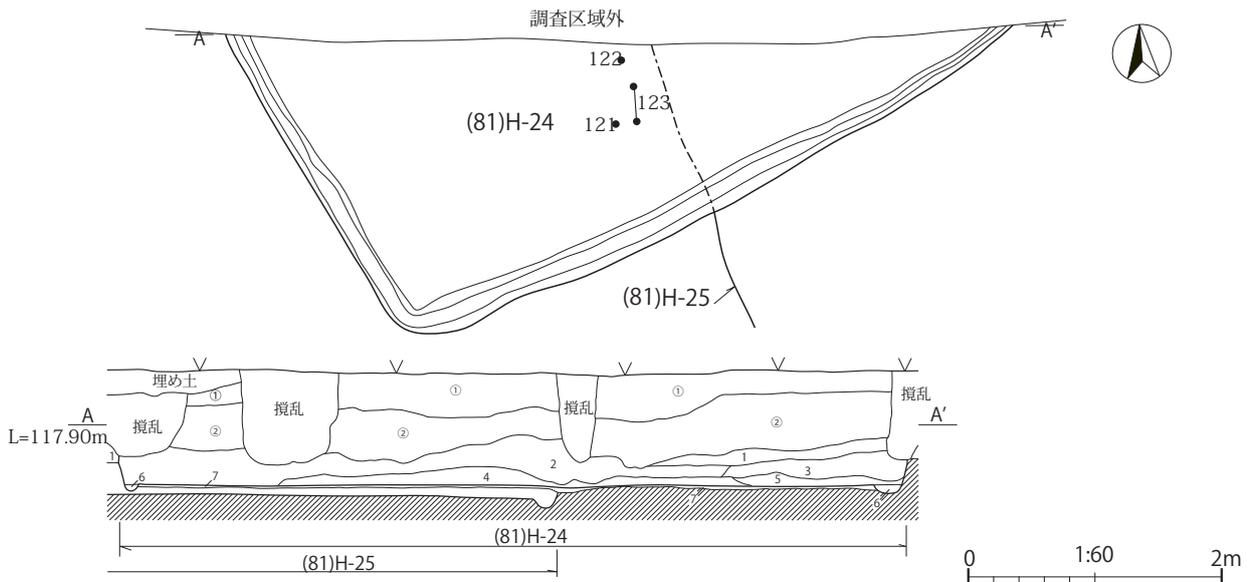


(81)H-23 土層注記 (A-A', B-B')

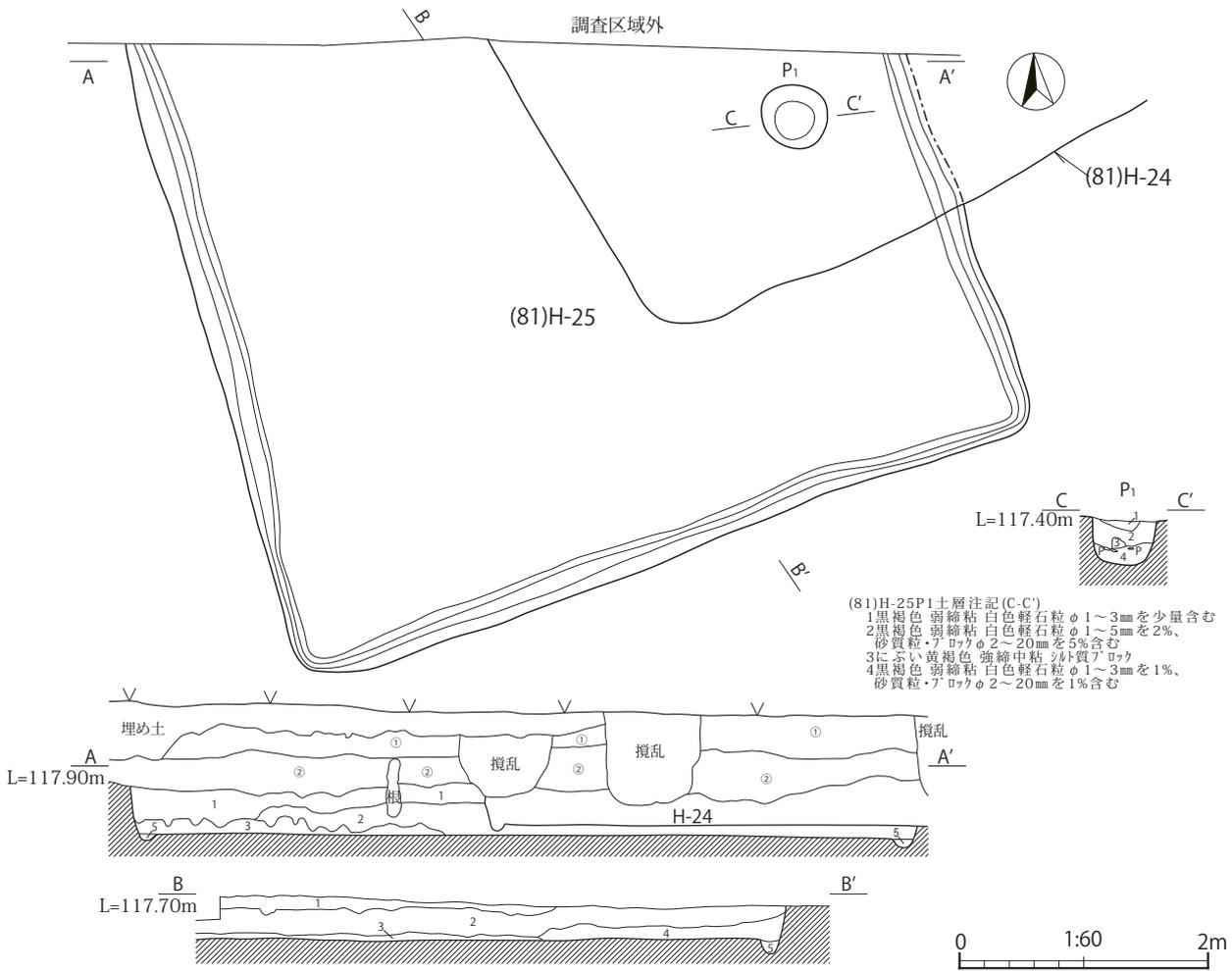
- 1 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mm を5%、焼土粒2%含む
- 2 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mm を5%、焼土粒10%含む
- 3 黒色 弱締粘 灰層 硬い焼土アロクを少量含む
- 4 焼土アロク
- 5 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mm を5%、硬い焼土アロクと灰を多く含む
- 6 にぶい黄褐色 強締中粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mm を2%含む
- 7 赤褐色 弱締粘 灰を少量含む
- 8 褐色 強締砂質
- 9 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~2mm を3%、焼土粒少量含む
- 10 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mm を5%、焼土粒2%含む
- 11 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mm を2%、焼土粒少量含む
- 12 にぶい黄褐色 強締中粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mm を2%含む
- 13 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~2mm を3%含む



第17図 (81)H-22号住居跡竈、H-23号住居跡



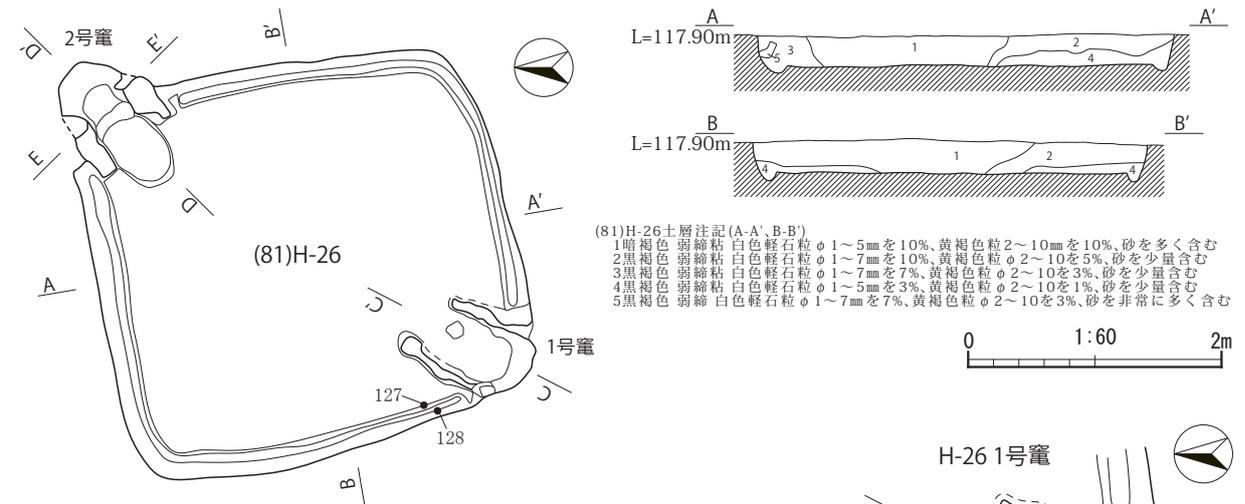
- (81)H-24北壁土層注記(A-A')
- 1 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mmを15%、砂質粒 ϕ 2~20を2%含む 少量含む
 - 2 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを10%、砂質粒 ϕ 2~30mmを3%、砂を少量含む
 - 3 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mmを15%、砂質粒 ϕ 2~20を2%、砂を10%含む
 - 4 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを10%、砂質粒 ϕ 2~30mmを3%、砂を少量、灰を多く含む
 - 5 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mmを10%、砂質粒 ϕ 2~30mmを1%、砂を7%含む
 - 6 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを3%、砂質粒 ϕ 2~30mmを少量含む
 - 7 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを2%、砂質粒 ϕ 2~30mmを少量含む
 - ① 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mmを3%、砂質粒 ϕ 2~10mmを少量含む
 - ② 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mmを10%、砂質粒 ϕ 2~20mmを2%含む



- (81)H-25P1土層注記(C-C')
- 1 黒褐色 弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを少量含む
 - 2 黒褐色 弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを2%、砂質粒・フツク ϕ 2~20mmを5%含む
 - 3 ぶい 黄褐色 強粘中粘 シト質フツク
 - 4 黒褐色 弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを1%、砂質粒・フツク ϕ 2~20mmを1%含む

- (81)H-25土層注記(A-A', B-B')
- 1 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mmを5%含む
 - 2 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mmを10%、砂質粒 ϕ 2~20mmを1%含む
 - 3 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mmを5%、砂質粒 ϕ 2~20mmを1%、砂を多く含む
 - 4 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを3%、砂質粒 ϕ 2~20mmを1%含む
 - 5 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを3%、砂質粒 ϕ 2~20mmを1%、砂を多く含む
 - ① 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mmを3%、砂質粒 ϕ 2~10mmを少量含む
 - ② 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mmを10%、砂質粒 ϕ 2~20mmを2%含む

第18図 (81)H-24・25号住居跡

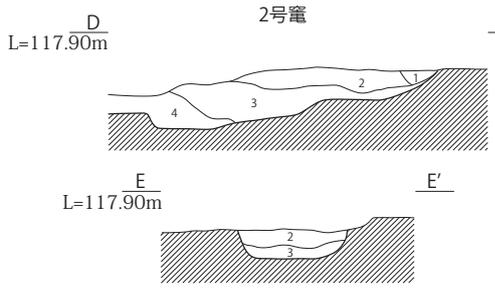
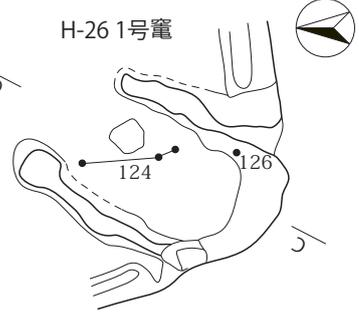
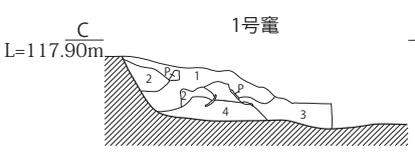


(81)H-26土層注記(A-A', B-B')

- 1暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を10%、黄褐色粒 2~10mm を10%、砂を多く含む
- 2黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を10%、黄褐色粒 φ 2~10を5%、砂を少量含む
- 3黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を7%、黄褐色粒 φ 2~10を3%、砂を少量含む
- 4黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を3%、黄褐色粒 φ 2~10を1%、砂を少量含む
- 5黒褐色 弱締 白色軽石粒 φ 1~7mm を7%、黄褐色粒 φ 2~10を3%、砂を非常に多く含む

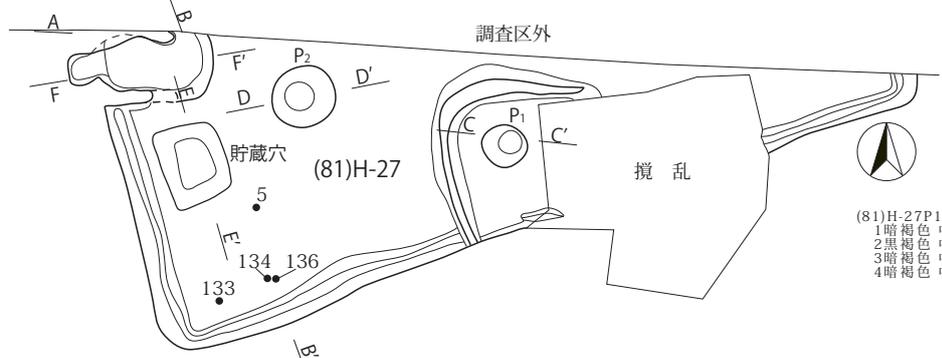
(81)H-26竈1土層注記(C-C')

- 1暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を5%含む
- 2焼土⁷ 中締弱粘
- 3暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を5%、焼土粒 2%、灰を少量含む
- 4暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を5%、焼土粒 2%、灰を少量含む



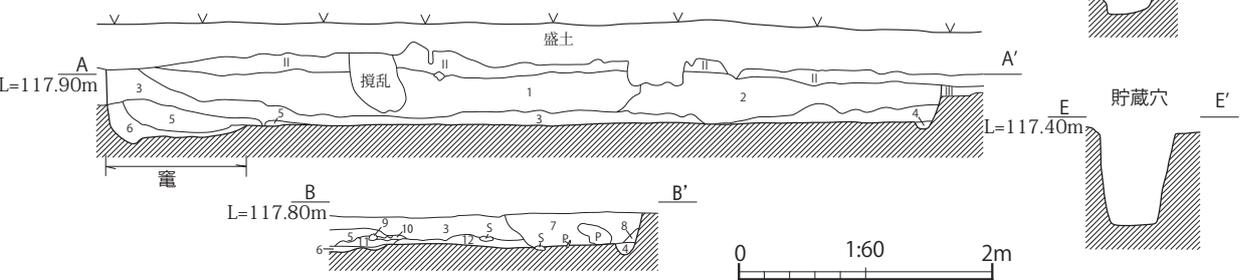
(81)H-26竈2土層注記(D-D', E-E')

- 1暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~3を5%、焼土粒 少量含む
- 2暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~3を7%、焼土粒・炭化物 少量含む
- 3暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~3を2%、焼土粒・炭化物 多く含む
- 4黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~3を3%、焼土粒 少量含む



(81)H-27P1土層注記(C-C')

- 1暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を5%含む
- 2黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を5%含む
- 3暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を3%含む
- 4暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~2mm を1%含む

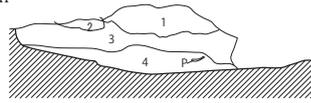


(81)H-27土層注記(A-A')

- 1黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を3%、砂質粒 φ 2~30mm を1%含む
- 2黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を5%、砂質粒 φ 2~30mm を3%含む
- 3黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を5%、砂質粒 φ 2~10mm を少量含む
- 4黒褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を3%、砂質粒 φ 2~10mm を少量含む
- 5黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を3%、焼土⁷を多く炭化物1%含む
- 6黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を5%、焼土⁷を1%、炭化物少量含む
- 7黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を10%、砂質粒 φ 2~10mm を2%含む
- 8暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を3%、砂質粒 φ 2~10mm・焼土粒 少量含む
- 9にぶい黄褐色 強締 砂質⁷
- 10黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を1%、灰を非常に多く含む
- 11黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を2%、砂質粒 φ 2~10mm を1%、焼土粒・灰を少量含む
- 12黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を5%、砂質粒 φ 2~10mm を少量、焼土粒・灰を2%含む

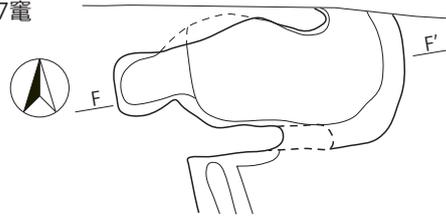
第19図 (81)H-26・27号住居跡

F
L=117.80m

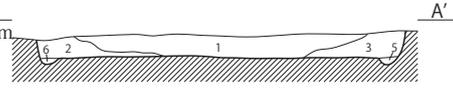


- (81)H-27竈土層注記(F-F')
- 1 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~7mmを5%、焼土粒少量含む
 - 2 明赤褐色 強締弱粘(焼土7ロツク)
 - 3 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~3mmを2%、焼土粒・7'ロツクを5%含む
 - 4 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~5mm・焼土粒・炭化物を1%、灰を多く含む

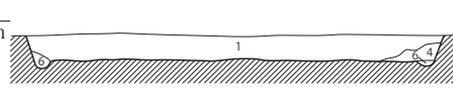
F' (81)H-27竈



A
L=117.90m



B
L=117.90m

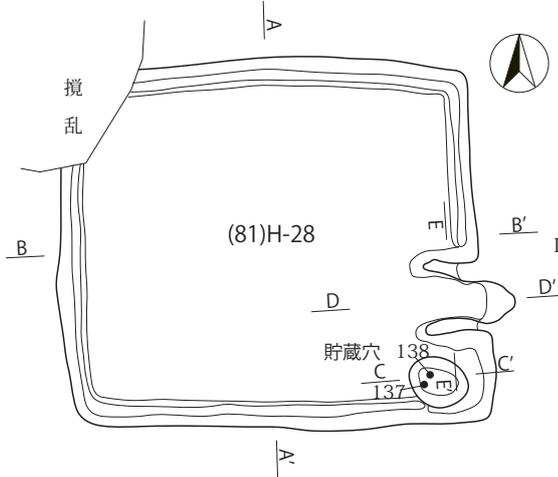


C
L=117.60m

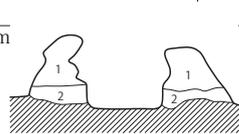


- (81)H-28貯蔵穴土層注記(C-C')
- 1 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~7mmを1%含む
 - 2 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~7mmを1%、砂を多く含む

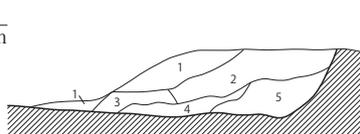
- (81)H-28土層注記(A-A', B-B')
- 1 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~7mmを7%、砂質粒・7'ロツクφ2~30mmを10%含む
 - 2 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~7mmを5%含む
 - 3 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~7mmを5%、砂質粒・7'ロツクφ2~30mmを3%含む
 - 4 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~7mmを5%、砂質粒・7'ロツクφ2~30mmを15%含む
 - 5 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~7mmを1%、砂質粒・7'ロツクφ2~30mmを1%含む
 - 6 暗褐色 中締粘 白色軽石粒φ1~5mmを2%、砂質粒・7'ロツクφ2~10mmを1%含む



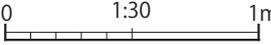
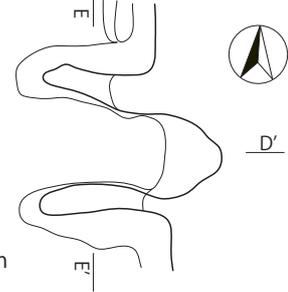
E
L=117.80m



D
L=117.90m

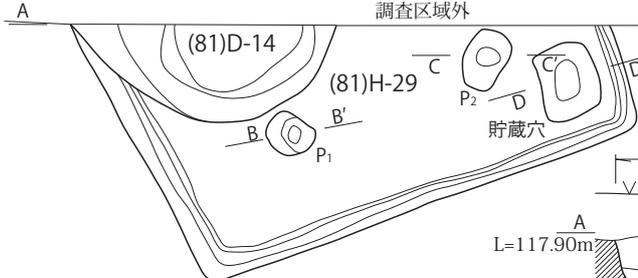


D' (81)H-28竈

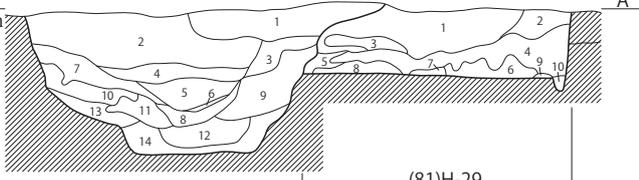


- (81)H-28竈土層注記(D-D')
- 1 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~7mmを10%、砂質粒φ2~20mmを2%含む
 - 2 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~7mmを10%、砂質粒φ2~20mmを2%、にぶい黄褐色7'ロツク(粘土)を15%、焼土7'ロツク5%含む
 - 3 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~7mmを10%、砂質粒φ2~20mmを2%、にぶい黄褐色7'ロツク(粘土)を50%、焼土7'ロツク少量含む
 - 4 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~3mmを2%、にぶい黄褐色7'ロツク(粘土)を少量、灰を多く、焼土粒少量含む
 - 5 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~3mmを2%、にぶい黄褐色7'ロツク(粘土)を10%含む

- (81)H-28竈土層注記(E-E')
- 1 灰白色 強締中粘 白色軽石粒φ1~5mmを2%、2層を少量含む
 - 2 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~5mmを3%、1層を少量含む

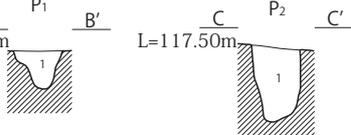


A
L=117.90m

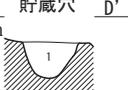


- (81)H-29P1・2土層注記(B-B', C-C')
- 1 黒褐色 中締粘 白色軽石粒φ1~3mmを2%、焼土粒・炭化物を少量含む
- (81)H-29貯蔵穴土層注記(D-D')
- 1 黒褐色 中締粘 白色軽石粒φ1~3mmを2%、焼土粒・砂を少量含む
- (81)H-29土層注記(A-A')
- 1 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~7mmを7%、砂質粒φ2~10mmを2%、炭化物少量含む
 - 2 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~7mmを5%、炭化物を少量含む
 - 3 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~7mmを5%、炭化物を非常に多く含む
 - 4 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~7mmを7%、焼土粒・炭化物を1%含む
 - 5 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~5mmを5%、炭化物を少量、砂質粒φ2~10mmを2%含む
 - 6 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~7mmを3%、焼土粒・炭化物を少量、炭化物少量、砂質粒φ2~10mmを2%含む
 - 7 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~7mmを3%、焼土粒・炭化物を非常に多く、砂質粒φ2~10mmを2%含む
 - 8 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~7mmを3%、焼土粒少量、炭化物を非常に多く、砂質粒φ2~10mmを2%含む
 - 9 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~2mm・焼土粒少量含む
 - 10 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~2mm・焼土粒少量、暗褐色7'ロツクを非常に多く含む

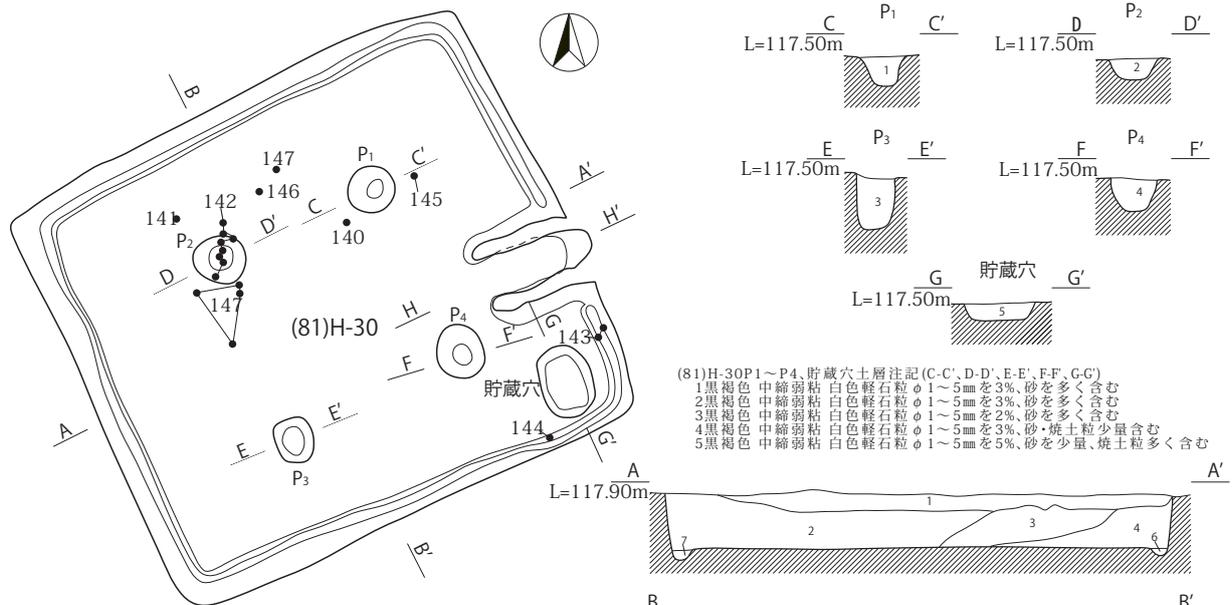
- (81)D-14土層注記(A-A')
- 1 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~5mmを3%、炭化物少量含む
 - 2 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~7mmを5%、焼土粒・炭化物を少量含む
 - 3 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~7mmを5%、炭化物を多く、黄褐色砂質粒φ2~10mmを2%含む
 - 4 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~7mmを5%、炭化物を少量、黄褐色砂質粒φ2~10mmを2%含む
 - 5 黒褐色 弱締粘(砂質質)
 - 6 暗褐色 弱締粘
 - 7 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~5mmを3%、炭化物を少量、にぶい黄褐色シト質7'ロツクを多く含む
 - 8 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~5mmを3%、にぶい黄褐色シト質7'ロツクを1%含む
 - 9 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~7mmを3%、にぶい黄褐色シト質7'ロツクを多く、炭化物少量含む
 - 10 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~7mmを2%、にぶい黄褐色シト質7'ロツクを少量含む
 - 11 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~7mmを3%、にぶい黄褐色シト質7'ロツクを非常に多く含む
 - 12 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~5mmを3%、にぶい黄褐色シト質7'ロツクを2%含む
 - 13 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~7mmを2%、にぶい黄褐色シト質7'ロツクを1%含む
 - 14 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~3mmを2%、にぶい黄褐色シト質7'ロツクを2%含む



D
L=117.50m

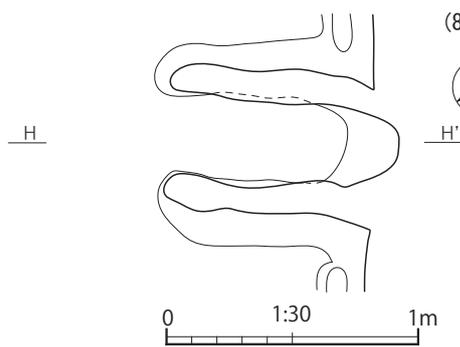
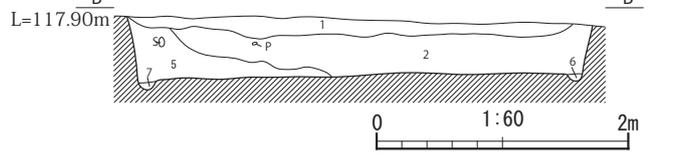


第20図 (81)H-28・29号住居跡

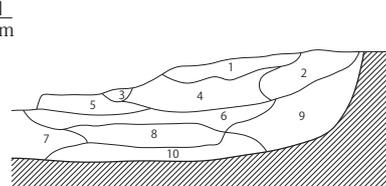


- (81)H-30P1~P4, 貯蔵穴土層注記(C-C', D-D', E-E', F-F', G-G')
- 1 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~5mmを3%, 砂を多く含む
 - 2 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~5mmを3%, 砂を多く含む
 - 3 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~5mmを2%, 砂を多く含む
 - 4 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~5mmを3%, 焼土粒少量含む
 - 5 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~5mmを5%, 砂を少量, 焼土粒多く含む

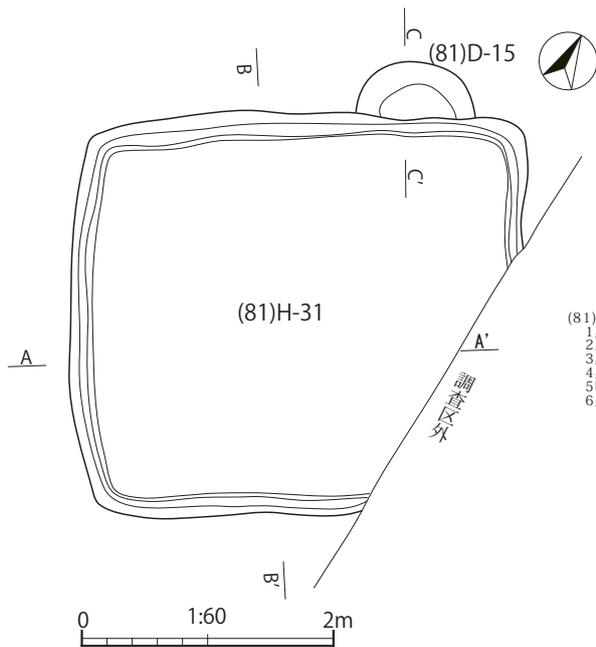
- (81)H-30土層注記(A-A', B-B')
- 1 暗褐色 強締 白色軽石粒φ1~7mmを7%, 砂を多く, 小礫を少量含む
 - 2 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~7mmを5%, 砂・小礫を少量, 砂質粒・ブワックφ2~10mmを2%含む
 - 3 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~7mmを5%, 砂・小礫を少量, 褐色少粘ブワックを非常に多く含む
 - 4 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~7mmを5%, 砂・小礫を少量, 砂質粒・ブワックφ2~10mmを2%, 焼土粒少量含む
 - 5 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~5mmを7%, 焼土粒, 炭化物を2%含む
 - 6 黒褐色 弱締 白色軽石粒φ1~5mmを2%, 砂を多く含む
 - 7 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~3mmを2%, 砂を多く含む



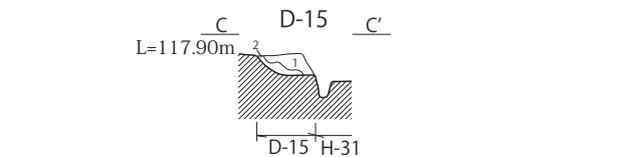
(81)H-30 竈 L=117.90m



- (81)H-30竈土層注記(H-H')
- 1 黒褐色 中締粘 白色軽石粒φ1~5mmを5%, 砂質粒φ2~10mmを1%含む
 - 2 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~5mmを5%, 焼土粒10%, 炭化物少量含む
 - 3 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~5mmを5%, 砂を多く含む
 - 4 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~5mmを3%, 砂を多く含む
 - 5 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~5mmを2%, 砂を多く含む
 - 6 黒褐色 弱締 白色軽石粒φ1~3mmを3%, 砂を多く含む
 - 7 黒褐色 弱締 白色軽石粒φ1~5mmを2%, 砂・小礫を多く含む
 - 8 赤褐色 強締 (焼土・ブワック)
 - 9 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~5mmを2%, 焼土・ブワックと灰を多く含む
 - 10 黒色 弱締粘 灰層

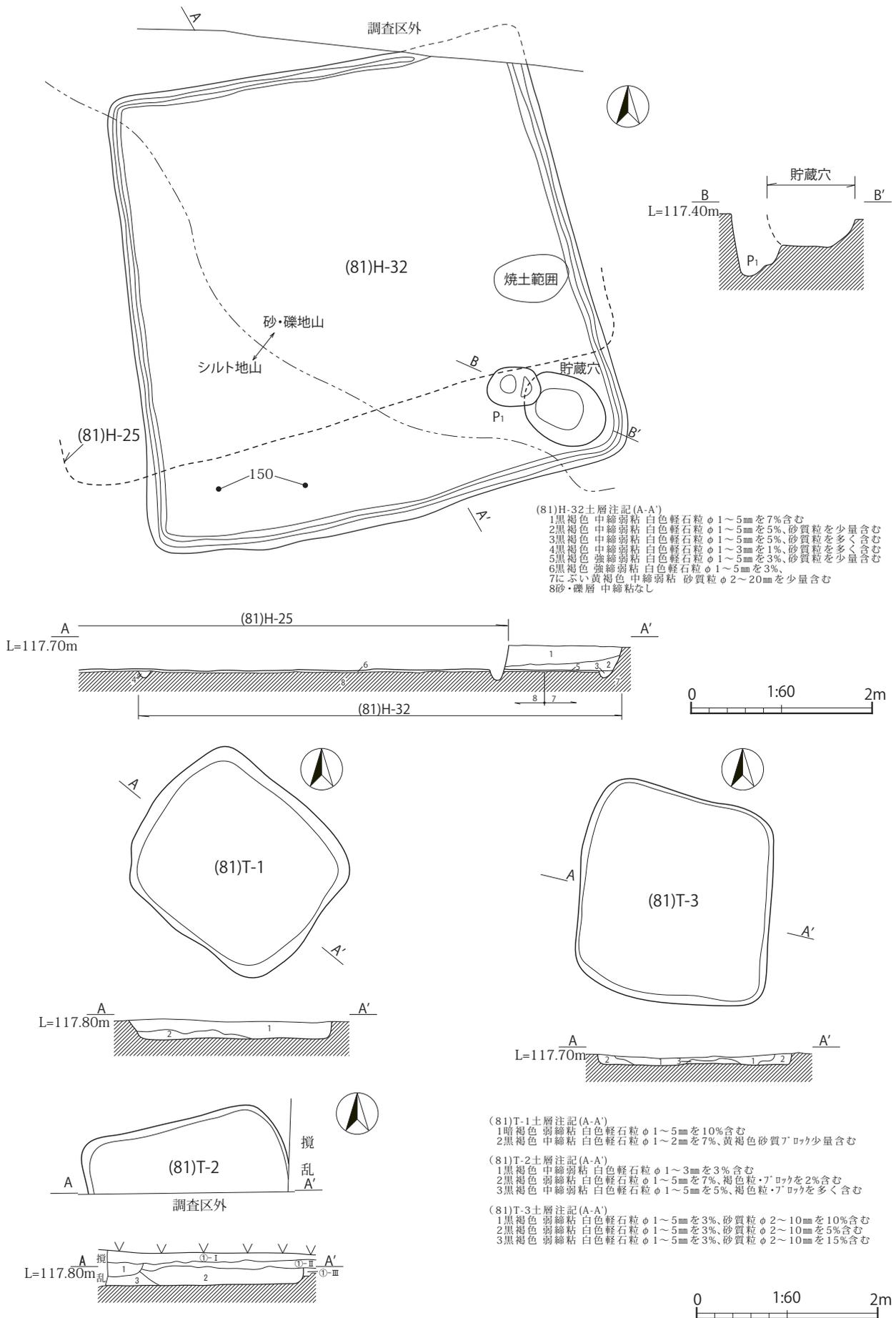


- (81)H-31土層注記(A-A', B-B')
- 1 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~5mmを5%, 砂質粒・ブワックφ2~10mmを5%, 砂を多く含む
 - 2 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~5mmを5%, 砂質粒・ブワックφ2~10mmを3%, 砂を少量含む
 - 3 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~5mmを5%, 砂質粒・ブワックφ2~10mmを1%, 砂を少量含む
 - 4 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~5mmを3%, 砂質粒・ブワックφ2~10mmを1%含む
 - 5 暗褐色 中締 白色軽石粒φ1~5mmを2%, 砂を多く含む
 - 6 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒φ1~5mmを3%, 砂質粒・ブワックφ2~10mmを1%, 砂を多く含む

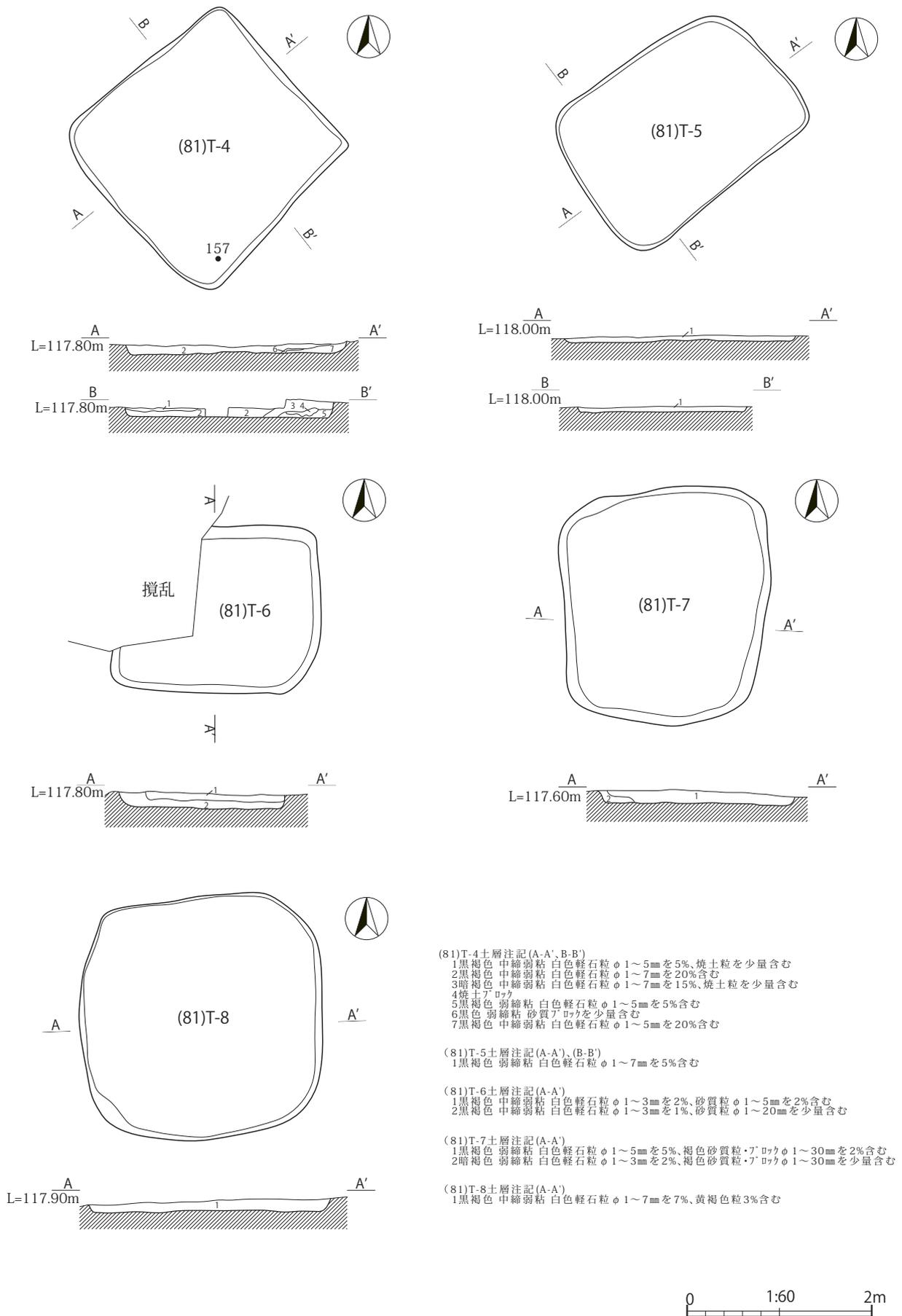


- (81)D-15土層注記(C-C')
- 1 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~3mmを5%, 砂質粒φ2~10mmを3%含む
 - 2 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒φ1~3mmを2%, 砂質粒φ2~10mmを少量含む

第21図 (81)H-30・31号住居跡

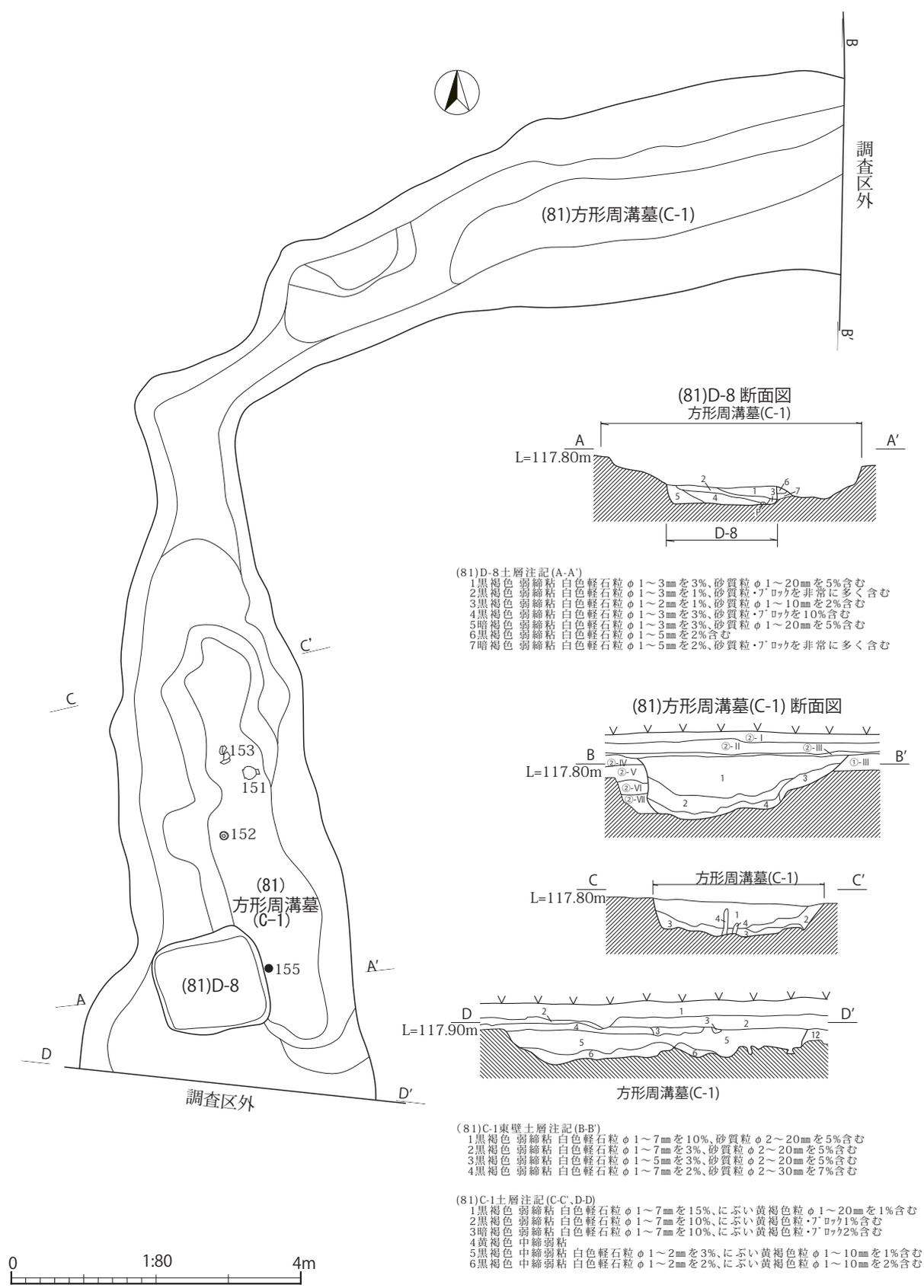


第22図 (81)H-32号住居跡、T-1~3号竪穴状遺構



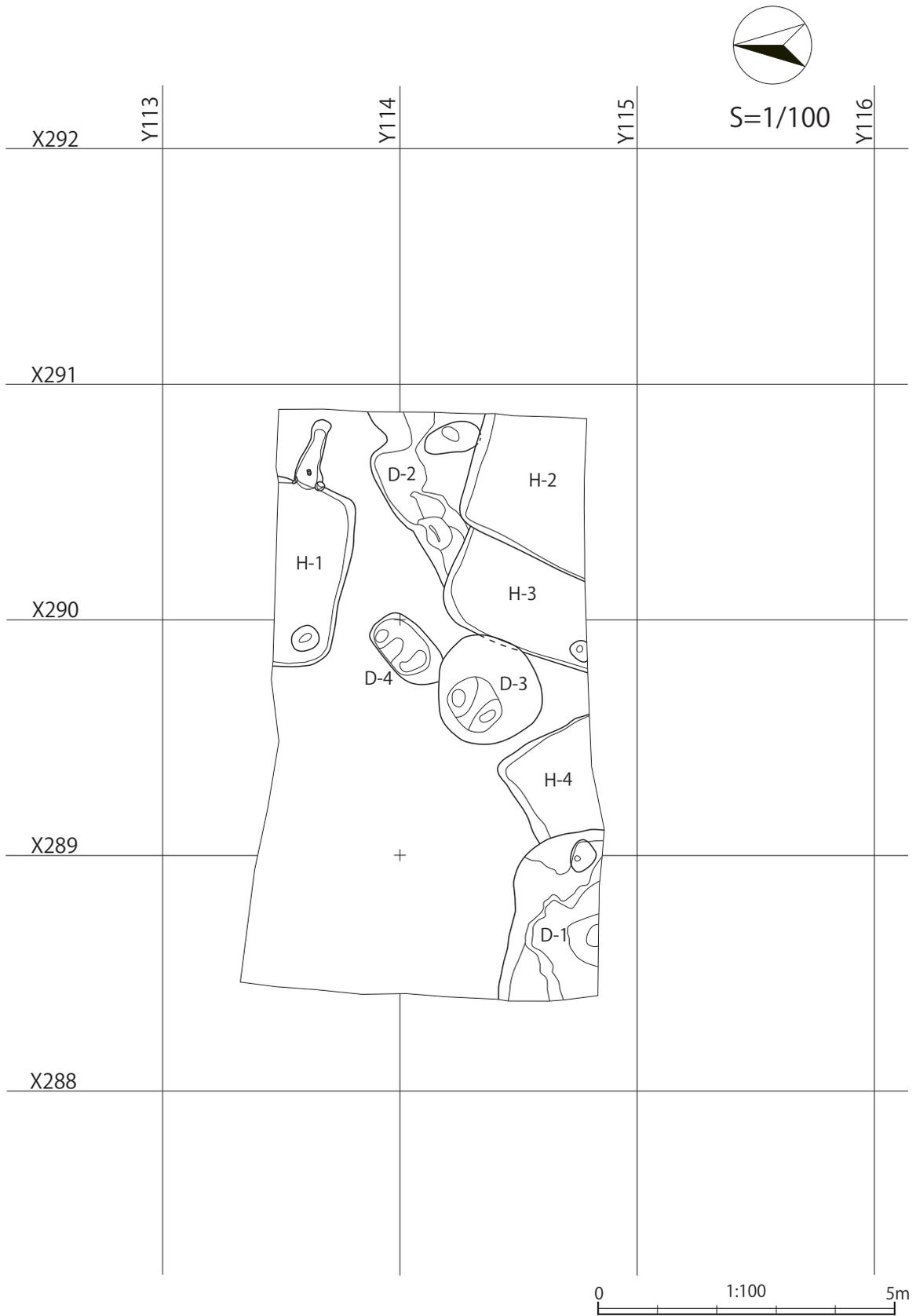
- (81)T-4土層注記(A-A', B-B')
- 1 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを5%、焼土粒を少量含む
 - 2 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mmを20%含む
 - 3 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mmを15%、焼土粒を少量含む
 - 4 焼土⁷ロツク
 - 5 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを5%含む
 - 6 黒色 弱締粘 砂質⁷ロツクを少量含む
 - 7 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを20%含む
- (81)T-5土層注記(A-A'), (B-B')
- 1 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mmを5%含む
- (81)T-6土層注記(A-A')
- 1 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを2%、砂質粒 ϕ 1~5mmを2%含む
 - 2 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを1%、砂質粒 ϕ 1~20mmを少量含む
- (81)T-7土層注記(A-A')
- 1 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mmを5%、褐色砂質粒⁷ロツク ϕ 1~30mmを2%含む
 - 2 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mmを2%、褐色砂質粒⁷ロツク ϕ 1~30mmを少量含む
- (81)T-8土層注記(A-A')
- 1 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mmを7%、黄褐色粒3%含む

第23図 (81)T-4~8号竪穴状遺構

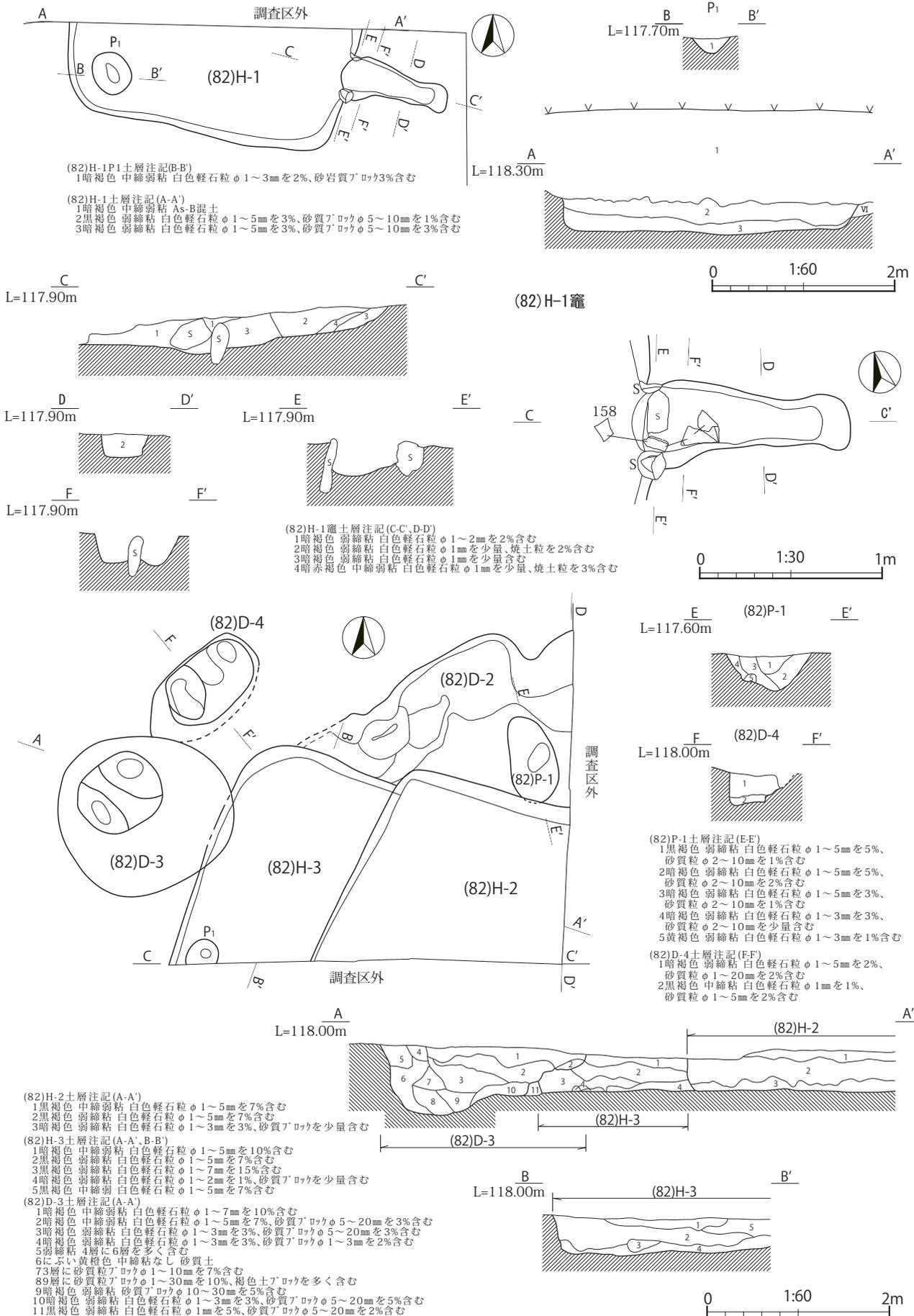


第24図 (81)D-8号土坑、方形周溝墓(C-1)

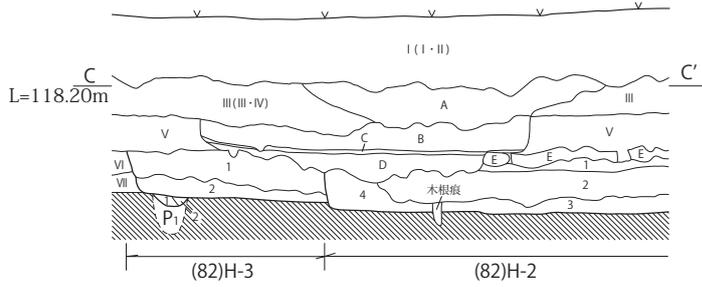
元総社蒼海遺跡群(82)



第25図 元総社蒼海遺跡群(82)全体図



第26図 (82)H-1~3号住居跡



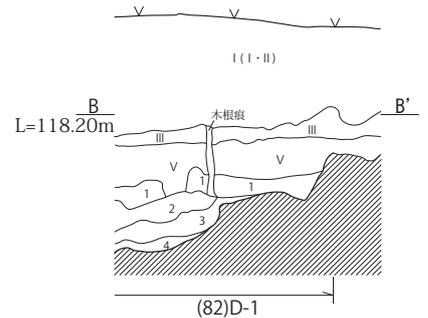
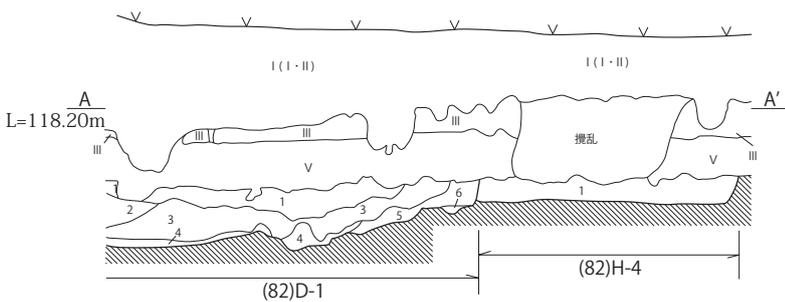
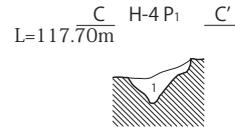
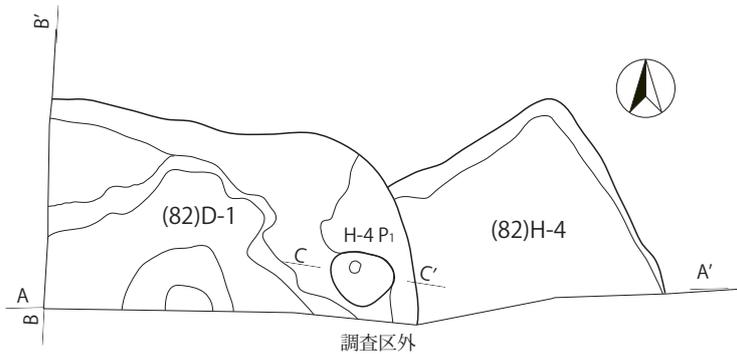
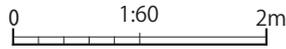
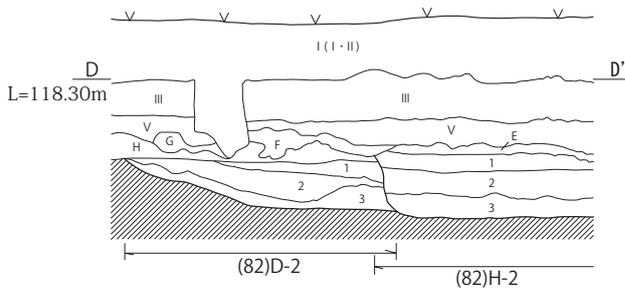
- (82)H-2土層注記(C-C', D-D')
- 1 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mm を7%含む
 - 2 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mm を7%含む
 - 3 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mm を3%、砂質 γ ロツカを少量含む
 - 4 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mm を1%、砂質 γ ロツカを少量含む

- (82)H-3土層注記(C-C')
- 1 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mm を7%、砂質粒 ϕ 2~10mm を少量含む
 - 2 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mm を3%、砂質粒 ϕ 2~10mm を少量含む

- (82)D-2土層注記(D-D')
- 1 黒色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mm を15%、砂質粒 ϕ 2~10mm を3%含む
 - 2 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mm を10%、砂質粒 ϕ 2~10mm を3%含む
 - 3 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mm を7%、砂質粒 ϕ 2~30mm を5%含む

- (82)H-3P1土層注記(C-C')
- 1 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1mm を1%、砂質粒 ϕ 1~10mm を少量含む
 - 2 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1mm を1%、砂質粒 ϕ 1~3mm を少量含む

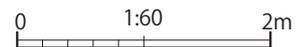
- A 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mm を3%、砂質粒 ϕ 2~10mm を1%含む
- B 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mm を2%、砂質粒 ϕ 2~5mm を1%含む
- C 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mm を2%、砂質粒 ϕ 2~10mm を1%、
黄土粒を少量含む
- D 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mm を2%、砂質粒 ϕ 2~10mm を1%含む
- E Hr-FA
- F 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mm を10%、
砂質粒 ϕ 2~5mm、E層を少量含む
- G 黒色 中締弱粘 白色軽石粒 ϕ 1~7mm を15%含む
- H 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mm を3%、砂質粒 ϕ 2~10mm を1%含む



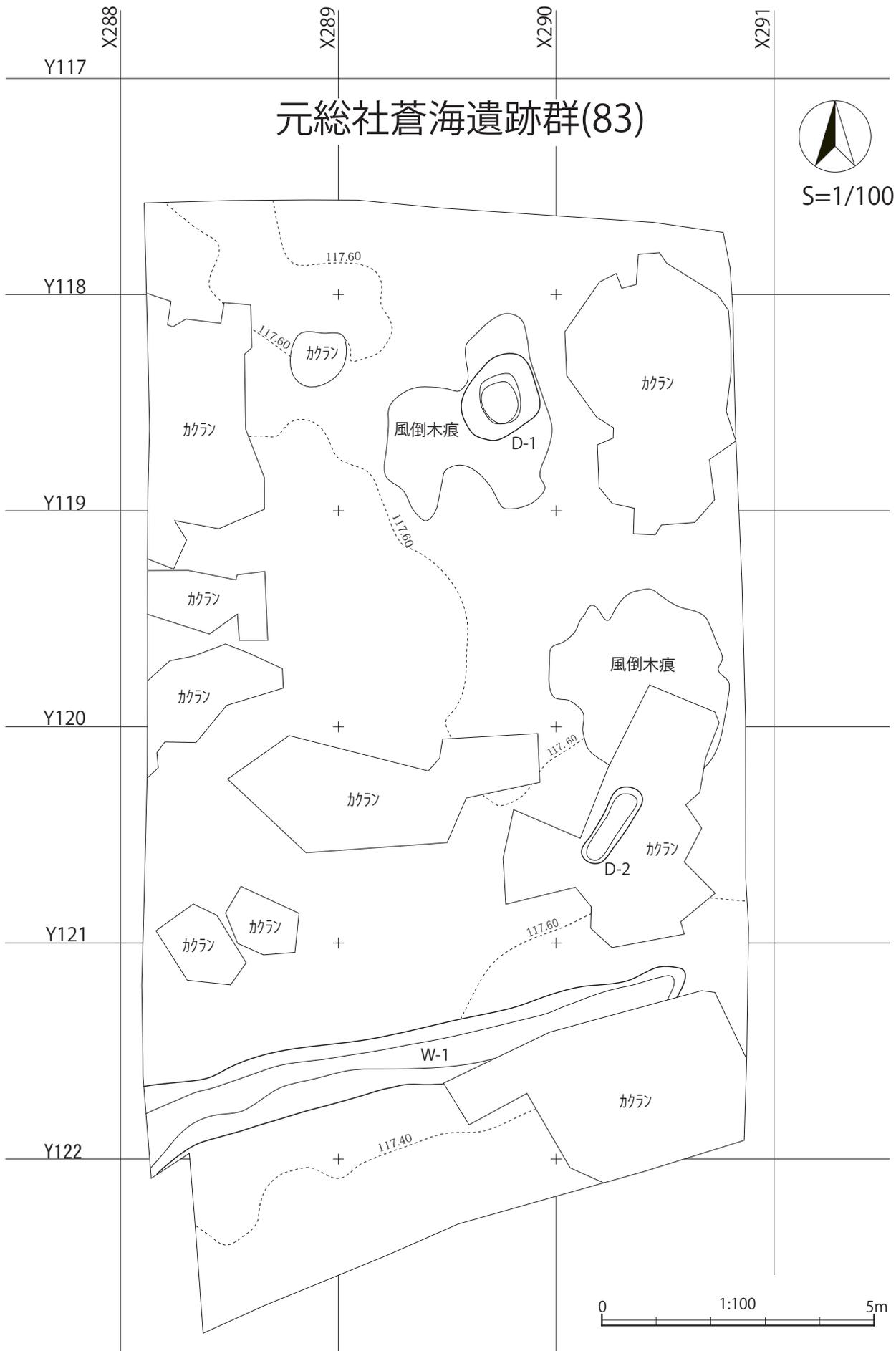
- (82)H-4土層注記(A-A')
- 1 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mm を5%、砂質粒 ϕ 2~10mm を1%含む

- (82)D-1土層注記(A-A', B-B')
- 1 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~5mm を5%、砂質粒 ϕ 2~10mm を3%含む
 - 2 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mm を1%、砂質粒 ϕ 2~30mm を3%含む
 - 3 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mm を3%、砂質粒 ϕ 2~30mm を3%含む
 - 4 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mm を1%、砂質粒 ϕ 2~30mm を20%含む (黄褐色砂質 γ ロツカ)
 - 5 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mm を2%、砂質粒 ϕ 2~20mm を5%含む
 - 6 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mm を2%、砂質粒 ϕ 2~20mm を15%含む

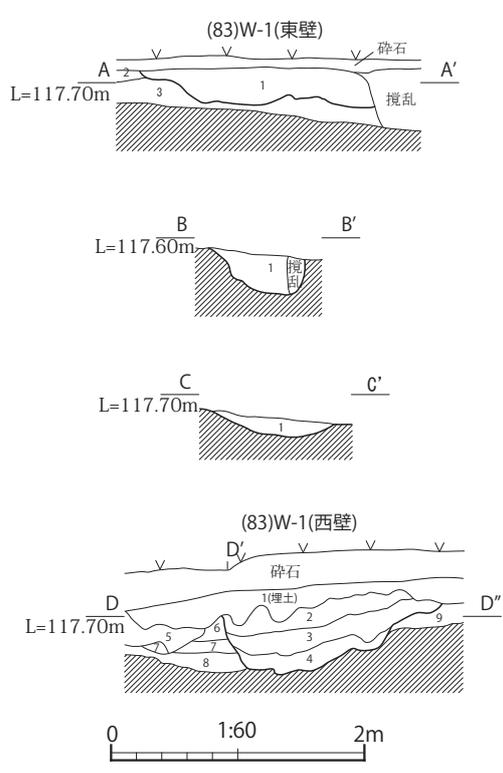
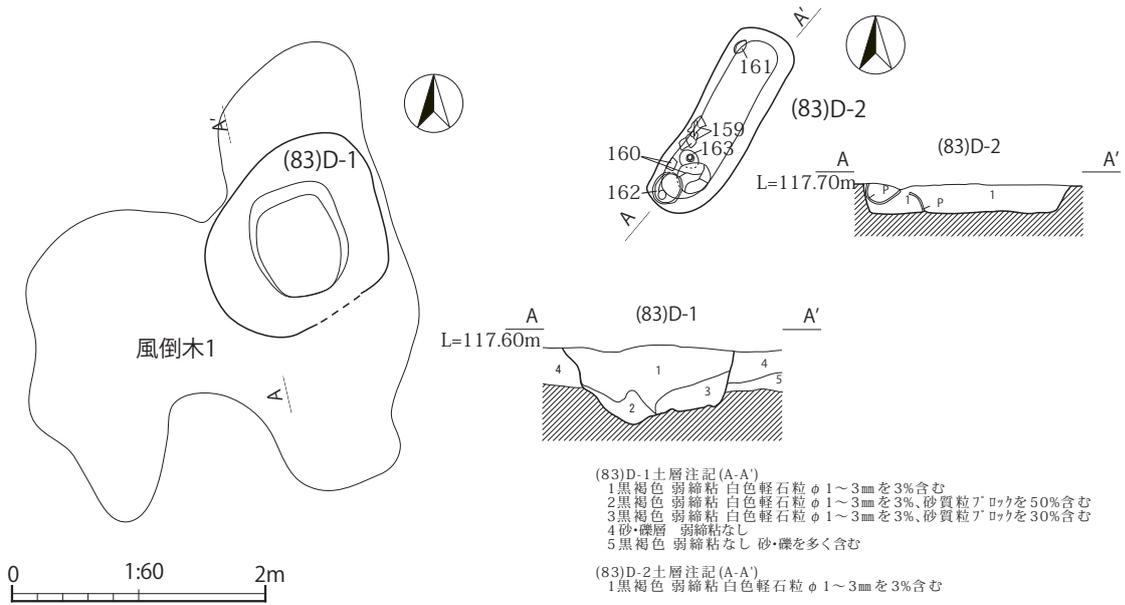
- (82)H-4P1土層注記(C-C')
- 1 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 ϕ 1~3mm を2%、砂質 γ ロツカ ϕ 5~30mm を2%含む



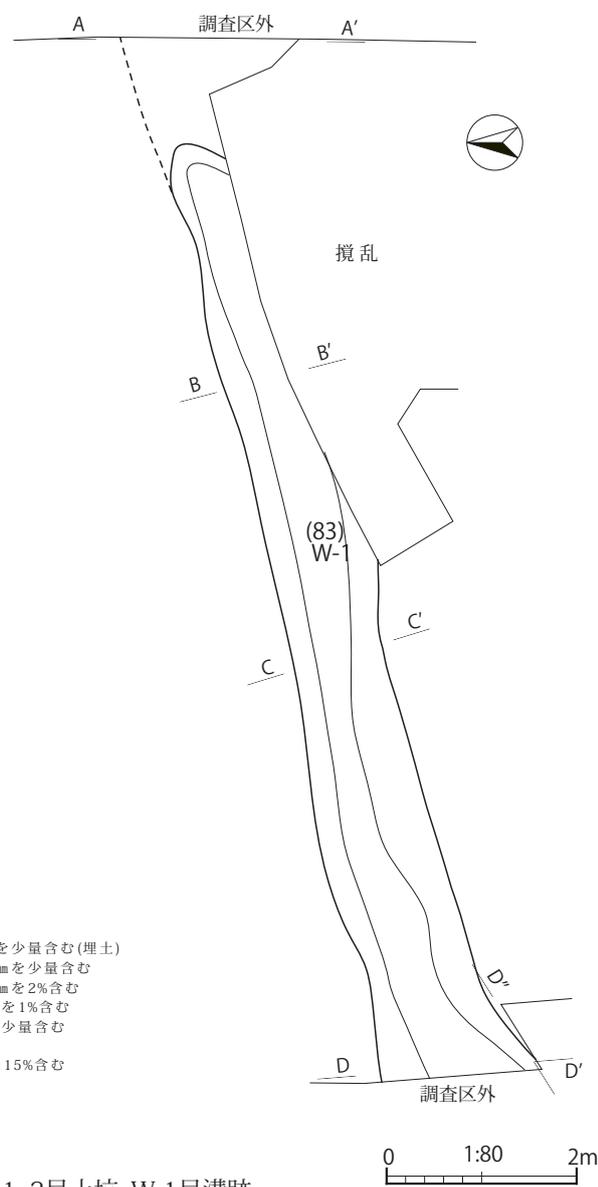
第27図 (82)H-2・4号住居跡、D-2号土坑



第28図 元総社蒼海遺跡群(83)全体図



- (83)W-1 東壁土層注記 (A-A')
- 1 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を 10%、砂質 7' ロック少量含む
 - 2 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を 5%、砂質粒少量含む
 - 3 明黄褐色 弱締粘なし 白色軽石粒 φ 1~3mm を少量、砂質粒多量含む
- (83)W-1 東・西側土層注記 (B-B', C-C')
- 1 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を 10% 含む
- (83)W-1 西壁土層注記 (D-D')
- 1 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を 10%、砂質 7' ロック φ 2~10mm を少量含む(埋土)
 - 2 黒褐色土 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を 10%、砂質 7' ロック φ 2~10mm を少量含む
 - 3 黒褐色土 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を 10%、砂質 7' ロック φ 2~10mm を 2% 含む
 - 4 暗褐色土 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を 7%、砂質 7' ロック φ 2~10mm を 1% 含む
 - 5 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を 7%、砂質 7' ロック φ 2~10mm を少量含む
 - 6 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を 7% 含む
 - 7 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を 7%、砂質 7' ロック φ 2~10mm を 15% 含む
 - 8 7' ロック 褐色 弱締粘 砂質 7' ロック φ 2~20mm を 5% 含む
 - 9 にぶい黄褐色 弱締粘なし

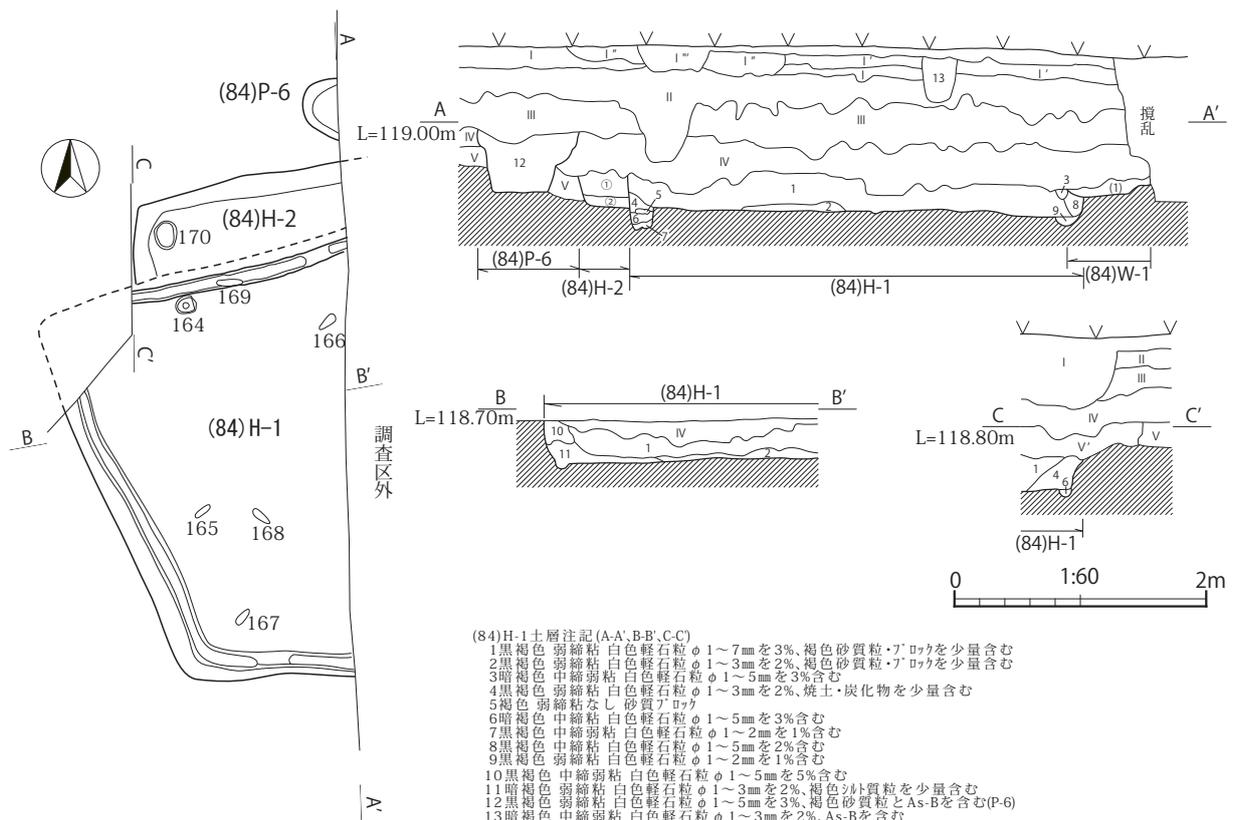


第29図 (83)D-1・2号土坑、W-1号溝跡

元総社蒼海遺跡群(84)



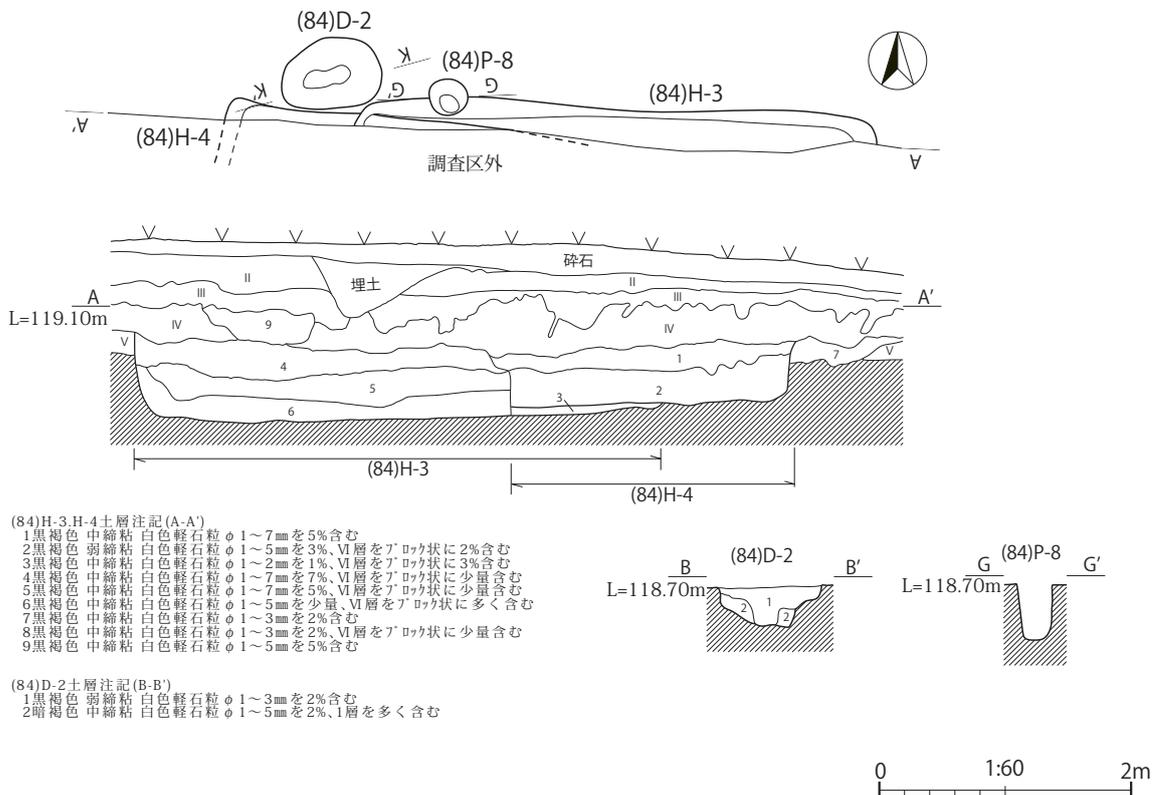
第30図 元総社蒼海遺跡群(84)全体図



- (84)H-1土層注記(A-A', B-B', C-C')
- 1 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を3%、褐色砂質粒・ブロックを少量含む
 - 2 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を2%、褐色砂質粒・ブロックを少量含む
 - 3 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を3%含む
 - 4 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を2%、焼土・炭化物を少量含む
 - 5 褐色 弱締粘なし 砂質ブロック
 - 6 暗褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を3%含む
 - 7 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~2mm を1%含む
 - 8 黒褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を2%含む
 - 9 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~2mm を1%含む
 - 10 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を5%含む
 - 11 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を2%、褐色珪質粒を少量含む
 - 12 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を3%、褐色砂質粒とAs-Bを含む(P-6)
 - 13 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を2%、As-Bを含む

- (84)H-2土層注記(A-A')
- ① 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を5%含む
 - ② 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を3%、暗褐色砂質ブロックを少量含む

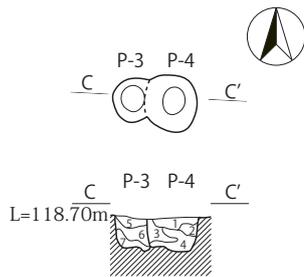
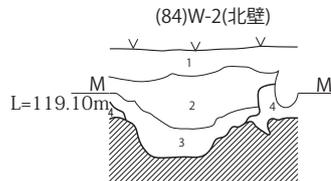
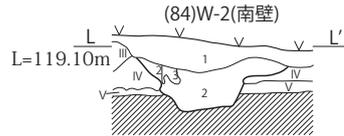
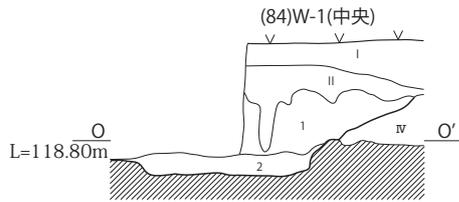
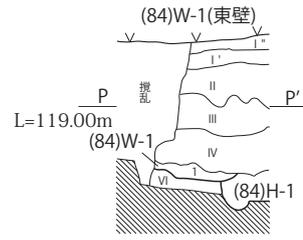
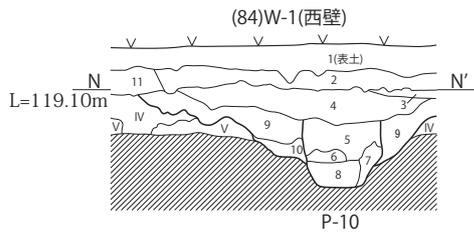
- (84)W-1土層注記(A-A')
- (1) 黒褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を5%、焼土粒を少量含む



- (84)H-3, H-4土層注記(A-A')
- 1 黒褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を5%含む
 - 2 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を3%、VI層をブロック状に2%含む
 - 3 黒褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を1%、VI層をブロック状に3%含む
 - 4 黒褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を7%、VI層をブロック状に少量含む
 - 5 黒褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~7mm を5%、VI層をブロック状に少量含む
 - 6 黒褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を少量、VI層をブロック状に多く含む
 - 7 黒褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を2%含む
 - 8 黒褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を2%、VI層をブロック状に少量含む
 - 9 黒褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を5%含む

- (84)D-2土層注記(B-B')
- 1 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~3mm を2%含む
 - 2 暗褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~5mm を2%、I層を多く含む

第31図 (84)H-1~4号住居跡、P-6・8号ピット、D-2号土坑



(84)W-1西壁土層注記(N-N')

- 1 1層(表土)
- 2 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを3%、As-Bを多く、褐色土を少量含む
- 3 灰黄褐色 中締粘なし 白色軽石粒 φ 1~5mmを5%、砂を多く含む
- 4 黒褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを5%含む
- 5 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを7%含む
- 6 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~7mmを3%含む
- 7 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~3mmを3%、褐色土(IV層)を少量含む
- 8 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを2%、褐色土(IV層)アロクを多く含む
- 9 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを5%含む
- 10 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~3mmを3%、褐色土(IV層)アロクを多く含む
- 11 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~3mmを5%、As-Bを多く、褐色土アロクを多く含む

(84)W-1東壁土層注記(P-P')

- 1 黒褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを5%、焼土粒を少量含む

(84)W-1中央土層注記(O-O')

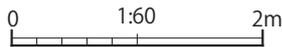
- 1 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを5%含む
- 2 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~3mmを3%、褐色土(IV層)アロクを多く含む

(84)W-2南壁土層注記(L-L')

- 1 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを3%、As-Bを多く、褐色土を少量含む
- 2 灰黄褐色 中締粘なし 白色軽石粒 φ 1~5mmを5%、砂を多く含む
- 3 暗褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~3mmを少量含む

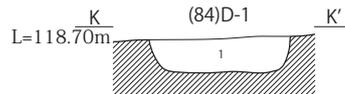
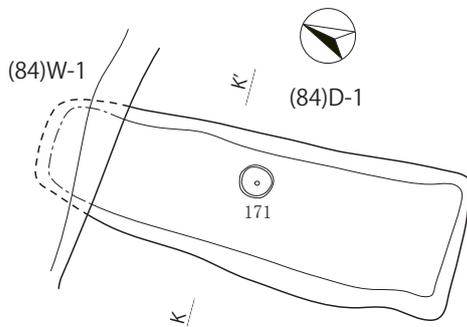
(84)W-2北壁土層注記(M-M')

- 1 1層(表土)
- 2 暗褐色 中締弱粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを3%、As-Bを多く、褐色土を少量含む
- 3 灰黄褐色 中締粘なし 白色軽石粒 φ 1~5mmを5%、砂を多く含む
- 4 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを5%含む



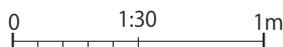
(84)P3,P4土層注記(C-C')

- 1 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを5%、砂質粒 φ 2~10mmを2%含む
- 2 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~3mmを3%、VI層を少量含む
- 3 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~3mmを2%、VI層を少量含む
- 4 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~3mmを2%、VI層を多く含む
- 5 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを3%、砂質粒 φ 2~10mmを1%含む
- 6 黒褐色 弱締粘 白色軽石粒 φ 1~3mmを2%、VI層を少量含む
- 7 黒褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~2を1%、砂質粒 φ 1~30mmを少量含む

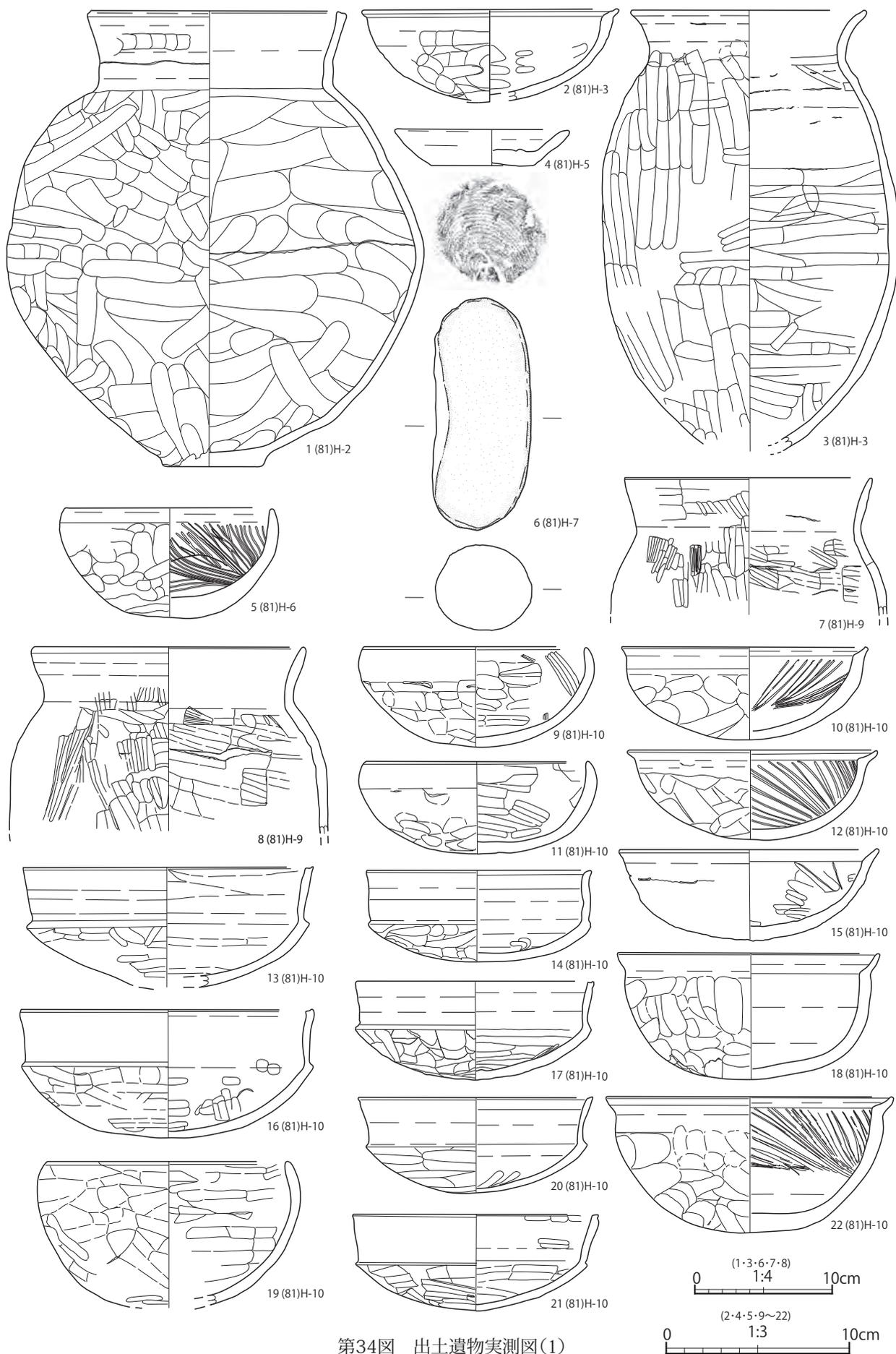


(84)D-1土層注記(K-K')

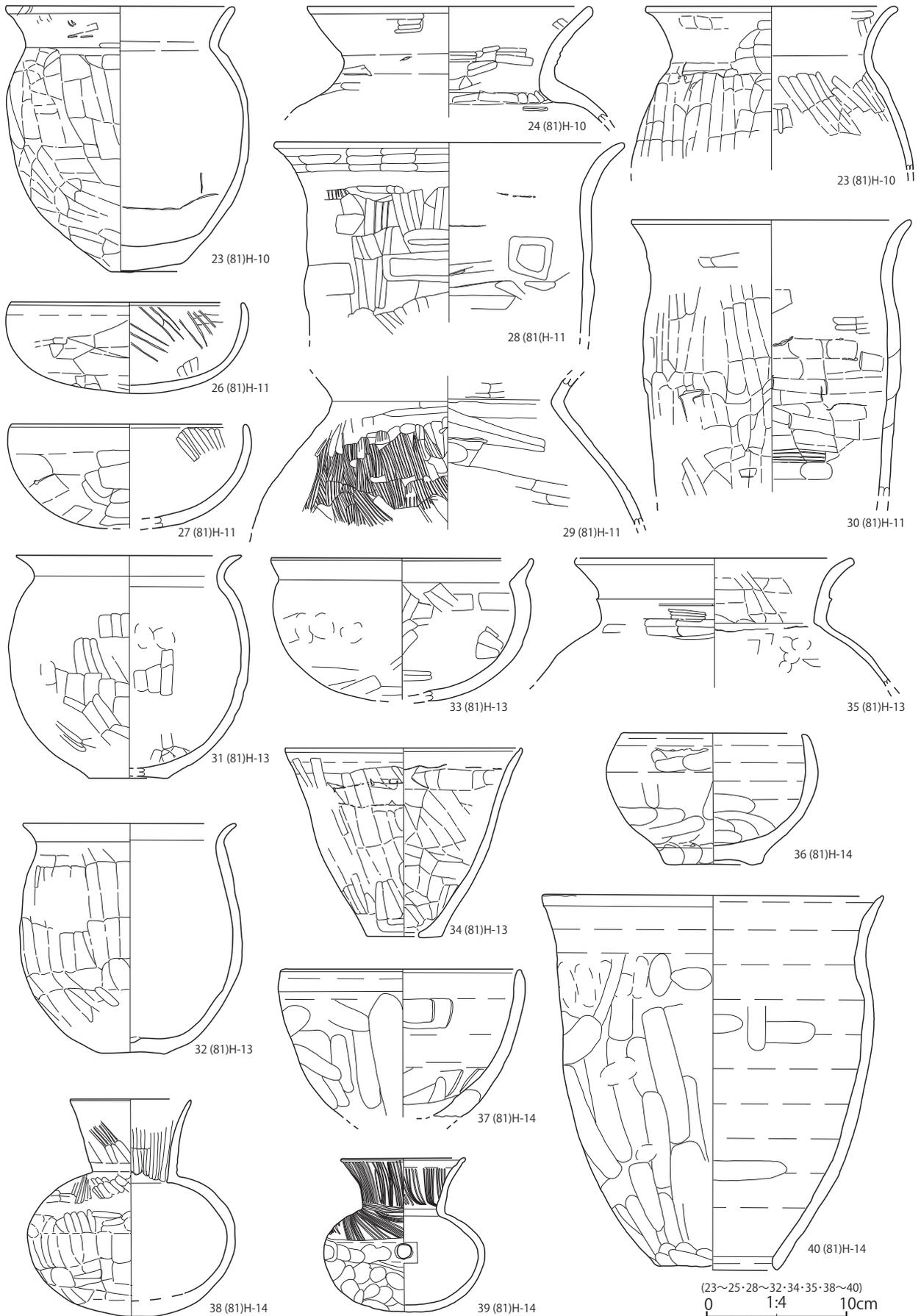
- 1 黒褐色 中締粘 白色軽石粒 φ 1~5mmを7%、VI層をアロク状に多く含む



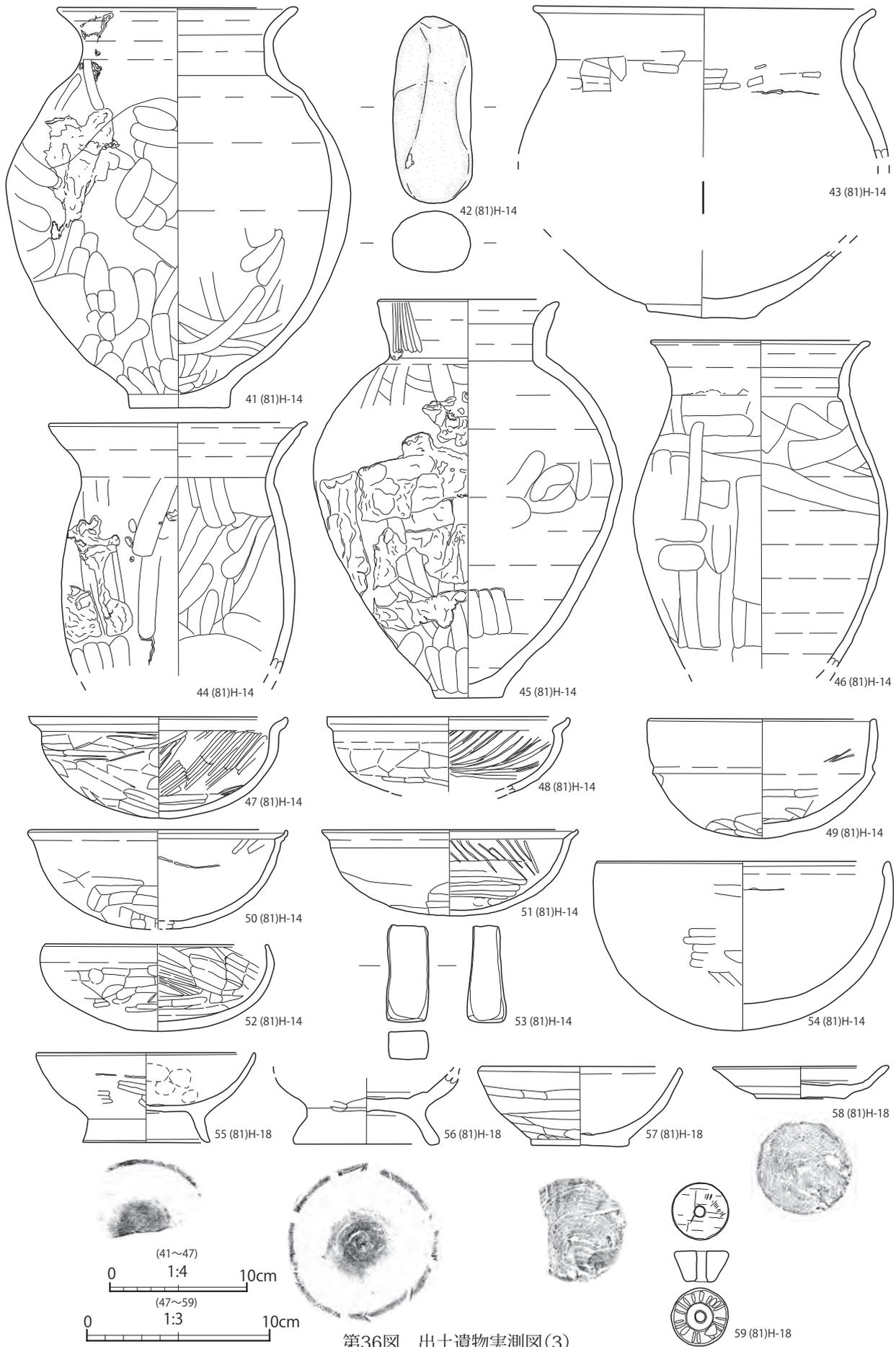
第33図 (84)W-1・2号溝跡、P-3・4号ピット、D-1号土坑

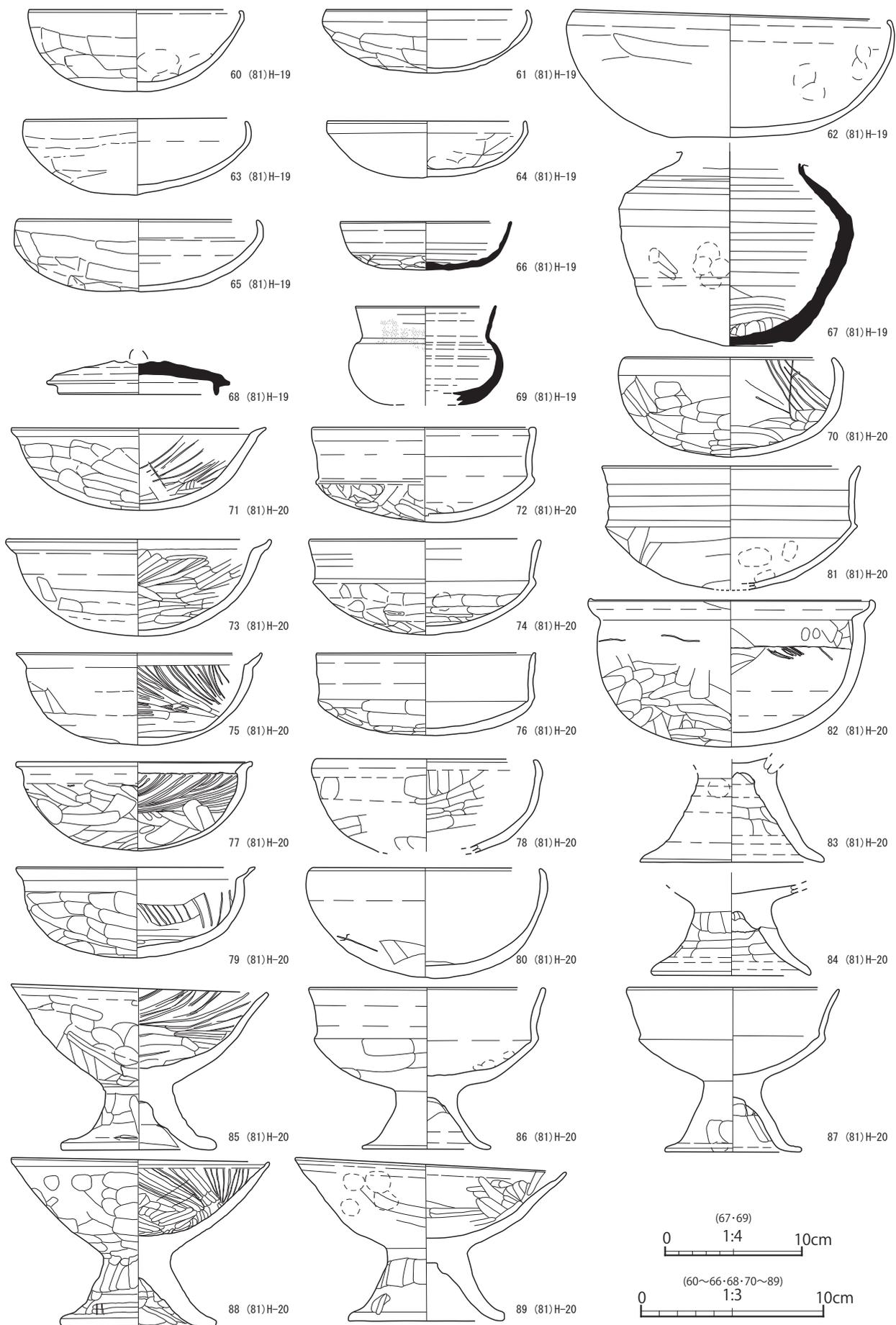


第34图 出土遺物実測図(1)

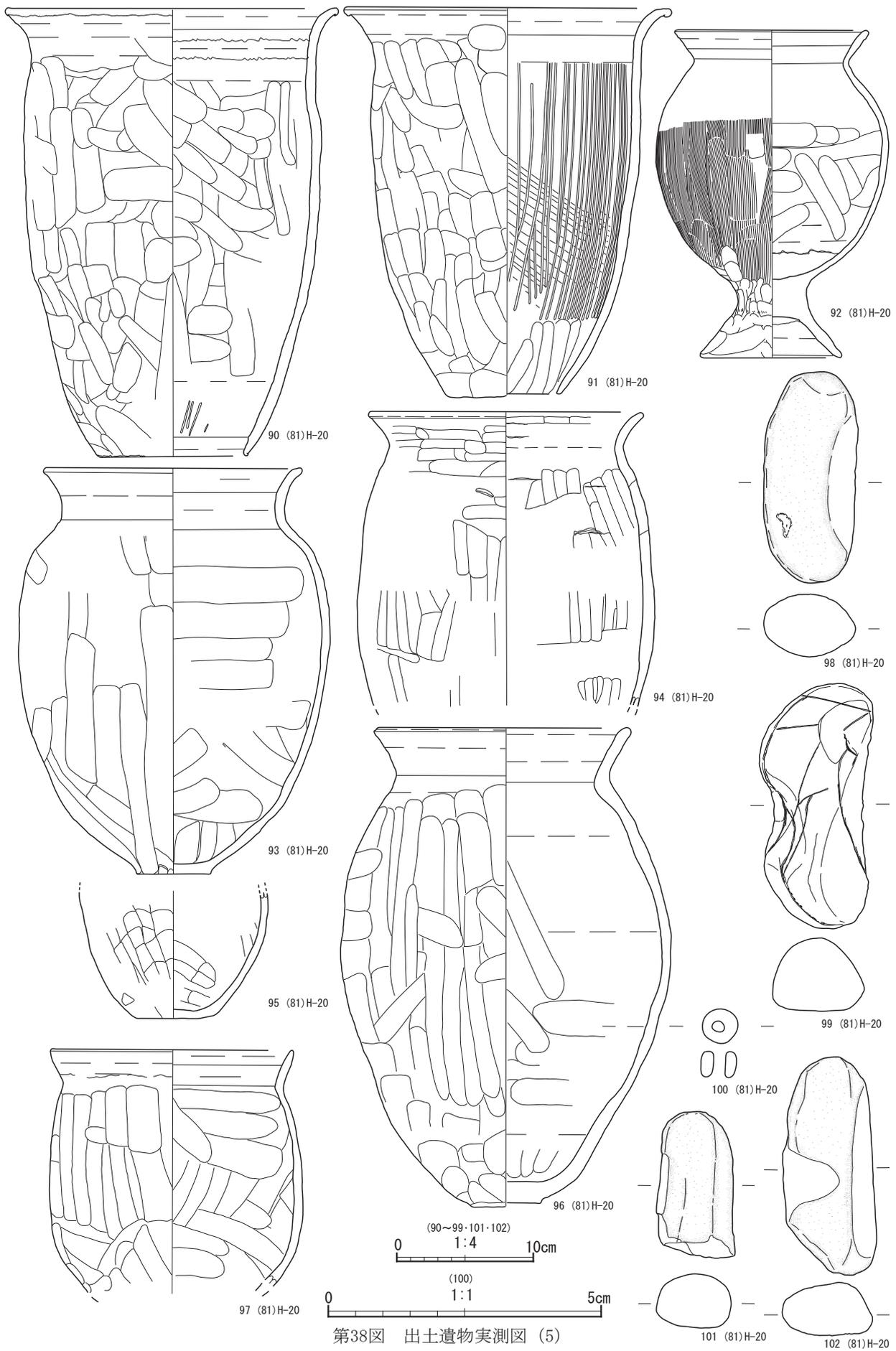


第35图 出土遺物実測図(2)

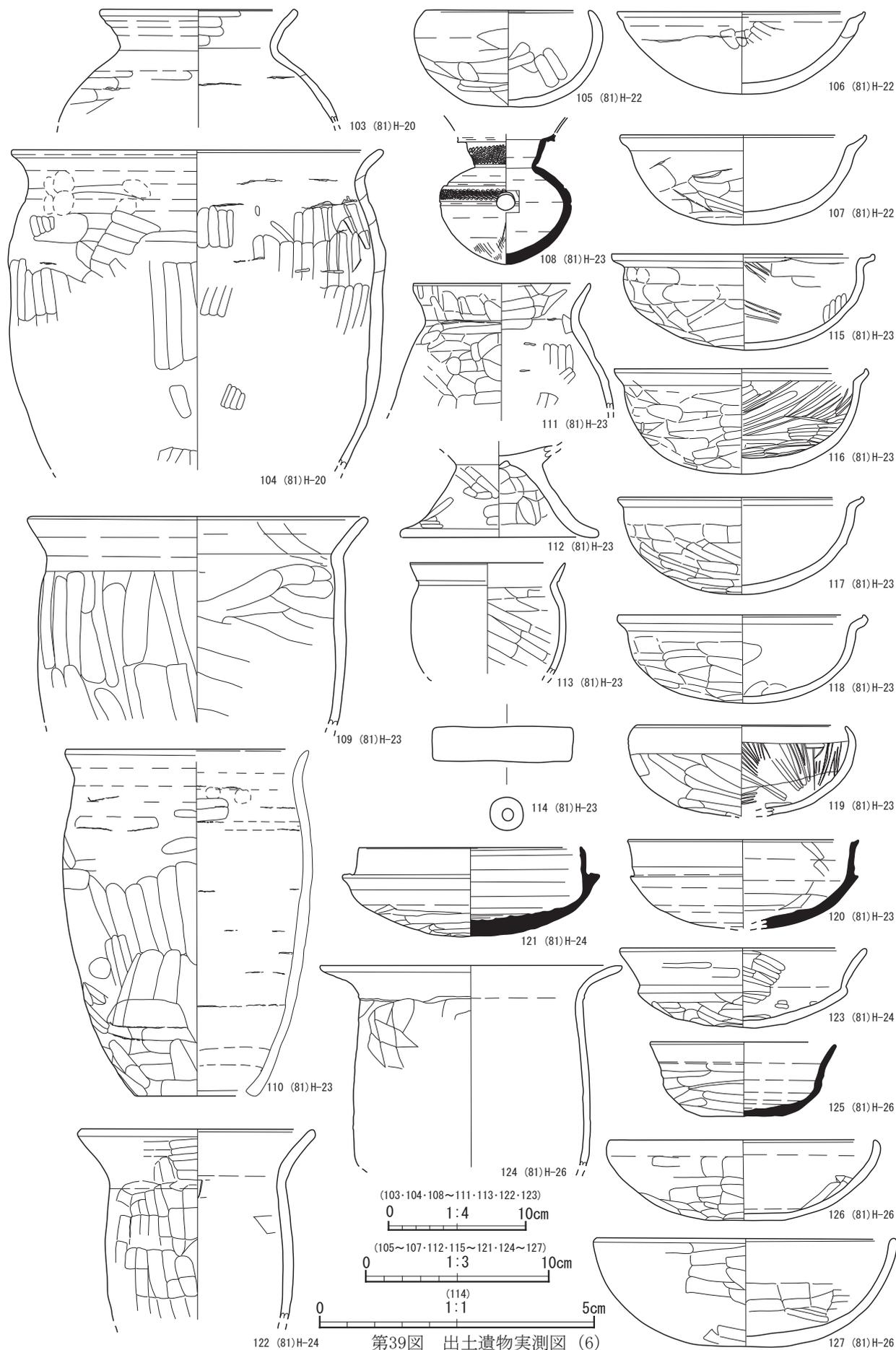




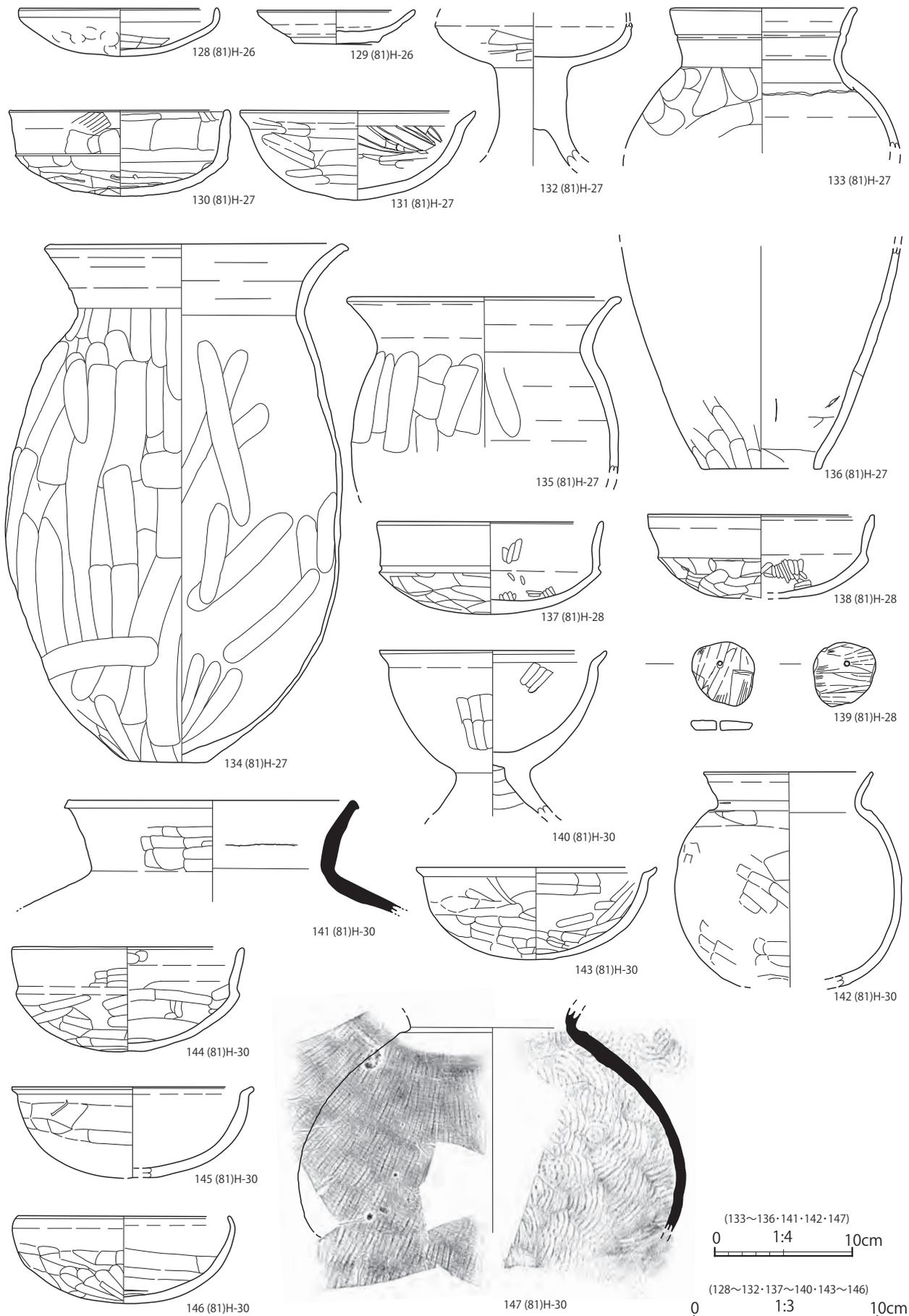
第37图 出土遺物実測図(4)



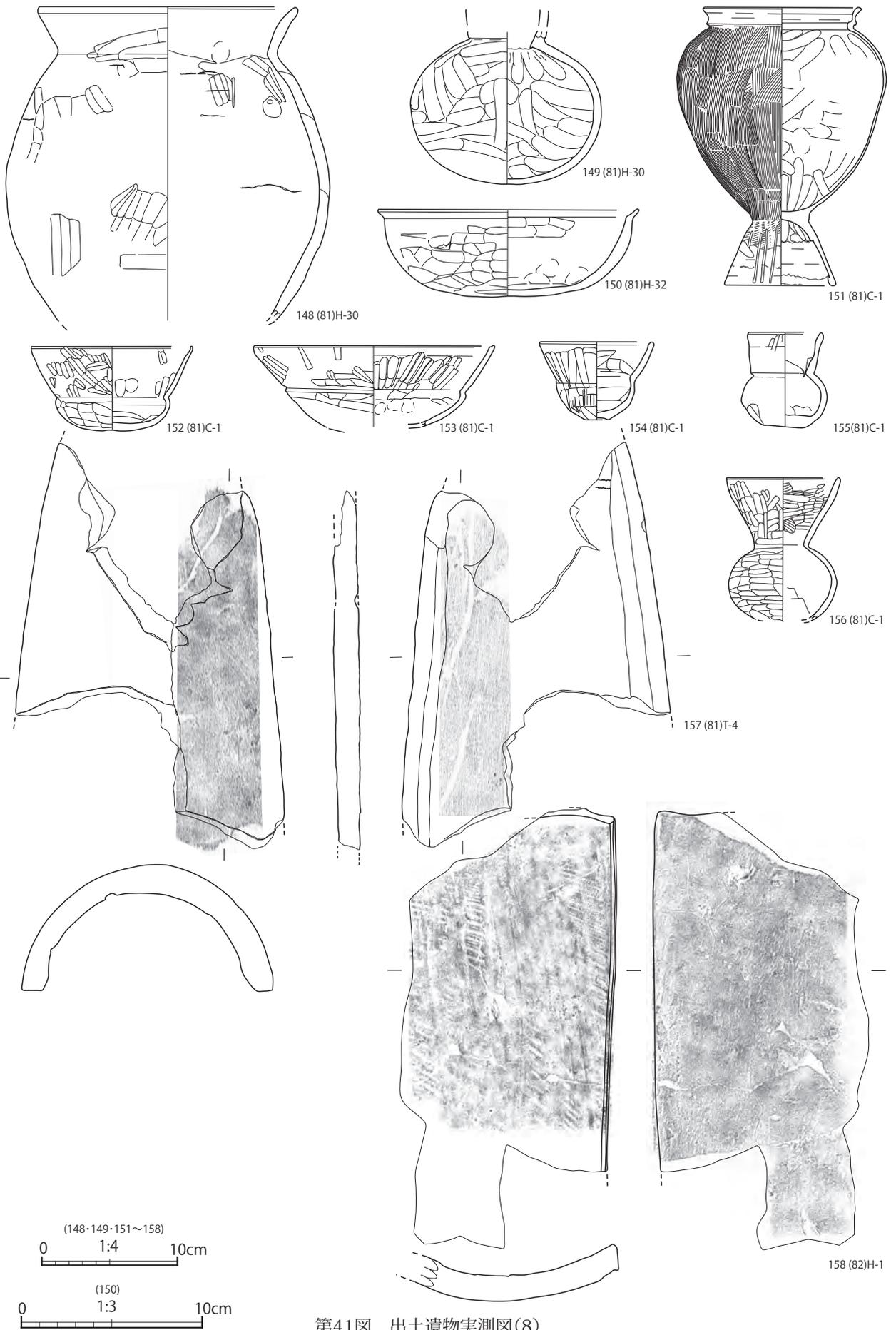
第38図 出土遺物実測図 (5)



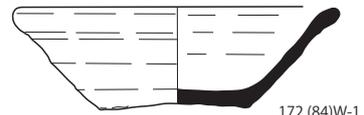
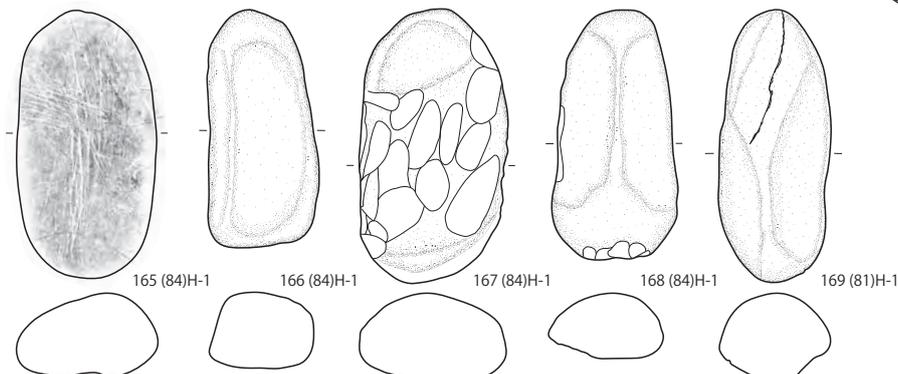
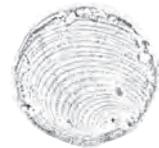
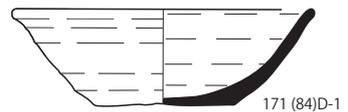
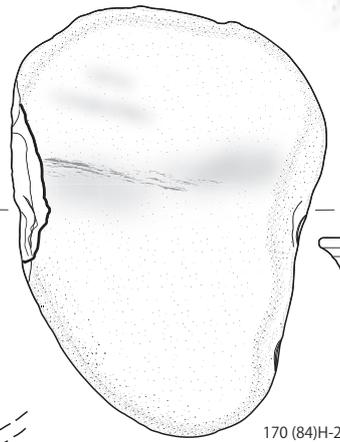
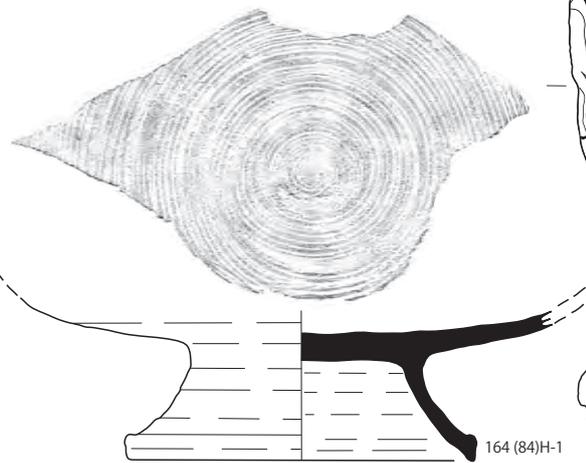
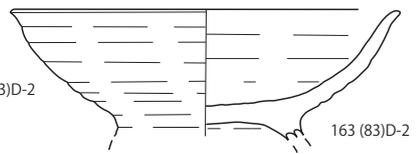
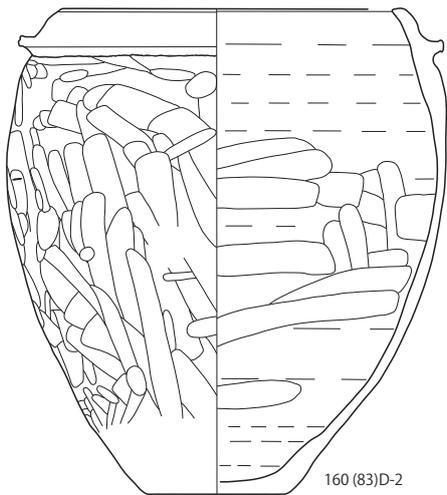
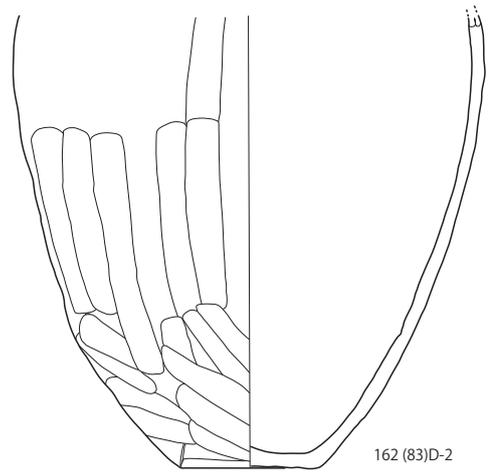
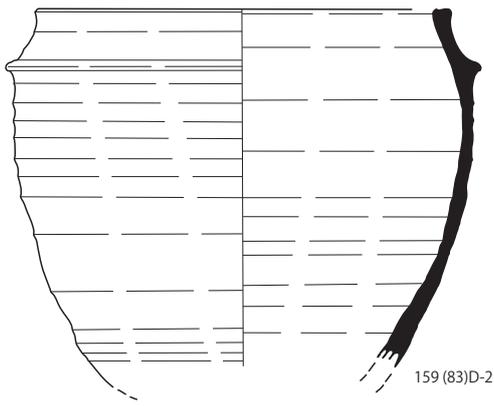
第39図 出土遺物実測図 (6)



第40図 出土遺物実測図(7)



第41図 出土遺物実測図(8)



(159·160·162·165~170)
0 1:4 10cm

(161·163·164·171·172)
0 1:3 10cm

第42図 出土遺物実測図(9)

第14表 出土遺物観察表

法量は①口径②底径③胴部最大径④器高を表し、単位はcmである。また、()は推定値、[]は現存値を表す。

番号	台帳番号	器種	法量	①胎土②焼成 ③色調④残存	器形の特徴、成・整形方法
1	(81)H-2 No.10	土師器 甗	①18.0②7.4 ③4.2	①中粒②良好(酸化)③明赤褐色(2.5YR5/6)④7/8	平底丸く膨らみを持ち内湾。頸部直立し、口縁部外傾。外面は口縁部～頸部横撫で、胴部窪削り撫で調整。内面調整は口縁部から頸部横撫で、胴部窪削り・撫で調整。
2	(81)H-3 No.カ2・7	土師器 坏	①(14.0)②欠損④(5.0)	①中粒②良好(酸化)③明赤褐色(2.5YR5/6)④1/5	丸底から膨らみを持ち内湾。口縁部短く外折。外面は口縁部横撫で、体部窪削り後撫で調整。内面は口縁部横撫で、体部撫で調整。
3	(81)H-3 No.1	土師器 甗	①17.2②欠損③32.0	①粗粒②良好(酸化)③橙色(2.5YR6/6)④2/3	底部欠損。胴部膨らみを持ち内湾し、口縁部外反。外面は口縁部横撫で、胴部縦窪削り調整。内面は口縁部横撫で、胴部横位窪削り・撫で調整。
4	(81)H-5 No.4	土師器 坏	①9.6②5.4 ④2.0	①中粒②良好(酸化)③にぶい褐色(7.5YR7/3)④4/5	平底直線的に外傾し口縁部へ至る。外面は口縁部整形、口縁部から体部回転撫で調整。内面は口縁部整形、口縁部から底部回転撫で調整。
5	(81)H-6 No.1	土師器 坏	①11.2②丸底④6.0	①中粒②良好(酸化)③にぶい赤褐色(5YR5/4)④2/3	丸底肉厚。やや膨らみを持ち内湾し、口縁部へ至る。外面は口縁部横撫で、底部から体部窪削り撫で調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で調整。
6	(81)H-7No.1	菰編石	全面煤付着	長さ17.0cm 幅7.4cm 厚さ6.0cm 重さ1.291g	
7	(81)H-9 No.18・18・20	土師器 甗	①(18.0) ④[10.0]	①細粒②酸化③にぶい褐色(7.5YR5/4)④1/8	胴部内湾し口縁部外傾。外面は口縁部窪削り後横撫で、胴部窪削り後底磨き調整。内面は輪積痕有り、口縁部窪削り後横撫で、胴部窪削り・撫で調整。
8	(81)H-9 No.14・21・22	土師器 甗	①(19.6) ④[13.5]	①細粒②酸化③褐色(5YR6/6)④1/8	胴部内湾し、口縁部外反。外面は口縁部横撫で、胴部窪削り、底磨き調整。内面は口縁部横撫で、胴部窪削り・撫で、底磨き調整。
9	(81)H-10No.19、 貯蔵穴一括	土師器 坏	①(12.2)④5.5	①細粒②良好(酸化)③赤褐色(5YR4/8)④2/3	丸底。体部膨らみを持ち外傾。口縁部やや内反。外面は口縁部横撫で、体部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、体部撫で調整。
10	(81)H-10 No.16-1	土師器 坏	①13.5②丸底④5.1	①中粒②良好(酸化)③褐色(2.5YR6/8)④完形	丸底から膨らみを持ち外傾し、口縁部短く外傾。外面は口縁部横撫で、体部から底部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、体部斜位底磨き(部分的に)、底部撫で調整。
11	(81)H-10 No.12	土師器 坏	①(12.2) ②丸底	①細粒②良好(酸化)③明赤褐色(2.5YR5/6)④3/4	丸底。体部膨らみを持ち外傾し、口縁部やや内湾。外面は口縁部横撫で、体部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、体部撫で調整。
12	(81)H-10 No.13-1	土師器 坏	①13.5②丸底④4.9	①細粒②良好(酸化)③明赤褐色(2.5YR5/8)④ほぼ完形	丸底から膨らみを持ち外傾。口縁部短く外傾。外面は口縁部横撫で、体部から底部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、体部斜位底磨き、底部撫で調整。
13	(81)H-10 No.11	土師器 坏	①15.8④(6.7)	①細粒②良好(酸化)③明赤褐色(5YR5/6)④4/5	模倣坏。丸底から体部膨らみを持ち外傾し、中央に稜を持ち口縁部長くやや外傾する。外面は口縁部横撫で、体部窪削り調整。内面は口縁部横撫で調整。
14	(81)H-10 No.13-3	土師器 坏	①12.3④5.0	①細粒②良好(酸化)③明赤褐色(2.5YR5/6)④完形	丸底から膨らみを持ち外傾。稜を持ち口縁部長く直立。外面は口縁部横撫で、体部から底部窪削り。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で調整。
15	(81)H-10 No.7	土師器 坏	①14.2④5.0	①中粒②良好(酸化)③褐色(2.5YR6/8)④完形	丸底。体部膨らみを持ち内湾し、口縁部やや外反。外面は口縁部横撫で、体部から底部窪削り後撫で調整。輪積痕有り。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で調整。
16	(81)H-10 No.6・1	土師器 坏	①(16.0) ②丸底④7.1	①細粒②良好(酸化)③明赤褐色(5YR5/6)④1/2	丸底。体部膨らみを持ち外傾。稜を持ち口縁部長くやや外反。外面は口縁部横撫で、体部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、体部指押さえ、撫で調整。
17	(81)H-10 No.15	土師器 坏	①13④5.4	①細粒②良好(酸化)③褐色(5YR6/6)④完形	丸底。やや膨らみを持ち外傾。稜を持ち口縁部長くやや外反。外面は口縁部横撫で、体部から底部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部横撫で調整。
18	(81)H-10 No.16-2	土師器 鉢	①14.3②丸底④7.0	①細粒②良好(酸化)③褐色(2.5YR6/8)④2/3	丸底から膨らみを持ち外傾し、上部直立。口縁部外傾。外面は口縁部横撫で、体部から底部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で調整。
19	(81)H-10 No.1、一括	土師器 鉢	①13.2④8.0	①細粒②良好(酸化)③にぶい赤褐色(5YR5/3)④3/5	体部膨らみを持ち外傾し、口縁部にかけて内湾する。外面は口縁部横撫で、体部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、輪積痕わずかに有り、体部撫で調整。
20	(81)H-10 No.13-2	土師器 坏	①12.8②丸底④5.3	①細粒②良好(酸化)③褐色(2.5YR6/6)④完形	丸底から膨らみを持ち外傾。稜を持ち口縁部長く外反。外面は口縁部横撫で、体部から底部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で調整。
21	(81)H-10 No.2・3	土師器 坏	①13.4④5.3	①細粒②良好(酸化)③赤褐色(5YR4/8)④2/3	丸底。体部やや膨らみを持ち外傾し、稜を持ち口縁部長く外傾する(模倣坏)。外面は口縁部横撫で、体部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、体部窪削り後撫で調整。
22	(81)H-10 No.14	土師器 鉢	①15.6②丸底③7.5	①細粒②良好(酸化)③褐色(2.5YR6/6)④完形	丸底から膨らみを持ち外傾し、口縁部外傾。外面は口縁部横撫で、体部から底部窪削り調整。底部削りにより器を安定させる。内面は口縁部横撫で、体部斜位に底磨
23	(81)H-10 No.18	土師器 甗	①16.4②5.0 ④19.1	①細粒②良好(酸化)③にぶい赤褐色(7.5YR4/6)④4/5	平底。膨らみを持って外傾。口縁部やや直線的に外傾。外面は口縁部横撫で、窪削り、胴部やや斜めに窪削り調整。平底。内面は口縁部横撫で、体部撫で調整。輪積
24	(81)H-10 貯蔵穴No.1	土師器 甗	①20.1④8.0	①細粒②良好(酸化)③明赤褐色(5YR5/6)④1/4	頸部「く」の字に外反する。肉厚。外面は口縁部横撫で、頸部横撫で調整。内面は口縁部横撫で、頸部窪削り、横撫で調整。
25	(81)H-10 No.17	土師器 甗	①18.0②欠損④11.8	①細粒②良好(酸化)③にぶい褐色(7.5YR5/3)④1/3	やや膨らみを持ちながら内傾し、口縁部外反する。外面は口縁部横撫で、体部窪削り調整(縦)。内面は口縁部横撫で、体部窪削り後撫で調整。
26	(81)H-11 No.6	土師器 坏	①(12.8)④5.0	①中粒②良好(酸化)③明赤褐色(2.5YR5/6)④1/2	丸底。丸く膨らみを持ち内湾し、口縁部へ至る。外面は口縁部横撫で、体部から底部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で、部分的に斜位の底磨き調整。
27	(81)H-11 No.1	土師器 坏	①(12.6) ②欠損④5.6	①中粒②良好(酸化)③明赤褐色(2.5YR5/6)④1/4	体部丸く膨らみを持ち内湾し、口縁部に至る。外面は口縁部横撫で、体部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、体部撫で、部分的に斜位の底磨き調整。
28	(81)H-11 No.13-2	土師器 甗	①(25.0) ②欠損④14.0	①中粒②良好(酸化)③褐色(7.5YR7/6)④破片	底部欠損。胴部直立。口縁部外反。外面は口縁部横撫で、胴部縦位窪削り調整。内面は口縁部横撫で、胴部横位窪削り撫で調整。
29	(81)H-11No.22、 掘り方、周溝内 一括	土師器 甗	①欠損②欠損	①中粒②良好(酸化)③浅黄褐色(10YR8/4)④破片	底部から胴部中まで欠損。やや膨らみを持ち内傾。頸部「く」の字に外傾。外面は頸部撫で調整。胴部縦位に刷毛目。内面は頸部横撫で、胴部縦位窪削り・撫で調整。
30	(81)H-11 No.13-1	土師器 甗	①(20.0) ②欠損④15.0	①中粒②良好(酸化)③にぶい褐色(7.5YR7/4)④破片	底部欠損。やや膨らみを持って外傾。口縁部外反。外面は口縁部横撫で、胴部縦位に窪削り調整。内面は口縁部横撫で、胴部横位窪削り・撫で調整。
31	(81)H-13 No.18・19	土師器 甗	①(16.2) ②(5.6)	①中粒②良好(酸化)③浅黄褐色(10YR8/4)④1/3	平底から丸く内湾し、口縁部外反。外面は口縁部横撫で、胴上部縦位窪削り、下部斜位窪削り、指押さえ調整。内面は口縁部横撫で、胴部窪削り・撫で指押さえ調整。
32	(81)H-13 No.29・30・33・	土師器 小型甗	①15.2②4.6 ④16.6	①中粒②良好(酸化)③褐色(7.5YR7/6)④3/4	平底から膨らみを持ち外傾し、口縁部外反。外面は口縁部横撫で、胴部縦位窪削り調整。内面は口縁部横撫で、胴部から底部撫で調整。
33	(81)H-13 No.27	土師器 鉢	①(14.0) ②欠損④7.7	①細粒②良好(酸化)③にぶい褐色(7.5YR6/4)④1/4	丸底から丸く膨らみを持ち内湾。口縁部短く外傾。外面は口縁部横撫で、体部斜位に窪削り・撫で指押さえ調整。内面は口縁部横撫で、体部窪削り撫で調整。
34	(81)H-13 No.9・20、一括	土師器 甗	①(17.0) ②(4.6)	①細粒②良好(酸化)③明赤褐色(2.5YR5/8)④1/3	平底からわずかに膨らみを持ち外傾し、口縁部へ至る。外面は口縁部横撫で、胴部縦位窪削り調整。内面は口縁部横撫で、胴部斜位窪削り調整。
35	(81)H-13 No.21・35	土師器 甗	①(20.0)②欠損④9.0	①中粒②良好(酸化)③褐色(2.5YR6/8)④1/8	胴部膨らみを持ち内湾し、頸部稜を持ち、口縁部外反。外面は口縁部横撫で、胴部窪削り・撫で調整。内面は口縁部横撫で、貼付け痕有り、胴部窪削り・撫で調整。
36	(81)H-14 No.33-1	土師器 埴	①9.7②5.2 ④7.1	①中粒②良好(酸化)③にぶい褐色(7.5YR6/4)④1/2	底部貼り付け中央窪削り。体部丸く膨らみを持ち内湾し口縁部へ至る。外面は口縁部横撫で、体部窪削り・撫で調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で調整。

番号	台帳番号	器種	法量	①胎土②焼成 ③色調④残存	器形の特徴、成・整形方法
37	(81)H-14 No.38	土師器 台付甕	①12.9②欠損 ④8.1	①細粒②良好(酸化)③にぶ い褐色(7.5YR6/4)④1/2	台部・裏底部欠損。やや膨らみを持ち外傾し、口縁部に至る。外面は裏部口縁部横 撫で、胴部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、胴部窪削り・撫で調整。
38	(81)H-14 No.39	土師器 長頸壺	①(8.7)②丸底 ④15.7	①細粒②良好(酸化)③橙色 (2.5YR6/8)④9/10	丸底から丸く膨らみを持ち内湾。頸部直立し、口縁部外傾。外面は口縁部横撫で、 頸部斜位窪磨き、体部上位撫で後窪磨き、下位から底部窪削り調整。内面は口縁部 横撫で、頸部縦位窪磨き、体部から底部撫で調整。
39	(81)H-14 No.43	土師器 甕	①8.9④11.0 穿孔φ1.0	①細粒②良好(酸化)③赤褐 (5YR4/6)④ほぼ完形	丸底。丸く膨らみを持ち内湾。頸部直立し、口縁部外反、体部最大径に穿孔。外面 は口縁部から頸部縦位窪磨き、体部肩部斜位窪磨き、体部下位から底部窪削り調 整。内面は口縁部横撫で、頸部斜位窪磨き、体部から底部撫で調整。
40	(81)H-14 No.33・2	土師器 甕	①24.4②8.6 ④26.8	①中粒②良好(酸化)③橙色 (5YR6/6)④1/2	膨らみを持ち外傾し、口縁部緩やかに外反。外面は口縁部横撫で、胴部縦位窪削り・ 指押さえ調整。内面は口縁部横撫で、胴部撫で調整。
41	(81)H-14 No.34	土師器 甕	①17.6②7.5 ④29.5	①中粒②良好(酸化)③にぶ い赤褐色(5YR5/4)④7/8	膨らみを持ち内湾し、口縁部外反。外面は口縁部横撫で、胴部窪削り ・撫で調整。内面は口縁部横撫で、胴部窪削り後・撫で調整。
42	(81)H-14一括	菰編石	1/3煤付着	竈の支脚として再使用された	可能性が高い 長さ14.0cm 幅6.2cm 厚さ4.7cm 重さ630g
43	(81)H-14 No.14・15・16・ 17	土師器 甕	①16.0②7.8 ④10.9	①細粒②良好(酸化)③橙色 (7.5YR7/6)④1/8	口縁と底部。胴部抜け。口縁部直立から大きく外反。膨らみを持ち底部に向けて 窄まる。外面は口縁部横撫で、胴部窪削り後撫で調整。内面はわずかに輪積痕有り、 口縁部横撫で、胴部撫で調整。
44	(81)H-14 No.22・25	土師器 甕	①18.9②欠損 ④18.6	①細粒②良好(酸化)③明赤 褐色(2.5YR5/6)④5/8	底部欠損。丸く膨らみを持ち内湾し、口縁部外反。胴部外面粘土付着後、火を受け た痕跡有り。外面は口縁部横撫で、胴部縦位窪削り調整。内面は口縁部横撫で、胴 平底。丸く膨らみを持ち内湾し、口縁部緩やかに外反。外面は口縁部横撫で、胴部窪 削り調整。内面は口縁部横撫で、胴部窪削り・撫で調整。
45	(81)H-14 No.25・26・31	土師器 甕	①8.0②4.9 ④29.2	①細粒②良好(酸化)③明赤 褐色(2.5YR5/6)④1/3	底部欠損。膨らみを持ち内湾し、口縁部外反。外面は口縁部横撫で、胴部窪削り調 整。内面は口縁部横撫で、胴部撫で調整。
46	(81)H-14 No.42・29、一括	土師器 甕	①16.0②欠損 ④24.0	①中粒②良好(酸化)③橙色 (5YR6/6)④5/8	底部欠損。膨らみを持ち内湾し、口縁部外反。外面は口縁部横撫で、胴部窪削り調 整。内面は口縁部横撫で、胴部撫で調整。
47	(81)H-14 No.9・10、一括	土師器 坏	①14.2④5.6	①細粒②酸化③にぶい赤褐 色(5YR4/4)④3/4	丸底。体部深く、丸く内湾。口縁部短く外折。外面は口縁部横撫で、体部窪削り調 整。内面は口縁部横撫で、体部内面放射状窪磨き調整。
48	(81)H-14 No.21	土師器 坏	①13.2④4.2	①細粒②良好(酸化)③明赤 褐色(5YR5/6)④2/3	底部欠損。体部深く、丸く内湾。口縁部短く外反。外面は口縁部横撫で、体部窪削り 調整。内面は口縁部横撫で、体部放射状に窪磨き調整。
49	(81)H-14 力No.3・6、一括	土師器 坏	①12.6④6.6	①細粒②良好(酸化)③橙色 (5YR6/8)④2/3	丸底。体部膨らみを持ち外傾し、稜を持つ。口縁部直立。外面は口縁部横撫で、体 部窪削り・撫で調整。内面は口縁部横撫で、体部窪削り・撫で調整。
50	(81)H-14 No.17・21、一括	土師器 坏	①(14.2)④5.4	①細粒②良好(酸化)③明赤 褐色(5YR5/6)④1/2	体部深く、丸く内湾。口縁部短く外折。外面は口縁部横撫で、体部窪削り調整。内 面は口縁部横撫で、体部撫で調整。
51	(81)H-14 No.22	土師器 坏	①13.8④4.7	①細粒②酸化③明赤褐色 (5YR5/6)④3/4	丸底。体部深く、丸く内湾。口縁部短く外折。外面は口縁部横撫で、体部窪削り調 整。内面は口縁部横撫で、体部撫で調整。
52	(81)H-14 No.7	土師器 坏	①(12.2)④4.8	①細粒②酸化(良)③にぶい 赤褐色(5YR4/4)④1/2	底部丸底。体部外傾。口縁部短く内傾。外面は口縁部横撫で、体部窪削り後撫で調 整。内面は口縁部から体部放射状に窪磨き調整。
53	(81)H-14	砥石	長さ7.1cm 幅2.9cm 厚さ2.0cm 重さ90g		4面使用
54	(81)H-14 No.16・24、カ一	土師器 鉢	①(16.0)④9.3	①細粒②良好(酸化)③橙色 (5YR6/6)④2/3	丸底。膨らみを持って外傾。口縁部直立。外面は口縁部横撫で、体部窪削り調整。 内面は輪積痕わずか有り、口縁部横撫で、体部撫で調整。
55	(81)H-18 No.13、	土師器 高台塊	①12.0②7.0 ④5.0	①細粒②良好(酸化)③明褐 灰色(5YR7/1)④1/4	外面はロクロ整形。底部回転糸きり後、付高台・撫で調整。膨らみを持ちながら外 傾。
56	(81)H-18 No.12	土師器 台付甕	②8.0④3.7	①細粒②良好(酸化)③にぶ い褐色(7.5YR6/3)	器内厚い。外傾して開く。低い高台。外面はロクロ整形、底部高台貼付け後撫で調 整。
57	(81)H-18 No.11	土師器 塊	①10.8②5.0 ④4.3	①細粒②良好(酸化)③浅黄 褐色(7.5YR8/6)④1/2	外面はロクロ整形。底部回転糸きり。体部直線的に外傾し、中間でやや膨らみを持 ち外傾する。
58	(81)H-18 No.5	土師器 小皿	①9.6②4.8 ④1.8	①細粒②良好(酸化)③橙色 (5YR7/6)④完形	外面はロクロ整形。底部回転糸きり。体部膨らみを持ち外傾し、口縁部外反。
59	(81)H-18No.10	紡錘車	高さ2.2cm 長径(下)4.0cm 短径(上)2.2cm		重さ48g 穿孔φ0.7cm 完形
60	(81)H-19 No.23	土師器 坏	①11.6④4.5	①細粒②良好(酸化)③橙色 (5YR6/6)④3/4	丸底。体部丸く膨らみを持ち外傾し、口縁短く内湾。外面は口縁部横撫で、体部か ら底部窪削り・撫で調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で、指押さえ調整。
61	(81)H-19 No.27・28	土師器 坏	①11.0④3.5	①細粒②良好(酸化)③橙色 (5YR6/8)④ほぼ完形	丸底。丸く膨らみを持ち内湾。口縁部短く内傾。外面は口縁部横撫で、体部から底 部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で調整。
62	(81)H-19 No.1・2	土師器 坏	①17.2④7.1	①細粒②良好(酸化)③橙色 (5YR6/6)④4/5	底部扁平。体部丸い膨らみを持ち内湾し、口縁へ至る。外面は口縁部横撫で、体部 から底部撫で調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で、指押さえ調整。
63	(81)H-19 No.14	土師器 坏	①12.0④4.2	①中粒②良好(酸化)③橙色 (5YR6/6)④3/4	丸底。やや膨らみを持ち外傾し、口縁部やや内湾し直立。外面は口縁部横撫で、体 部から底部窪削り後撫で調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で調整。
64	(81)H-19 No.7	土師器 坏	①10.8④3.1	①中粒②良好(酸化)③橙色 (5YR6/6)④7/8	丸底。体部膨らみを持ち外傾し、口縁部短く直立。外面は口縁部横撫で、体部か ら底部窪削り後撫で調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で、指押さえ調整。
65	(81)H-19 No.22、カ一括	土師器 坏	①12.2④4.0	①細粒②良好(酸化)③橙色 (5YR6/6)④3/4	底部扁平。膨らみを持ち外傾。口縁部内湾。外面は口縁部横撫で、体部から底部窪 削り調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で調整。
66	(81)H-19 No.24	須恵器 坏	①9.4④2.7	①細粒②良好(還元)③黄灰 色(2.5YR6/1)④4/5	底部扁平。膨らみを持ち外傾し、口縁部に至る。外面は口縁部から体部横撫で、底 部窪削り・撫で調整。内面は口縁部横撫で(ロクロ整形か?)体部から底部窪撫で調 整。底部不安定。胴部やや膨らみを持ち肩部部まで外傾し、頸部まで内湾。肩部部に器 最大径を有す。外面はロクロ整形、回転撫で、指押さえ調整。内面はロクロ整形、底 部撫で、胴部回転撫で調整。
67	(81)H-19 No.41・43	須恵器 壺	①欠損 ②10.5④9.3	①細粒②良好(還元)③黄灰 色(2.5YR6/1)④5/8	天井部:水平から緩やかに傾斜、返り有、摘み欠損。外面はロクロ整形、回転窪削り・ 撫で調整。摘み欠損。内面はロクロ整形、回転撫で調整。返り有。
68	(81)H-19 No.5	須恵器 蓋	①10.0④2.1	①細粒②良好(還元)③灰色 (5Y5/1)④1/2	底部欠損。体部丸く膨らみを持ち内湾。口縁部長く外傾。外面はロクロ整形、回転 撫で調整。自然袖。内面はロクロ整形、回転撫で調整。
69	(81)H-19 No.9	須恵器 壺	①(10.4)④7.3	①細粒②良好(還元)③灰色 (5Y5/1)④1/5	丸底から膨らみを持ち内湾し、口縁部内反。外面は口縁部横撫で、底部から体部窪 削り調整。内面は撫で後斜位窪磨き調整。
70	(81)H-20 No.6	土師器 坏	①11.5④5.5	①細粒②良好(酸化)③橙色 (2.5YR6/6)④完形	丸底から膨らみを持ち内湾し、口縁部内反。外面は口縁部横撫で、底部から体部窪 削り調整。内面は撫で後斜位窪磨き調整。
71	(81)H-20 No.91-1	土師器 坏	①14.0②丸底 ④4.6	①細粒②良(酸化)③明赤褐 色(2.5YR5/8)④ほぼ完形	丸底から膨らみを持ち外傾。口縁部短く外傾。外面は口縁部横撫で、体部から底 部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で後、体部斜位窪磨き調整。
72	(81)H-20 貯蔵穴No.2	土師器 坏	①12.2②丸底 ④5.2	①細粒②良好(酸化)③明赤 褐色(2.5YR5/6)④3/4	丸底から膨らみを持ち外傾。稜を持ち口縁部長く直立。外面は口縁部横撫で、体部 から底部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で調整。

番号	台帳番号	器種	法量	①胎土②焼成 ③色調④残存	器形の特徴、成・整形方法
108	(81)H-23 貯蔵穴№1	須恵器 壺	①[7.0]②丸底 ④9.5 穿孔φ13mm	①細粒②良好(還元)③黒色 (10YR2/1)④4/5	丸底。丸く膨らみを持ち内湾。頸部外傾し、口縁部短く外折。外面は頸部横撫で後短い波状刷毛目。胴部撫で後肩部と最大径に横位溝状窪削り。溝との間に斜位窪削り模様、底部窪削り調整。内面は撫で調整、自然釉。
109	(81)H-23 №1・5・6・11・24	土師器 甕	①24.4②欠損 ④15.2	①中粒②良好(酸化)③にぶ い黄褐色(10YR6/4)④1/4	底部欠損。わずかに膨らみを持ち外傾し直立。頸部口縁部外傾。外面は口縁部から頸部横撫で、胴部縦位に窪削り調整。内面は口縁部横撫で、胴部撫で調整。
110	(81)H-23 №16	土師器 甕	①17.7②8.9 ④25.2	①細粒②良好(酸化)③明赤 褐色(5YR5/6)④ほぼ完形	やや膨らみを持ち内湾し、口縁部短く外反。外面は口縁部横撫で、胴部窪削り・撫で調整。内面は口縁部横撫で、胴部撫で、指押さえ調整。
111	(81)H-23 №18	土師器 甕	①12.8②欠損 ④9.3	①細粒②良好(酸化)③明赤 褐色(2.5YR5/6)④1/3	底部欠損。胴部やや内湾し、口縁部外反。外面は口縁部横撫で、胴部窪削り調整。内面は口縁部から窪削り後撫で、胴部窪削り後撫で調整。
112	(81)H-23 №23	土師器 高杯	④5.0 裾部径(10.8)	①中粒②良好(酸化)③明赤 褐色(2.5YR5/8)④脚部1/2	外傾し開く。裾部で外反。外面は撫で調整。内面は窪削り後撫で調整。裾部先端横撫で調整。
113	(81)H-23 カ一括	土師器 小型甕	①(11.4)②欠 ④8.2	①細粒②良好(酸化)③赤褐 色(2.5YR4/8)④1/8	底部欠損。膨らみを持ち内湾し、口縁部外傾。外面は口縁部横撫で、胴部撫で調整。内面は口縁部横撫で、胴部窪削り撫で調整。
114	(81)H-23 №13	管玉	長さ2.6cm 幅0.7cm厚さ0.6cm 重さ1.76g 穿孔0.23cm		
115	(81)H-23 カ一括	土師器 杯	①14.4②丸底 ④5.3	①細粒②良好(酸化)③明赤 褐色(2.5YR5/6)④4/5	丸底。膨らみを持ち内湾。口縁短く外折。外面は口縁部横撫で、体部から底部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で後磨き調整。
116	(81)H-23 №10・49	土師器 杯	①13.6④5.8	①細粒②良好(酸化)③赤褐 色(2.5YR4/6)④完形	丸底で膨らみを持ち内湾。口縁短く外折。外面は口縁部横撫で、体部から底部窪削り・撫で調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で後斜位磨き調整。
117	(81)H-23 №43・44	土師器 杯	①13.4④5.3	①中粒②良好(酸化)③明赤 褐色(2.5YR5/8)④9/10	丸底。丸く膨らみを持ち内湾。口縁部短く外折。外面は口縁部横撫で、体部から底部窪削り・撫で調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で調整。
118	(81)H-23 №17	土師器 杯	①13.6②丸底 ④4.9	①中粒②良好(酸化)③橙色 (2.5YR6/6)④完形	丸底。膨らみを持ち内湾。口縁部短く外折。外面は口縁部横撫で、体部から底部窪削り撫で調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で調整。
119	(81)H-23 カ№1	土師器 杯	①11.4④5.0	①細粒②良好(酸化)③橙色 (7.5YR6/6)④9/10	丸底。やや膨らみを持ち内湾し、口縁部に至る。外面は口縁部横撫で、体部から底部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で後斜位磨き調整。
120	(81)H-23 №7・50	須恵器 杯	①(12.6) ②丸底④4.9	①細粒②良好(還元)③褐灰 色(10YR5/1)④1/2	丸底から膨らみを持ち外傾し、稜を持ち口縁部長く直立。外面は口縁部撫で、体部から底部窪削り、窪撫で調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で調整。
121	(81)H-24 №10	須恵器 杯	①12.0④4.9	①細粒②良好(還元)③カ グ黒色(10Y3/1)④3/4	丸底。やや膨らみを持ち外傾。大きな稜を持ち、口縁部やや長く内傾。外面は口縁部横撫で、稜横撫で、体部から底部窪削り・撫で調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部同心円状に撫で調整。
122	(81)H-24 №3	土師器 甕	①(17.3) ②欠損④14.1	①粗粒②良好(酸化) ③橙色(2.5YR6/6)④破片	底部欠損。胴部やや膨らみを持ち口縁部外反。外面は口縁部横撫で、体部縦位に窪削り調整。内面は口縁部横撫で、体部窪削り後撫で調整。
123	(81)H-24 №8・6	土師器 杯	①13.4②丸底 ④4.4	①中粒②良好(酸化)③橙色 (5YR6/6)④1/2	丸底。体部やや膨らみを持ち外傾。稜を持ち口縁部長く外反。外面は口縁部横撫で、体部から底部窪削り・撫で調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で、部分的に斜位の磨き調整。
124	(81)H-26 カ1№2・4	土師器 甕	①(22.0)②欠 ④[14.8]	①細粒②良好(酸化)③橙色 (2.5YR6/8)④1/4	長胴甕。底部欠損。胴部やや膨らみを持ち内傾し、口縁大きく外反(竈構築材か)。外面は口縁部横撫で、胴部窪削り(斜位)調整。内面は口縁部横撫で、胴部撫で調整。
125	(81)H-26 一括	須恵器 壺	①(10.2) ②(7.0) ④4.1	①細粒②良好(還元)③黒褐 色(10YR2/2)④1/4	平底からやや膨らみを持ち外傾し、中間より口縁部にかけてやや外反。灰釉。外面はロクロ整形、底部回転窪削り後撫で、体部から口縁部ロクロ撫で調整。内面はロクロ撫で調整。
126	(81)H-26 カ1№16	土師器 杯	①14.4④4.5	①細粒②良好(酸化)③橙色 (5YR6/6)④1/2	底部扁平からやや膨らみながら外傾し、口縁部やや内湾する。外面は口縁部横撫で、体部から底部窪削り後撫で調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で調整。
127	(81)H-26 カ1№3	土師器 杯	①(16.2) ②扁平④6.0	①細粒②良好(酸化)③明赤 褐色(2.5YR5/6)④1/3	底部扁平から膨らみを持って外傾し、そのまま口縁部外傾。外面は口縁部横撫で、体部から底部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、体部窪削り撫で調整。
128	(81)H-26 カ2№4	土師器 杯	①10.6④2.5	①細粒②良好(酸化)③橙色 (5YR6/6)④1/2	丸底からやや膨らみを持ち外傾し、口縁部短く直立。外面は口縁部横撫で、体部から底部撫で、指押さえ調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で調整。
129	(81)H-26 カ2№4	土師器 杯	①8.6②4.6 ④1.8	①細粒②良好(酸化)③にぶ い黄褐色(10YR7/4)④2/3	平底からやや膨らみを持ち外傾し、口縁部やや外反。外面はロクロ整形、底部回転窪削り後撫で調整。内面はロクロ撫で調整。
130	(81)H-27 №5	土師器 杯	①12.0④4.7	①細粒②良好(酸化)③明赤 褐色(2.5YR5/6)④完形	丸底。体部膨らみを持ち外傾。稜を持ち口縁部長くやや外傾。外面は口縁部横撫で、体部から底部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部横撫で調整。
131	(81)H-27 貯穴一括	土師器 杯	①12.8④4.9	①細粒②良好(酸化)③明赤 褐色(2.5YR5/6)④3/4	丸底。膨らみを持ち外傾。口縁部短く外折。外面は口縁部横撫で、体部から底部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で後斜位に磨き調整。
132	(81)H-27 貯穴一括	土師器 高杯	①欠損④8.0 裾部径欠損	①細粒②良好(酸化)③明赤 褐色(2.5YR5/8)④破片	環部丸底。やや膨らみを持ち外傾。稜を持つ。脚部:器肉厚長い。直立し裾部へ開く。外面は環部窪削り・撫で調整。脚部:環部貼付け後撫で調整。内面は環部:底部撫で、脚部:撫で調整。
133	(81)H-27 №2	土師器 甕	①13.6②欠損 ④10.6	①中粒②良好(酸化)③橙色 (2.5YR6/6)④1/3	底部から胴部欠損。膨らみを持ち内湾し、頸部横位に溝有り。口縁部緩やかに外傾。外面は口縁部横撫で、体部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、体部横撫で調整。
134	(81)H-27 №1-2	土師器 甕	①22.2②5.9 ④37.9	①中粒②良好(酸化)③にぶ い橙色(7.5YR7/4)④7/8	平底。やや膨らみを持ち外傾し、中程で直立し内傾。頸から口縁部外反。外面は口縁部横撫で、胴部から底部縦位窪削り調整。内面は口縁部横撫で、胴部から底部斜位窪削り後・撫で調整。
135	(81)H-27 貯蔵穴一括	土師器 甕	①20.0②欠損 ③12.2	①中粒②良好(酸化)③橙色 (5YR6/6)④破片	底部欠損。胴部肩部は膨らみを持ち内湾。口縁部緩やかに外反。外面は口縁部横撫で、胴部肩部縦位に窪削り調整。内面は口縁部横撫で、胴部肩部窪削り・撫で調整。
136	(81)H-27 №1-1	土師器 甕	①欠損②7.6 ④16.3	①中粒②良好(酸化)③にぶ い橙色(7.5YR6/4)④破片	底部から胴部直線的に外傾。外面は胴部から底部縦位窪削り調整。内面は窪削り・撫で調整。輪積痕有り。
137	(81)H-28 貯蔵穴№1	土師器 杯	①12.4②丸底 ④5.1	①細粒②良好(酸化)③にぶ い赤褐色(5YR5/4)④3/4	丸底から膨らみを持ち外傾。稜を持ち口縁部長く直立。外面は口縁部横撫で、体部から底部窪削り後撫で調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で調整。
138	(81)H-28 貯蔵穴№2	土師器 杯	①12.4②丸底 ④4.6	①細粒②良好(酸化)③明赤 褐色(5YR5/6)④4/5	丸底から膨らみを持ち外傾。稜を持ち口縁部長く外傾。外面は口縁部横撫で、体部窪削り調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で調整。
139	(81)H-28一括	石製模造品	有孔円 長径3.8cm 短径3.3cm 厚さ0.5cm 重さ13.15g 穿孔0.2cm		
140	(81)H-30 №40	土師器 高杯	①(12.4)④9.0 裾頸部破損	①中粒②良好(酸化)③明赤 褐色(2.5YR5/6)④破片	環部:丸底。やや膨らみを持ち外傾し口縁部外折。脚部:器肉厚く外傾し開く。裾部欠損。外面は環部口縁部横撫で、体部窪削り調整。脚部:部分的に磨き、撫で調整。内面は環部:口縁部横撫で、体部から底部撫で、部分的に磨き調整。脚部:窪削り・撫で調整。

番号	台帳番号	器種	法量	①胎土②焼成 ③色調④残存	器形の特徴、成・整形方法
141	(81)H-30 No.13	須恵器 甕	①(21.0) ②欠損④7.8	①細粒②良好(還元)③褐灰 (10YR6/1)④破片	肩部やや膨らみを持ち口縁部大きく外反。自然釉。外面は口縁部撫で、肩部撫で調整。内面は口縁部撫で、肩部撫で後叩き調整。
142	(81)H-30 No.53・55・56・	土師器 甕	①12.3②欠損 ④15.8	①細粒②良好(酸化)③橙色 (5YR6/6)④2/3	底部欠損。丸く膨らみを持ち口縁部外傾。外面は口縁部横撫で、胴部斜位に筥削り調整。内面は口縁部横撫で、胴部撫で調整。
143	(81)H-30 No.47	土師器 坏	①13.0②丸底 ④5.1	①中粒②良好(酸化)③明赤 褐色(2.5YR5/6)④5/6	丸底。丸く膨らみを持ち内湾。口縁部外折。外面は口縁部横撫で、体部から底部筥削り・撫で調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で調整。
144	(81)H-30 No.46・貯穴一括	土師器 坏	①12.6②丸底 ④5.7	①中粒②良好(酸化)③明赤 褐色(2.5YR5/6)④4/5	丸底。膨らみを持ち外傾する。稜を持ち口縁部長く外傾。外面は口縁部横撫で、体部から底部筥削り・撫で調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部撫で調整。
145	(81)H-30 No.89	坏	①13.2②丸底 ④5.0 穿孔	①中粒②良好(酸化)③明赤 褐色(2.5YR5/6)④ほぼ完形	丸底。有孔。体部丸く膨らみを持ち外傾し、口縁部短く外折。(使用目的は甕か)外面は口縁部横撫で、体部筥削り、底部撫で調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部丸底。体部丸く膨らみを持ち内湾し、口縁部短く内傾。外面は口縁部横撫で、体部から底部筥削り後撫で調整。内面は口縁部横撫で、体部から底部横撫で調整。
146	(81)H-30 No.68	土師器 坏	①11.6②丸底 ④4.8	①細粒②良好(酸化)③橙色 (5YR6/6)④完形	底部欠損。丸く膨らみを持ち内湾。口縁部欠損。外面は撫で、叩き調整。内面は撫で、叩き調整。
147	(81)H-30 No.10・12・26	須恵器 甕	①欠損②欠損 ④16.0	①細粒②良好(還元)③灰色 (5YR6/1)④破片	底部欠損。丸く膨らみを持ち内湾。口縁部欠損。外面は撫で、叩き調整。内面は撫で、叩き調整。
148	(81)H-30 貯穴一括	土師器 甕	①19.0②欠損 ④23.3	①中粒②良好(酸化)③にぶ い褐色(7.5YR6/4)④1/3	底部欠損。膨らみを持ち内湾。口縁部「く」の字外反。外面は口縁部横撫で、体部筥削り・撫で調整。内面は口縁部横撫で、体部撫で調整。
149	(81)H-30 掘り方一括	土師器 壺	②丸底④11.2	①細粒②良好(酸化)③明赤 褐色(2.5YR5/8)④3/5	丸底。丸く膨らみを持ち内湾。口縁部欠損。外面は体部から底部筥削り・撫で調整。赤色塗彩。内面は撫で調整。
150	(81)H-32 No.2・6	土師器 坏	①14.4④4.8	①中粒②良好(酸化)③橙色 (2.5YR6/8)④1/2	底部扁平。膨らみを持ち外傾。口縁部短く外折。外面は口縁部横撫で、体部から底部筥削り調整。内面は口縁部横撫で、体部横撫で、指押さえ、底部撫で調整。
151	(81)C-1 No.2	土師器 台付甕	①11.7②8.3 ④20.6 裾部径8.36	①細粒②良好(酸化)③にぶ い褐色(7.5YR7/3)④7/8	甕部丸く膨らみを持ち内湾し、口縁部S字に外傾。脚部外傾し開き煤尾は内側へ折り返し有り。外面は甕部口縁部横撫で、胴部縦位に刷毛目。脚部撫で後上部を斜位に短く刷毛目調整。内面は甕部口縁部横撫で、胴部撫で・指押さえ。脚部撫で調整。底部扁平。中央に窪み有り。膨らみを持ち外傾し、内湾する。口縁部長く外傾。外面は口縁部横撫で、底部筥削り調整。内面は口縁部横撫で、底部撫で調整。
152	(81)C-1 No.3	土師器 罎 (窪み有り)	①11.9②扁平	①細粒②良好(酸化)③灰白 色(7.5YR8/2)④ほぼ完形	底部欠損。環部体部やや膨らみを持ち外傾し、口縁部長く外傾。外面は口縁部横撫で、一部撫で、体部筥削り後撫で調整。赤色塗彩跡有り(内外面)。内面は口縁部斜
153	(81)C-1 No.1	土師器 高坏	①17.7④5.1	①細粒②良好(酸化)③にぶ い黄褐色(10YR7/4)④1/2	底部平底から膨らみを持ち外傾し、口縁部長く外傾。外面は口縁部縦位の筥磨き、頸部縦位筥削り調整。内面は口縁部横撫で、頸部から底部撫で調整。
154	(81)C-1 一括	土師器 罎	①8.2②1.1 ④5.7	①細粒②良好(酸化)③橙色 (5YR6/6)④3/5	底部扁平な底部から膨らみを持ち、口縁部は長く外傾。外面は口縁部横撫で調整。内面は口縁部横撫で、底部撫で、指押さえ調整。
155	(81)C-1 No.4	土師器 罎	①5.4②3.0 ④7.0	①細粒②良好(酸化)③にぶ い褐色(7.5YR7/3)④5/6	底部欠損から膨らみを持ち内湾し、口縁部長く外傾。外面は口縁部縦位に筥削り後横撫で、体部縦位に筥削り後撫で調整。内面は口縁部斜位に筥磨き、体部撫で調整。一枚作り。外面は凸面、撫で調整。側面面取り一回。内面は凹面布目。
156	(81)C-1 一括	土師器 罎	①8.2②欠損 ④10.7	①細粒②良好(酸化)③明褐 色(7.5YR5/6)④3/5	一枚作り。外面は凸面、撫で調整。側面面取り一回。内面は凹面布目有り。叩き痕有り。
157	(81)T-4 No.21	瓦 (平瓦)	長さ(30.0) 幅(19.5)	①中粒②良好③にぶい褐色 (7.5YR6/4)④破片	一枚作り。外面は凸面、撫で調整。側面面取り一回。内面は凹面布目有り。叩き痕有り。
158	(82)H-1 No.4・7	瓦 (平瓦)	長さ(32.7) 幅(15.6)	①中粒②良好③にぶい褐色 (7.5YR6/4)④破片	一枚作り。外面は凸面、撫で調整。側面面取り一回。内面は凹面布目有り。叩き痕有り。
159	(83)D-2 No.6・7・8・9・83	須恵器 羽釜	①21.7②欠損 ④[16.0]	①細粒②良好(還元)③灰白 色(10YR7/1)④1/3	底部欠損。胴部上半部膨らむ。鈔部貼付けほぼ水平。唇部平坦。口縁部内傾。外面はロクロ整形(輪積整形後)、回転撫で調整。内面はロクロ整形、回転撫で調整。
160	(83)D-2 No.11	土師器 羽釜	①17.8②(7.3) ④25.7	①中粒②良好(酸化)③明赤 褐色(2.5YR5/6)④3/4	平底。やや膨らみを持ちながら内湾し口縁部へ至る。鈔部貼付け。粗雑。外面は輪積成形、口縁部横撫で、胴部横位・斜位筥削り・撫で調整。内面は口縁部横撫で、胴部撫で調整。
161	(83)D-2 No.10	土師器 坏	①10.5②5.0 ④3.6	①細粒②良好(酸化)③にぶ い褐色(7.5YR7/4)④ほぼ完	平底からやや膨らみを持ち外傾し口縁部へ至る。外面はロクロ整形。底部回転系切り後撫で、体部から口縁部回転撫で調整。内面はロクロ整形、回転撫で調整。
162	(83)D-2 No.1・4・13・15・ 20	土師器 甕	①欠損②7.0 ④24.0	①中粒②良好(酸化)③にぶ い褐色(7.5YR5/3)④1/3	平底。胴部やや膨らみを持ち外傾。胴部上位縦位に筥削り、下部斜位に筥削り調整。内面は胴部から底部撫で調整。
163	(83)D-2 No.3	土師質 高台塊	①15.5②高台 破損④5.1	①細粒②良好(酸化)③にぶ い褐色(7.5YR7/4)④3/4	高台破損から膨らみを持ち外傾。口縁部やや外反。外面はロクロ整形、底部回転系切り付高台。内面はロクロ整形、回転撫で調整。
164	(84)H-1 No.10・84	須恵器 高盤	④6.0 裾部径13.7	①細粒②良好(還元)③褐灰 色(10YR6/1)④高台のみ	外反して開く。高めの高台。外面はロクロ整形、底部高台貼付け後撫で、回転撫で調整。内面はロクロ整形、回転撫で調整、刷毛目有り。
165	(84)H-1 No.5	菰網石	先刻あり 長さ14.2cm 幅7.4cm 厚さ4.4cm 重さ750g		
166	(84)H-1 No.7	菰網石	長さ12.6cm 幅5.5cm 厚さ4.0cm 重さ530g		
167	(84)H-1 No.2	菰網石	長さ14.5cm 幅7.7cm 厚さ4.7cm 重さ820g		
168	(84)H-1 No.6	菰網石	長さ13.2cm 幅6.6cm 厚さ3.5cm 重さ490g		
169	(84)H-1 No.8	菰網石	長さ14.4cm 幅5.9cm 厚さ4.8cm 重さ630g		
170	(84)H-2 No.3	磨り石	煤付着 長さ28.0cm 幅16.6cm 厚さ6.6cm 重さ4070g		
171	(84)D-1 No.6	須恵器 坏	①11.8②5.4 ④3.8	①細粒②良好(還元)③明褐 灰色(7.5YR7/1)④完形	平底からやや膨らみを持ち外傾し、口縁部やや外反。外面はロクロ整形、底部回転系切り、回転撫で調整。内面はロクロ整形、回転撫で調整。
172	(84)W-1 No.1	須恵器 坏	①12.5②5.9 ④3.8	①細粒②良好(還元)③明褐 灰色(7.5YR7/1)④ほぼ完形	平底から直線的に外傾し、口縁部でやや外反。外面はロクロ整形、底部回転系切り、体部から口縁部回転撫で調整。内面はロクロ整形、回転撫で調整。

写真図版



元総社蒼海遺跡群(81)全景



(81)H-1号住居跡(西から)



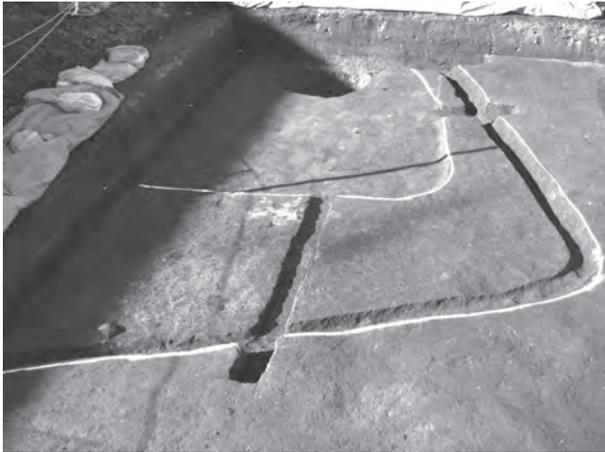
(81)H-2号住居跡(南から)



(81)H-3号住居跡(北から)



(81)H-4号住居跡(東から)



(81)H-5・6号住居跡(東から)



(81)H-7号住居跡(北から)



(81)H-8号住居跡竈(東から)



(81)H-9号住居跡(南から)



(81)H-10号住居跡(西から)



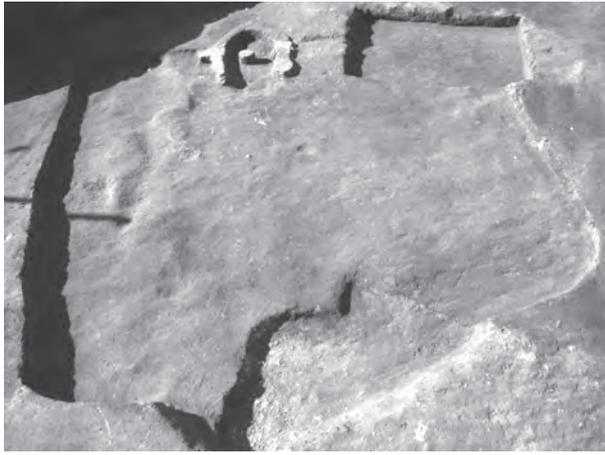
(81)H-11号住居跡(西から)



(81)H-13号住居跡(西から)



(81)H-14号住居跡遺物出土状況(西から)



(81)H-15号住居跡(東から)



(81)H-16号住居跡(西から)



(81)H-17号住居跡(西から)



(81)H-18号住居跡(西から)



(81)H-19号住居跡(西から)



(81)H-20号住居跡(南から)



(81)H-21号住居跡(西から)



(81)H-22号住居跡(西から)



(81)H-23号住居跡(西から)



(81)H-24号住居跡(南から)



(81)H-25号住居跡(西から)



(81)H-26号住居跡(西から)



(81)H-27号住居跡(南から)



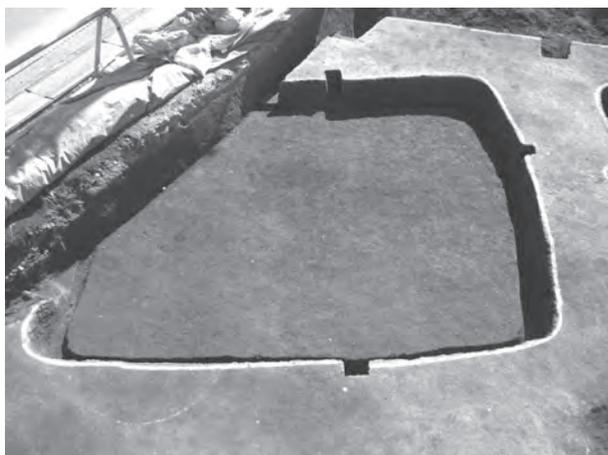
(81)H-28号住居跡(西から)



(81)H-29号住居跡・D-14号土坑(西から)



(81)H-30号住居跡(西から)



(81)H-31号住居跡(北から)



(81)H-32号住居跡(西から)



(81)T-1号竪穴状遺構(西から)



(81)T-2号竪穴状遺構(北から)



(81)T-3号竪穴状遺構(西から)



(81)T-4号竪穴状遺構(西から)



(81)T-5号竪穴状遺構(北から)



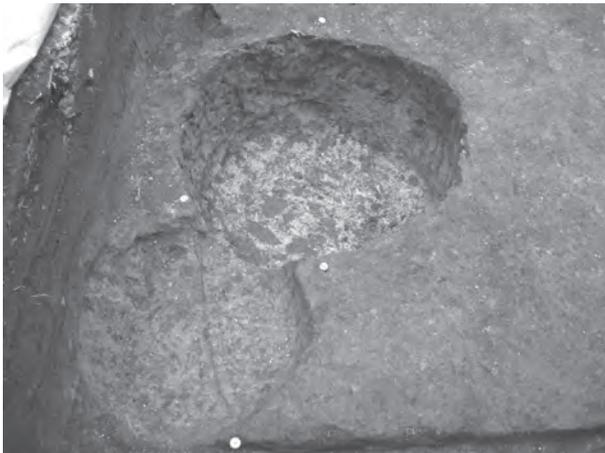
(81)T-6号竪穴状遺構(西から)



(81)T-7号竖穴状遺構(東から)



(81)T-8号竖穴状遺構(西から)



(81)D-1・2号土坑(南から)



(81)D-3～7号土坑(南から)



(81)D-8号土坑(西から)



(81)D-13号土坑(西から)



(81)W-1号溝跡(北から)



(81)方形周溝墓 [C-1号溝](南西から)



元総社蒼海遺跡群(82)全景(西から)



(82)H-1号住居跡(西から)



(82)H-2・3号住居跡(西から)



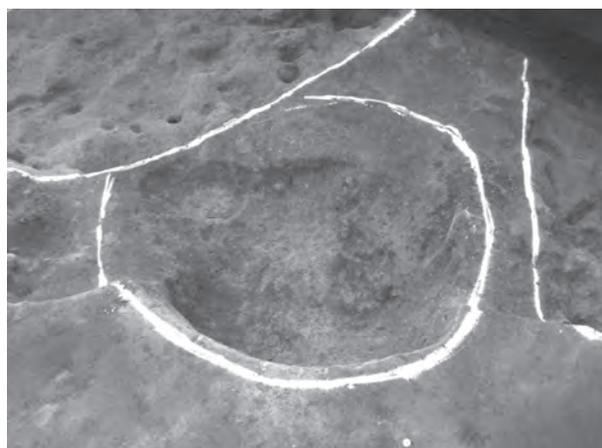
(82)H-4号住居跡(北から)



(82)D-1号土坑(南から)



(82)D-2号土坑(南から)



(82)D-3号土坑(北から)



(82)D-4号土坑(北から)



元総社蒼海遺跡群(83)全景(北から)



(83)D-1号土坑(東から)



(83)D-2号土坑(南から)



(83)W-1号溝跡(北から)



(83)D-2号土坑遺物出土状況(南から)



元総社蒼海遺跡群(84)全景(東から)



元総社蒼海遺跡群(84)全景(南から)



(84)H-1・2号住居跡(北から)



(84)H-3・4号住居跡(西から)



(84)D-1号土坑(西から)



(84)柱穴列・W-1号溝跡(東から)



(84)W-2号溝跡(南から)



(84)柱穴列(南東から)

PL10



1 (81)H-2



2 (81)H-3



3 (81)H-3



4 (81)H-5



5 (81)H-6



6 (81)H-7



7 (81)H-9



8 (81)H-9



9 (81)H-10



10 (81)H-10



11 (81)H-10



12 (81)H-10



13 (81)H-10



14 (81)H-10



15 (81)H-10



16 (81)H-10



17 (81)H-10



18 (81)H-10



19 (81)H-10



23 (81)H-10



20 (81)H-10



21 (81)H-10



22 (81)H-10



24 (81)H-10



25 (81)H-10



26 (81)H-11



27 (81)H-11



28 (81)H-11



29 (81)H-11



30 (81)H-11



31 (81)H-13



32 (81)H-13



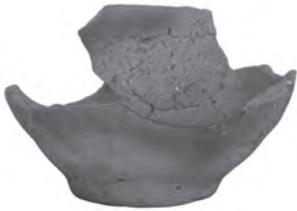
33 (81)H-13



34 (81)H-13



35 (81)H-13



36 (81)H-14



37 (81)H-14



38 (81)H-14



39 (81)H-14



40 (81)H-14



41 (81)H-14



44 (81)H-14



46 (81)H-14



43 (81)H-14



42 (81)H-14



45 (81)H-14



47 (81)H-14

PL12



48 (81)H-14



49 (81)H-14



50 (81)H-14



51 (81)H-14



52 (81)H-14



53 (81)H-14



54 (81)H-14



55 (81)H-18



56 (81)H-18



57 (81)H-18



58 (81)H-18



59 (81)H-18



60 (81)H-19



61 (81)H-19



62 (81)H-19



63 (81)H-19



64 (81)H-19



65 (81)H-19



66 (81)H-19



67 (81)H-19



68 (81)H-19



69 (81)H-19



70 (81)H-20



71 (81)H-20



72 (81)H-20



73 (81)H-20



74 (81)H-20



75 (81)H-20



76 (81)H-20



77 (81)H-20



78 (81)H-20



79 (81)H-20



80 (81)H-20



81 (81)H-20



82 (81)H-20



83 (81)H-20



84 (81)H-20



85 (81)H-20



86 (81)H-20



87 (81)H-20



88 (81)H-20



89 (81)H-20



90 (81)H-20



91 (81)H-20



93 (81)H-20



94 (81)H-20



95 (81)H-20



96 (81)H-20



97 (81)H-20



98 (81)H-20



99 (81)H-20

PL14



100 (80)H-20



101 (80)H-20



102 (80)H-20



103 (80)H-20



104 (81)H-20



105 (81)H-22



106 (81)H-22



107 (81)H-22



108 (81)H-23



109 (81)H-23



110 (81)H-23



111 (81)H-23



112 (81)H-23



113 (81)H-23



114 (81)H-23



115 (81)H-23



116 (81)H-23



117 (81)H-23



118 (81)H-23



119 (81)H-23



120 (81)H-23



121 (81)H-24



122 (81)H-24



123 (81)H-24



124 (81)H-26



125 (81)H-26



126 (81)H-26



127 (81)H-26



128 (81)H-26



129 (81)H-26



130 (81)H-27



131 (81)H-27



132 (81)H-27



133 (81)H-27



134 (81)H-27



135 (81)H-27



136 (81)H-27



137 (81)H-28



138 (81)H-28



139 (81)H-28



140 (81)H-30



141 (81)H-30



142 (81)H-30



143 (81)H-30



144 (81)H-30



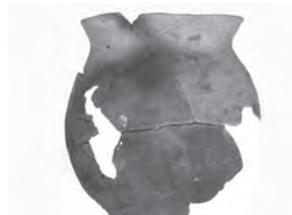
145 (81)H-30



146 (81)H-30



147 (81)H-30



148 (81)H-30



149 (81)H-30



150 (81)H-32



151 (81)C-1



152 (81)C-1



153 (81)C-1

PL16



154 (81)C-1



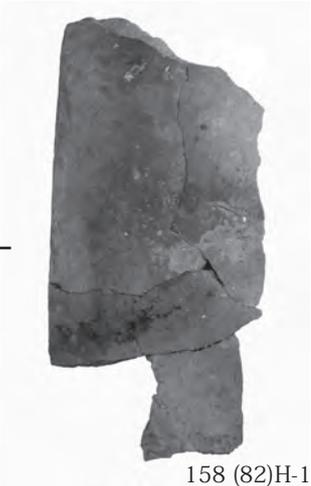
155 (81)C-1



156 (81)C-1



157 (81)T-4



158 (82)H-1



159 (83)D-2



160 (83)D-2



161 (83)D-2



162 (83)D-2



163 (83)D-2



164 (84)H-1



165 (84)H-1



166 (84)H-1



167 (84)H-1



168 (84)H-1



169 (84)H-1



170 (84)H-2



171 (84)D-1



172 (84)W-1

抄 録

フリガナ	モトソウジャ オウミ イセキゲン (81) モトソウジャ オウミ イセキゲン (82) モトソウジャ オウミ イセキゲン (83) モトソウジャ オウミ イセキゲン (84)
書名	元総社蒼海遺跡群(81) 元総社蒼海遺跡群(82) 元総社蒼海遺跡群(83) 元総社蒼海遺跡群(84)
副書名	前橋都市計画事業元総社蒼海土地地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	藤坂和延 (前橋市教育委員会) 権田友寿 (スナガ環境測設株式会社)
編集機関	前橋市教育委員会
編集機関所在地	〒371-0853 群馬県前橋市総社町三丁目1番地4
発行年月日	西暦2016年3月25日

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コ ー ド		位 置		調査期間	調査 面積	調査 原因
		市町村	遺跡番号	北 緯	東 経			
モトソウジャ オウミ イセキゲン 元総社蒼海遺跡群 (81)	マエハシ シソウジ ヤマチソウジ ヤ 前橋市総社町総社 3113-1・3.2993-1	10201	26A178	36° 23'24"	139° 02'28"	20141117 ～ 20150209	1,204 ㎡	前橋都 市計画 事業元 総社蒼 海土地 地区画 整理事業
モトソウジャ オウミ イセキゲン 元総社蒼海遺跡群 (82)	マエハシ シソウジ ヤマチソウジ ヤ 前橋市総社町総社 3600-12		26A179	36° 23'24"	139° 02'29"	20140903 ～ 20141004	109㎡	
モトソウジャ オウミ イセキゲン 元総社蒼海遺跡群 (83)	マエハシ シソウジ ヤマチソウジ ヤ 前橋市総社町総社 3600-3～11		26A180	36° 23'23"	139° 02'29"	20140903 ～ 20141004	246㎡	
モトソウジャ オウミ イセキゲン 元総社蒼海遺跡群 (84)	マエハシ シモソウジ ヤマチ 前橋市元総社町 1445-22		26A181	36° 23'08"	139° 02'04"	20141004 ～ 20141108	109㎡	

所収遺跡名	種 別	主な時代	主 な 遺 構	主 な 遺 物	特記事項
元総社蒼海遺跡群 (81)	集落跡	古墳～奈良・平安時代 古墳時代 奈良・平安時代	竪穴住居跡32軒 方形周溝墓1基 竪穴状遺構8軒 溝跡1条・土坑15基	土師器・須恵器・砥石・瓦 土師器 土師器・須恵器・瓦	管玉
元総社蒼海遺跡群 (82)	集落跡	古墳～奈良・平安時代	竪穴住居跡4軒 土坑4基	土師器・須恵器・瓦 土師器・須恵器	
元総社蒼海遺跡群 (83)	集落跡	奈良・平安時代 中世以降	土坑2基 溝跡1条		
元総社蒼海遺跡群 (84)	集落跡	古墳～奈良・平安時代 中世以降	竪穴住居跡4軒 土坑2基 ピット11基 溝跡2条	土師器・須恵器 土師器・須恵器	

元総社蒼海遺跡群 (81)

元総社蒼海遺跡群 (82)

元総社蒼海遺跡群 (83)

元総社蒼海遺跡群 (84)

2016年3月18日 印刷

2016年3月25日 発行

発行 前橋市教育委員会 文化財保護課
前橋市総社町三丁目11番4号
編集 スナガ環境測設株式会社
前橋市青柳町211番地の1
印刷 朝日印刷工業株式会社